

履 修 要 項

令和 4 年度

Study Guideline

2022/2023

千葉大学大学院園芸学研究科

Graduate School of Horticulture
Chiba University

2022/2023 Academic Calendar for the Graduate School of Horticulture

期	授業日程 Class Schedule	行事予定 Schedule of Events	備考 Notes
前期（春） Spring Semester	<p>4月11日（Mon） Apr. 11 (Mon.)</p> <p style="text-align: center;">第1ターム Term 1</p> <p>6月2日（木） Jun. 2 (Thu.)</p> <p>6月10日（金） Jun. 10 (Fri.)</p> <p style="text-align: center;">第2ターム Term 2</p> <p>7月29日（金） July. 29 (Fri.)</p>	<p>4月5日（火） Apr. 5 (Tue.) 入学式・新入生ガイダンス Enrollment Ceremony in Spring Guidance for New Students</p> <p>9月28日（水）修了式（9月修了） Sep. 28(Wed.) Graduation Ceremony (September Completion)</p>	<p>4月1日（金） Apr. 1 (Fri.) ∩ 4月10日（日） Apr. 10 (Sun.)</p> <p>4月4日（月） Apr. 4 (Mon.) ∩ 4月22日（金） Apr.22 (Fri.)</p> <p>6月3日（金） Jun. 3 (Fri.) ∩ 6月9日（木） Jun. 9 (Thu.)</p> <p>6月3日（金） Jun. 3 (Fri.) ∩ 6月23日（木） Jun. 23(Thu.)</p> <p>8月2日（火） Aug. 2 (Tue.) ∩ 9月30日（金） Sep. 30 (Fri.)</p> <p>春季休業期間 Spring Vacation</p> <p>履修登録・修正期間 (通年科目は前期に登録してください) Course Registration Period (Full Year Courses have to be registered in this period)</p> <p>授業準備期間 Course Preparation Period</p> <p>履修登録期間・修正期間 Course Registration Period</p> <p>第3ターム（夏季休業期間） Term 3 (Summer Vacation)</p>
後期（秋） Fall Semester	<p>10月3日（月） Oct. 3 (Mon.)</p> <p style="text-align: center;">第4ターム Term 4</p> <p>11月24日（木） Nov. 24 (Thu.)</p> <p>12月2日（金） Dec. 2 (Fri.)</p> <p style="text-align: center;">第5ターム Term 5</p> <p>1月31日（火） Jan. 31 (Tue.)</p>	<p>10月3日（月）入学式 Oct. 3 (Mon.) Enrollment Ceremony in Fall</p> <p>11月4日（金）大学祭 Nov. 4 (Fri.) University festival ∩ 11月6日（日） Nov. 6 (Sun.)</p> <p>3月24日（金）修了式 Mar. 24(Fri.) Graduation Ceremony</p>	<p>9月26日（月） Sep. 26 (Mon.) ∩ 10月17日（月） Oct. 17 (Mon.)</p> <p>11月5日（土）創立記念日 Nov. 5 (Sat.) Foundation Day</p> <p>11月25日（金） Nov. 25 (Fri.) ∩ 12月1日（木） Dec. 1 (Thu.)</p> <p>11月25日（金） Nov. 25 (Fri.) ∩ 12月15日（木） Dec. 15 (Thu.)</p> <p>12月28日（水） Dec. 28 (Wed.) ∩ 1月4日（水） Jan. 4 (Wed.)</p> <p>1月13日（金）臨時休業日（大学入学共通テスト準備） Jan. 13 (Fri.) Special Holiday (Preparation for National Center Test for University Admissions)</p> <p>2月2日（木） Feb. 2 (Thu.) ∩ 3月31日（金） Mar. 31 (Fri.)</p> <p>履修登録期間・修正期間 Course Registration Period</p> <p>創立記念日 Foundation Day</p> <p>授業準備期間 Course Preparation Period</p> <p>履修登録期間・修正期間 Course Registration Period</p> <p>冬季休業期間 Winter Vacation</p> <p>第6ターム（臨時休業期間） Term 6 (Extra Vacation)</p>

学部長挨拶



*Nobuhiro
Matsuoka*

松岡延浩

本年度の時間割案内を皆さんのお手元にお届け致します。昨年度から備考欄に、実施方法と使用するシステム（Moodle、Google Classroom 等）が記入されました。これらはもちろん、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）に対応した講義を行うためのものです。

COVID-19の問題に対応するため、園芸学研究科・園芸学部も今までに経験したことのないカリキュラム運営の変更を迫られました。一昨年、昨年の経験を踏まえて、現在、対面授業、オンデマンド型または同時双方向型のメディア授業等の方法を併用しています。どの方法が良いか悪いかということは、講義の目的によって様々ですが、昨年度までの反省を踏まえて、様々な講義方法等の改善を試みています。まだまだ不十分なところもあると思いますので、気づいたことがあれば遠慮なく教員あるいは学務係に伝えてください。今年度も学生・教職員一丸となってCOVID-19に立ち向かっていきたいと思っています。

大学のカリキュラムは、高校までのカリキュラムと異なり、自分のキャリアパスに合わせて、目的を持って科目を選択しなくてはなりません。ですから、よく考えずに適当な時間割を作ると、卒業研究あるいは制作のときに大変困ると思います。

もう一つの違いは、高校の授業は基本的に答えが一つですが、大学の講義は答えが複数存在する、あるいは答えがまだ出ていないということがしばしばあります。ですから、講義の内容を聴いてその考え方を理解することも大切ですが、そこで話された考え方に疑問を持ったならば、教員とディスカッションを重ねて、別の答えを見つけていくことが大切です。是非、教員や友人とディスカッションを重ねつつ、有意義な学修の時間を過ごしてください。

園芸学部 of 教育理念

園芸学部 of 教育理念は、「自然との調和、生物及び緑地環境を対象とする教育・研究を通して豊かな人間性を涵養すること」です。このため園芸有用植物を中心とする生物資源の生産と利用、関連する産業の経営や流通、自然環境の保全と快適な生活環境の創造等の諸問題に対して広い視野に立って理論的かつ実践的に対応できる能力をもつ人材を養成するとともに、国際的に通用する能力を涵養します。

園芸学部 学位授与の方針

千葉大学園芸学部は、「つねに、より高きものをめざして」の本学の理念のもと、以下を修得した学生に対して、学位を授与する。

■「自由・自立の精神」

自立した食と緑の専門職業人として、自己の設定した目標を実現するために自ら新しい知識、能力を獲得でき、自己の良心に則り社会の規範やルールを尊重して高い倫理性をもって行動、生涯にわたって学修を継続できる。

■「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」

自己の専門領域の社会的、文化的位置づけを理解し、自己の専門的能力を地球社会と地域社会の持続可能でインクルーシブな発展のために役立てることができる。自己の国際経験を生かし、広い視野から社会に貢献することができる。

■「普遍的な教養」

国内外の多様な文化・価値観、社会、自然、環境について深く理解し、文理横断的・異分野融合的な知を備え、異なる文化や価値観に敬意を払いながら、人類や社会が直面する課題について主体的な認識と判断力をもって取り組むことができる。

■「専門的な知識・技術・技能」

自然科学や人間科学に関する基礎学力を持ち、食と緑に関する専門分野についての学識を備え、生命科学・環境科学・社会科学などの方法論を応用しながら、直面する状況における問題解決に向けた実証的・論理的思考を展開し、イノベーション創出につなげることができる。

■「高い問題解決能力」

関連する社会の多様な課題に対し、学んだ知識・技能・態度等を総合的に活用し、他者と協働、協調しながら、主体的学修を通じて問題解決に取り組み、解決の方向性を提案することができる。

学 科 紹 介

園芸学科

本学科には、栽培・育種学プログラムと生物生産環境学プログラムが設置され、互いに連携しながら、国際競争力のある都市園芸農業の実現を目指した教育と研究を行っています。園芸植物の生産に関わる先端的栽培技術やバイオテクノロジー、植物を取巻く生態系や物理的・化学的環境の管理や修復技術など、さまざまな専門分野の知識や技術を幅広く学びながら、視野の広い豊かな創造性を備えた人材を養成することを目的としています。

応用生命化学科

生命の営みに関わる物質とその動態を探究できる知識、理論、技術の修得を基礎に置き、生物の機能解析、細胞構成物質・代謝生産物解析、食品成分の機能解析、食品開発、循環型社会構築等に関する研究を行い、生化学的、分子生物学的、食品化学的、生物有機化学的、生理機能学的手法を学びます。これによって食料問題、資源問題、環境問題など現在人類が直面している諸問題を解決できる人材を養成します。


緑地環境学科

本学科では、私達をとりまく自然環境や日常生活を営む環境を対象として、その仕組みの解明や保全の技術、さらには快適な生活環境と健康・福祉を創造していくための調査・研究・計画・設計技術、自然環境の管理技術、環境に関する文化論などに関わる教育研究を総合的に行っています。

食料資源経済学科

食料資源と環境に関する現代的な課題を解決するために社会科学的視点から、食料生産から消費にわたるフードシステムのマネジメント、農村・地域資源の管理と政策、環境評価、国際開発等に関する教育と研究を行い、幅広い視野と専門知識を持つ人材を養成します。

園芸学部 学科・プログラム・教員の編成

	メールアドレス ○○○@faculty.chiba-u.jp ※の場合は○○○@chiba-u.jp
	電話 047 (308) ○○○○
	部屋の場所
	備考
Name	Position
名前	職

一覧の見方


- ・メールアドレス、電話は○の部分だけを記載してあります。
電話の○の部分は内線番号と共通です。

園 芸 学 科

《栽培・育種学プログラム》

(栽培学分野)

	miyoshi ※
	8809
	C-203
Miyoshi Kazumitsu	Prof.
三吉 一光	教授

	oharah
	8801
	C-207
	環境健康フィールド 科学センター
Ohara Hitoshi	Prof.
小原 均	教授

	hwatanabe
	04 (7137) 8106
	センター管理棟3 F
	環境健康フィールド 科学センター
Watanabe Hitoshi	Prof.
渡辺 均	教授

	hkokubun
	8844
	B-234
Kokubun Hisashi	A/Prof.
國分 尚	准教授

	Johkan
	8807
	C-206
Johkan Masafumi	A/Prof.
淨閑 正史	准教授

	tsukag
	04 (7137) 8170
	センター管理棟2 F
	環境健康フィールド 科学センター
Tsukagoshi Satoru	A/Prof.
塚越 覚	准教授


	
	8814
	C-302
Fukano Yuya	A/Prof.
深野 祐也	准教授

	ohkawak
	8835
	B-106
Ohkawa Katsuya	Lecturer
大川 克哉	講師

	takanori_saito ※
	8804
	C-303
Saito Takanori	Assi.Prof.
齋藤 隆徳	助教

(育種学分野)

	deguchia ※
	8810
	C-202
Deguchi Ayumi	Assi.Prof.
出口 亜由美	助教

	inakamur
	8852
	B-205
Nakamura Ikuo	Prof.
中村 郁郎	教授

	sassa
	8967
	B-203
Sassa Hidenori	Prof.
佐々 英徳	教授

《生物生産環境学プログラム》


(物理環境分野)


	skikuchi
	8840
	B-201
Kikuchi Shinji	A/Prof.
菊池 真司	准教授

	tigawa ※
	8853
	B-206
Igawa Tomoko	A/Prof.
井川 智子	准教授

	goto
	8841
	B-217
Goto Eiji	Prof.
後藤 英司	教授

	shiina ※
	8847
	C-311
Shiina Takeo	Prof.
椎名 武夫	教授

	matsuoka
	8903
	C-306
Matsuoka Nobuhiro	Prof.
松岡 延浩	教授

	ogwy
	8848
	C-310
Ogawa Yukiharu	A/Prof.
小川 幸春	准教授


	s-hikosaka
	8842
	B-218
Hikosaka Shoko	A/Prof.
彦坂 晶子	准教授


	yoshida.hideo ※
	8843
	B-219
Yoshida Hideo	Assi.Prof.
吉田 英生	助教

	a.hama ※
	8902
	C-307
Hama Akira	Assi.Prof.
濱 侃	助教


(生物環境分野)

	shishido
	8824
	B-211
Shishido Masahiro	Prof.
宍戸 雅宏	教授


	nomuram
	8828
	B-209
Nomura Masashi	Prof.
野村 昌史	教授

	usami
	8825
	B-212
Usami Toshiyuki	A/Prof.
宇佐見 俊行	准教授

(化学環境分野)

	choh
	8827
	B-208
Choh Yasuyuki	A/Prof.
長 泰行	准教授

	ksakamoto
	8819
	B-101
Sakamoto Kazunori	Prof.
坂本 一憲	教授

	matsushima
	8817
	B-108
Yashima Miwa	Lecturer
八島 未和	講師

応用生命化学科

《応用生命化学プログラム》

(生命分子化学分野)

	YNishida
	8869
	B-117
Nishida Yoshihiro	Prof.
西田 芳弘	教授

	masamiwata
	043 (290) 2985
	学際研究棟312
	西千葉 国際教養学部
Watanabe Masami	Prof.
渡辺 正巳	教授

	kodama
	043 (290) 3942
	自然科学2-9F
	西千葉
Kodama Hiroaki	Prof.
児玉 浩明	教授

	hdohi
	043 (290) 3944
	自然科学2-9F
	西千葉
Dohi Hirofumi	A/Prof.
土肥 博史	准教授

	msonoda
	8865
	B-114
Sonoda Masatoshi	Lecturer
園田 雅俊	講師

	soma ※
	8871
	C-101
Soma Akiko	Lecturer
相馬 亜希子	講師

(生物資源化学分野)

	miyahara ※
	043 (290) 2972
	自然科学2-9F
Miyahara Taira	Lecturer
宮原 平	講師

	egashira
	8861
	C-103
Egashira Yukari	Prof.
江頭 祐嘉合	教授

	amachi
	8867
	B-231
Amachi Seigo	Prof.
天知 誠吾	教授

	mhanaoka
	043 (290) 2970
	学際研究棟308
	西千葉
Hanaoka Mitsumasa	Prof.
華岡 光正	教授

	shizuka
	8859
	C-109
Hirai Shizuka	A/Prof.
平井 静	准教授


	knatsuko
	8179
	センター管理棟2F
	環境健康フィールド 科学センター
Kagawa Natsuko	Lecturer
加川 夏子	講師

	tlshimada ※
	043 (290) 2908
	学際研究棟318
	西千葉
Shimada Takashi	Assi.Prof.
島田 貴士	助教

	
	043 (290) 2973
	自然科学2-9F
	西千葉
Takahashi Kazuaki	Assi.Prof.
高橋 一聡	助教

緑地環境学科

《環境造園学プログラム》

	k.furuya
	8884
	B-301
Furuya Katsunori	Prof.
古谷 勝則	教授

	ysait8971arch
	8971
	B-306
Saito Yukihiro	Prof.
齋藤 雪彦	教授

	r.shimoda ※
	8883
	B-324
	英語プログラム担当
Shimoda Ryosuke	A/Prof.
霜田 亮祐	准教授

(環境造園デザイン学分野)

	i-konomi ※
	8875
	A-306
Ikebe Konomi	Prof.
池邊 このみ	教授

	st ※
	8874
	A-204
Takeda Shiro	Prof.
武田 史朗	教授

	zhang
	8889
	A-201
Zhang Jun Hua	Prof.
章 俊華	教授

(環境造園管理学分野)

	tkinoshita
	8877
	A-301
Kinoshita Takeshi	A/Prof.
木下 剛	准教授


	yanai
	8897
	D-202
Yanai Shigeto	Prof.
柳井 重人	教授

	noriko
	8931
	D-203
Akita Noriko	Prof.
秋田 典子	教授

《緑地科学プログラム》

(緑地環境システム学分野)


	tomoko_takeuchi ※
	8895
	D-504
Takeuchi Tomoko	A/Prof.
竹内 智子	准教授

	y-omi
	8937
	E-508
Omi Yoshimitsu	Assi.Prof.
近江 慶光	助教

	cytang
	8911
	B-327
Tang Changyuan	Prof.
唐 常源	教授

	honjo
	8896
	D-503
Honjo Tsuyoshi	Prof.
本條 毅	教授


	umeki
	8960
	D-502
Umeki Kiyoshi	Prof.
梅木 清	教授

	umeda
	043 (290) 2544
	教育学部
Umeda Katsuki	A/Prof.
梅田 克樹	准教授


(緑地環境資源学分野)


	ktatsu
	8891
	D-403
Kobayashi Tatsuki	Prof.
小林 達明	教授

	arata
	8900
	D-307
Momohara Arata	Prof.
百原 新	教授


	uehara
	8836
	B-123
	国際教養学部
Uehara Koichi	Prof.
上原 浩一	教授


	togashi
	043 (290) 2826
	海洋バイオシステム 研究センター
Togashi Tatsuya	Prof.
富樫 辰也	教授

	teru
	8890
	D-402
Takahashi Terumasa	A/Prof.
高橋 輝昌	准教授


	kikuchit
	0479 (21) 9006
	海洋バイオシステム 研究センター
Kikuchi Tomonori	A/Prof.
菊地 友則	准教授

《環境健康学プログラム》

	akiran
	8892
	D-405
Katou Akira	A/Prof.
加藤 顕	准教授

	yoichiw ※
	8899
	D-306
Watanabe Yoichi	Assi.Prof.
渡辺 洋一	助教

	iway
	8969
	E-503
Iwasaki Yutaka	A/Prof.
岩崎 寛	准教授

	koumei
	8898
	D-305
Mishima Koumei	A/Prof.
三島 孔明	准教授


	k_noda
	04 (7137) 8171
	センター管理棟 2 F
	環境健康フィールド 科学センター
Noda Katsuji	Assi.Prof.
野田 勝二	助教

食料資源経済学科

《食料資源経済学プログラム》

(フードシステム学分野)

	sakurai
	8933
	C-408
Sakurai Seiichi	Prof.
櫻井 清一	教授


	yukisato ※
	8916
	B-318
Yoshida Yukisato	Prof.
吉田 行郷	教授

	y.yano ※
	8980
	C-402
Yano Yuki	Lecturer
矢野 佑樹	講師

(資源環境経済学分野)

	t.ishida ※
	8932
	C-409
Ishida Takashi	Assi.Prof.
石田 貴士	助教

	mtgaki
	8934
	B-311
Takagaki Michiko	Prof.
高垣 美智子	教授

	koba000
	8927
	C-407
Kobayashi Hiroaki	Prof.
小林 弘明	教授

	kuri
	8917
	B-315
Kurihara Shinichi	Prof.
栗原 伸一	教授

	a.maruyama
	8928
	C-404
Maruyama Atsushi	Prof.
丸山 敦史	教授

目 次 Contents

2022 年度（令和 4 年度）学年暦

2022/2023 Academic Calendar

2022 年度（令和 4 年度）授業カレンダー

2022/2023 Class Calendar

研究科長挨拶

Message from the Dean

園芸学研究科学位授与の方針

The Graduate School of Horticulture Policy for Conferment of Degrees

園芸学研究科 コース・領域・教員の編成

Academic Staff

1. 園芸学研究科の教育研究の目標

Education and Research Objectives

園芸学研究科の教育理念 1

Guiding Education Principles

園芸学研究科の教育目標 1

Education Objectives

環境園芸学専攻の教育課程 1

Curriculum

コース内領域の教育研究目標 3

Education and Research Objectives for the Programs

教育研究指導体制 7

Academic Guidance and Counseling System

各授業科目のシラバスについて	7
Course Syllabuses	
2. 園芸学研究科履修要件等	
Completion Requirements, Etc.	
履修の心得	9
Study Guide	
学位取得までの年次別手順	25
Steps Toward Earning an Academic Degree	
博士前期課程の授業科目	33
List of Courses (Master's program)	
博士後期課程の授業科目	45
List of Courses (Doctoral program)	
指定推奨科目	51
Recommended Courses	
大学院共通教育科目	53
Common Graduate Courses	
教育職員免許状及び免許教科に関する履修要件等	57
Allowed Teaching Licenses and Study Requirements (Japanese License)	
自然再生士補資格に関する履修要件	61
Requirements for the License of Nature Restoration Assistant Promoter (Japanese License)	
3. 令和4年度授業時間割	63
2022/2023 Class Timetable	

4. 園芸学研究科学位論文審査の手続き
Procedures for Master's/Doctoral Defense

学位（修士）論文及び研究成果の審査の手順と手続き 71
Steps and Procedures for Master's Defense

学位（博士）論文審査の手順と手続き 81
Steps and Procedures for Doctoral Defense

5. 各種手続き等について 101
Administrative Procedures

6. 千葉大学大学院園芸学研究科規程 107
Regulations for the Chiba University Graduate School of Horticulture

千葉大学附属図書館松戸分館の案内 119
Guide to the Matsudo Division of Chiba University Library

所在地及び配置図 125
Campus Map

1. 園芸学研究科の教育研究の目標

園芸学研究科の教育理念

園芸学研究科は、園芸とランドスケープを柱としたわが国ただ一つの専門大学院として、環境園芸学専攻で総合的な教育研究を行っている。また、千葉大学の総合性を生かした超域（transdisciplinary）アプローチによって、課題解決能力の高い人材を育成する。

園芸学研究科の伝統的な教育理念は「理論と実践」であり、問題に対する理論的な検討を重視するとともに、あらゆる科学的成果を用いた実践を大事にする。実践は、社会や産業の場における研究成果の検証も意味するが、そこで得られた反省は次の科学的検討の契機となる。このような運動によって、高度な知識と創造性を持った職業人を養成する。

もう一つの理念は、国際性の育成である。現代社会では、情報にも物流にも国境はない。世界中の人が競い合って科学は日夜進歩している。一方で、社会の問題は、具体的に地域や特定の現場で生じており、それらをすくいあげて課題解決に取り組むことが大切である。Think globally. Act locally. そのように深く考え、フットワークが軽く行動できる人材を育成する。

園芸学研究科の教育目標

千葉大学では、「自由・自立の精神」、「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」、「専門的な知識・技術・技能」、「高い問題解決能力」の4つの能力の獲得を目標として教育を行っている。その詳細は、コース毎に学位授与の方針としてまとめられているので、必ず参照すること。

環境園芸学専攻の教育課程

環境園芸学専攻は園芸科学とランドスケープ学の2つのコースからなっており、それぞれ、基盤科目、専門必修科目、専門選択必修科目、専門選択科目からなるカリキュラムを編成している。博士前期課程では、以下のように教育課程を編成している。

基盤科目は、「自由・自立の精神」と関わる、専攻共通の環境園芸学および職業倫理・研究者倫理に関する科目を必修とする。また、「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」と関わるアカデミックライティング科目や国際関係科目を選択必修科目として置き、演習科目や研究科目を通して、専門的・応用的なコミュニケーション能力を身につける。

「専門的な知識・技術・技能」を身につけるために専門科目を置く。そのうち、専門必修科目は、コースの共通の専門科目である。専門性を見取り図を示し、研究や学習の学問的な位置付けや社会における位置付けを理解し、自身の研究の発展や科学技術マネジメント能力や政策立案能力を身につける。

専門選択必修科目は、専門カリキュラムの核であり、各専門分野の高度な知見と最新の方法論について講義する。コース毎に最低限の必要修得単位数を設定し、バランスのとれた履修を保証する。専門選択科目は2つの観点から設定している。第一の観点は、他大学からの進学者、大学院で新たな領域への展開を考える学生に、専門選択必修科目の基礎となる専門知識を提供することである。第二の観点は、自らの専門分野の裾野を広げ、広い視野で問題の発掘や解決に臨む知識や能力を身につけるために幅広く科目を選択する。

「高い問題解決能力」育成のための科目として演習科目を置き、特別研究によって探求的能力を身につける。

1 . Education and Research Objectives

Guiding Education Principles

The Graduate School of Horticulture is the only specialized graduate school in Japan with a focus on horticulture and landscape, and conducts comprehensive education and research with one division in Environment and Horticulture. In addition, we will foster human resources with high problem-solving skills through a transdisciplinary approach that takes advantage of the comprehensiveness of Chiba University.

The traditional principle of the education and research in Graduate School of Horticulture is "Theory and Practice", which emphasizes theoretical considerations of problems and values practice based on the scientific approaches. Practice also refers to the verification of research results in the social and industrial realities, but the reflections obtained there will be the next scientific opportunity. Through such processes, we train professionals with advanced knowledge and creativity.

The other principle is the development of internationality. In modern society, information and transportation have no borders. Science is evolving day and night as people around the world compete. On the other hand, social problems occur in specific areas and sites, and it is important to scoop them up and work on solving them. Think globally, act locally! We develop human resources who can consider so deeply and act lightly.

Education Objectives

At Chiba University, we have acquired the following four abilities: "The spirit of freedom and independence", "Involvement in society on a global perspective", "Specialized knowledge, technology and skills", and "Excellent problem-solving skills". Education is being conducted as a goal. The details are summarized in the policy for conferment of degrees for each program, so be sure to refer to them.

Curriculum

The Division of Environment and Horticulture consists of two programs, Horticulture Science and Landscape Science, each of which has a curriculum consisting of basic courses, required compulsory courses, required elective courses, and optional elective courses.

Master's program is programed as follows.

Basic courses are required for subjects related to environment and horticulture, professional ethics, and researcher ethics that are related to "The spirit of freedom and independence". In addition, academic writing subjects and international relations courses related to "Involvement in society on a global perspective" will be selected as required courses, and students will acquire specialized and applied communication skills through seminars and research.

Specialized courses are provided to acquire "Specialized knowledge, technology and skills". Of these, the required compulsory courses are the common specialized courses of the program. Show a sketch of professionalism, understand the academic and social positioning of research and learning, and acquire their own research development, science and technology management abilities, and policy-making abilities.

Required compulsory courses are at the core of the specialized curriculum and provide lectures on advanced knowledge and the latest methodologies in each specialty. We will set the minimum number of required credits for each course to ensure a balanced learning.

Specialized electives are set from two perspectives. The first perspective is to provide advanced students from other universities and students who want to expand into new areas at graduate schools the expertise they need to base their elective courses. The second perspective is to broaden your area of specialization and to select a wide range of courses to gain the knowledge and abilities to discover and solve problems from a broad perspective.

Seminars and studios are set up as subjects for fostering "Excellent problem-solving skills", and students acquire inquiring skills through graduate research.

Doctoral program is programed as follows

Basic courses are environmental horticulture technology management and environmental horticulture

博士後期課程では、以下のように教育課程を編成する。

基盤科目は、「自由・自立の精神」と関わる、環境園芸技術マネジメント、環境園芸アントレプレナー育成科目を専攻共通科目として置く。また、自律的な研究開発を行うことができ、成果を国際的・学際的に発信できる人材を育成するために、学術の国際展開あるいはマネジメントに関わるセミナー型科目を専攻共通科目として置く。

専門科目については、研究の開拓に必要な科目を自主的に幅広く履修できるようにしている。

問題解決能力の育成のために、十分な研究時間を確保し、園芸産学官セミナーやランドスケープ産学官セミナーなどを通じて共同研究の機会を提供し、特別演習によって個別に適切な指導を行う。

（１） 園芸科学コース

栽培・育種など園芸植物の生産技術の開発、生物資源の生産に関わる土壌、気象、動植物、微生物、化学物質などの諸環境要因の解析、生命資源の有効活用などに関わる基礎学理と応用技術を幅広く修得し、また社会科学の分析手法と専門的知識を習得することにより、食料問題、資源問題、環境問題、健康問題、持続可能な経済開発にかかわる問題など環境園芸学に関わる広範囲の問題に対処し、国際的にも通用する応用力を身につけた実践的な高度技術者・研究者を養成する教育研究を行う。

（２） ランドスケープ学コース

自然と共生する都市や地域の再生、持続的循環型社会の構築に向けて、美しい風景の創造をめざすデザインと、緑地生態を研究するサイエンスが融合したコースである。学生は両者にわたる知識を広げながら、各研究領域において専門性の高い研究・創作をおこなう。ランドスケープのデザイン、マネジメントの理論と技術に長けた専門技術者、緑地の療法・福祉利用の高度技能実践者、緑地環境の分析・総合・技術開発に関する専門研究者を育成する。

コース内領域の教育研究目標

１． 園芸科学コース

（１） 栽培・育種学領域

従来の伝統的な園芸作物のみならず薬草や機能性植物を含む広義の園芸植物生産において、栽培・管理に関する最先端の知識と技術、及びその基礎となる品種改良や遺伝子操作技術の更なる展開をはかり、社会的ニーズに合った育種プログラムや環境調和型施設栽培技術の開発に関連する教育研究を行う。また、他の領域との境界領域に関する実践的技術・知識を修得することによって国際的に幅広い知識と視野を持った高度技術者・研究者を育成する。

（２） 生物生産環境学領域

生物の生産に関わる物理環境、生物環境、化学環境についての体系的な理論を中心に、生産環境の基盤である気象、土壌、施設・フィールドや、そこで生産、使用される物質の挙動・循環、栽培される植物の生理生態・病理や利用法、生息する昆虫・微生物などについて教育研究を行う。これによって園芸学分野における理工学的、生物学的、化学的な素養を持ち、かつ生物の生産環境が創生・管理できる技術力、応用力を身に付けた技術者、研究者を養成する。

entrepreneur training courses related to “The spirit of freedom and independence”. In order to foster human resources who can conduct autonomous research and development and transmit their results internationally and interdisciplinary, seminar-type courses related to international academic development or management are set as common courses.

Regarding specialized courses, you are able to voluntarily take a wide range of subjects required for research development.

In order to develop the problem-solving skills, we will secure sufficient research time, provide opportunities for joint research through industry-academia-government seminars and provide appropriate guidance individually through graduate seminars.

(1) Course of Horticultural Science

Graduate studies of Horticultural Science offer four programs: i.e. Horticultural Plant Production and Breeding, Environmental Science for Bioproduction, Applied Biological Chemistry, and Food and Resource Economics, leading to Master’s and Doctoral degrees. The Master’s Program provides essential education and various research opportunities in the areas of biological production, bioresource management, and economics. On the basis of the Master’s program, the Doctoral Program offers interdisciplinary subjects, training to meet international standards, and education for scientific ethics. These programs build up expertise of a candidate not only in the research and development of bioresources, and food economy but also in the practical skills to achieve internationally with high ethical standards.

(2) Course of Landscape

Aiming at the reconstruction of ecological space and sustainable society, the Course of Landscape provides the integrated academic program: both of design of the aesthetical environment and the sciences of ecological system. Students learn wide range knowledge through design to science, while they challenge their own research or creation in each academic division. The course produces the high-profession of design, management, healthcare in landscape field as well as the qualified researcher in the ecological science.

Education and Research Objectives for the Programs

1. Course of Horticultural Science

(1) Horticultural Plant Production and Breeding Program

This program offers advanced knowledge and skills for plant cultivation and management as well as breeding and genetic engineering techniques of not only horticultural crops but also medical and functional food plants. This program also offers education and research on breeding program and strategy that meet social needs as well as plant cultivation techniques with environmentally sustainable manners for the horticultural plant production. Development of highly skilled engineers and researchers with global view, wide perspective and creativity is also aimed in this program through acquiring practice-based skills and knowledge on areas that overlap the boundaries between related programs.

(2) Environmental Science for Bioproduction Program

This program offers education and research on systematic theory on physical, biological and chemical environmental factors affecting bioresource production such as climate, soils, cultivation facilities and fields for the production of plants; the behavior and cycling of the bioproducts and substances used in those environments; physiology, ecology, pathology and utilization of cultivated plants; and the insects and microorganisms that inhabit those environments. Through these educational programs, we aim to foster engineers and researchers with enough background of physical, biological and chemical aspects of environmental science, who have the technical capabilities and applied skills to create and control suitable production environments.

（３） 応用生命化学領域

動物、植物、微生物を用いた生命資源の有効活用にあたり、これら生物の機能、細胞構成物質、代謝生産物等について、生化学的、分子生物学的手法により解析し、関連する遺伝子、細胞内外の酵素等機能性タンパク質、機能性炭水化物、機能性脂質等の基礎学理と応用技術理論の究明を図るとともに、食料問題、資源問題、環境問題など現在人類が直面している諸問題を解決できる人材を育成する。

（４） 食料資源経済学領域

食と緑に関わる自然科学の基礎をふまえつつ、社会科学の分析手法と専門的知識を習得する。農業生産から消費に至るまでのフードシステム全体を見渡せる幅広い視野に立ち、学際的視点から問題を把握し、実践的な施策を立案する能力を養成するための教育研究を行う。また、現代社会が直面している農村の多様な資源の評価と管理、自然環境の保全、さらにはグローバリゼーション下における持続的な経済開発等に関わる問題について、具体的な課題解決に向け主体的に取り組める人材を育成する。

２．ランドスケープ学コース

（１）環境造園計画学領域

都市や農村および自然地域を対象にして、そこにおける人々の生活とそれに対応する空間、自然環境との間に生起する矛盾の解明と快適でエコロジカルな生活環境実現のための計画や制度、手法を研究する。主に取り扱う空間としては、街区・緑道等の都市空間から国立公園、山林等の大自然空間、また集落等の居住地や農地等の農村空間がある。

（２）環境造園デザイン学領域

庭園から都市スケールにいたるオープンスペースを対象に、歴史的、社会的、文化的観点から研究を行い、環境施設としての緑地空間のデザインについて考察を深める。具体的には、国内外の歴史的庭園、生活の場の庭、公園緑地、生活圏の緑地などの空間構成を分析解明し、加えて緑地制度や政策論についても研究する。その中から現代社会にとって有意義な緑地空間の計画、設計手法、文化的位置づけを探究する。

（３）環境造園管理学領域

本プログラムでは、植栽地、歴史的庭園、コミュニティガーデン、都市公園、自然緑地に至る様々な緑地空間や、それらを包含する地域環境を適切にマネジメントするための基礎的な理論、応用技術と施策に関する教育研究を行う。その目的は、緑地空間の多面的な役割を基盤としながら、地域を再生し、環境負荷の低減を図りつつ、持続可能な地域づくりを展開することである。これらに係わる教育研究を通じて、人と自然との関係づくり、地域の文化や伝統の継承、コミュニティの醸成、まちなかの賑わいの創出、減災・防災、人口減少社会への対応等の多様な社会課題の解決に貢献する。

（４）緑地環境システム学領域

緑地環境の地球科学的・生態学的分析を基礎に、そのシステムのモデル化について学び、地球温暖化や都市化、地域開発、特定の生物個体群の増加などの環境変動によって引き起こされる緑地の変化の予測・評価、地域の人間環境や生態環境に適合したサステナブルなシステムの形成のための技術につい

(3) Applied Biological Chemistry Program

For the purpose of achieving effective applications of bioresources using animals, plants and microorganisms, students analyze the functions, substances of cell constituents and metabolites of these living organisms using methods in biochemistry and molecular biology. Students also study basic scientific principles and theories of applied technology relating to subjects including related genes, functional proteins such as enzymes both inside and outside cells, functional carbohydrates, and functional lipids. This program fosters professionals who will be able to contribute to solutions for the problems currently facing humanity in areas such as food production, natural resources, and environmental issues.

(4) Food and Resource Economics Program

Based on natural sciences, the course trains the students in analytical tools of social sciences. The targets of the training involve a broader view of the entire systems of food chains, interdisciplinary expertise, and leadership to promote policy makings. Managing a variety of resources in rural societies, conserving the environment, and sustainable developments under the globalized economy are essential, also. The course brings up human resources to solve the related problems proactively.

2. Course of Landscape

(1) Landscape Planning Program

Focusing on cities, rural communities and natural areas, students interpret the contradictions that occur between the daily lives of people in those areas and the spaces and natural environments that support those lives. Students also investigate both the direction of their development as well as the plans, systems and methods for realizing the comfortable and ecological living environment. The spaces principally examined range from urban spaces such as town precincts and pedestrian walkways to wilderness areas such as national parks, mountains and forests. Spaces also include residential places such as small towns and villages and rural spaces such as farming communities.

(2) Landscape Design Program

Students undertake research on open spaces ranging from private gardens to urban-scale spaces from the perspectives of history, community and culture in order to deepen their examination of the design of open spaces as environmental facilities. Specifically, students analyze and interpret the structure of spaces, including historical gardens in Japan and overseas, gardens in private homes, public parks, and open spaces in residential areas. Students also research landscape systems and policy theories. Based on this research students investigate the planning, design methods and cultural context of those particular open spaces that modern communities regard as useful.

(3) Landscape Management Program

This educational research program deals with fundamental theories, applied technologies, and policies for appropriately managing different kinds of green spaces: planting sites, historical gardens, community gardens, urban parks, natural green spaces, and the local environment in which they exist.

The program aims to develop a sustainable community and local environment to regenerate the environment and reduce environmental load, based on the multiple roles of green spaces.

By educating the students and through research activities, we aim to contribute to resolving various social issues such as rebuilding the relationship between people and nature, understanding and appropriating local culture and traditions, cultivating communities, creating lively towns, reducing and preventing disasters, and adapting to population decline.

て探求・展開する。

（５）緑地環境資源学領域

陸域・水域の緑地環境を構成する動植物や土壌・水の生物学的・生態学的研究を基礎に、そのマルチスケールの共時的構造・通時的変遷や機能的関係を学び、都市緑化や荒廃地緑化、自然環境アセスメント、自然再生、生態系管理などの具体的場面における緑地環境資源の利用と保全ならびに循環の技術について探求・展開する。

（６）環境健康学領域

病気や障害に対するケアだけではなく健常者も対象としたＱＯＬの向上やストレス緩和、精神的な安らぎ、人と環境のより良い関係等の福祉や健康に関して、緑地や園芸、医学、薬学、福祉、教育等の観点から取り組む領域として、園芸療法やアロマセラピー等の植物の療法的・福祉的利用や医療福祉施設の緑化、薬用資源植物、植物・環境文化、環境教育、農・環境関連分野の教育と普及等に関する教育と研究を行う。

教育研究指導体制

園芸学研究科における研究指導は主指導教員と副指導教員の複数の教員により行われる。学生はこれらの指導教員と定期的に履修計画や履修状況について討議し、その内容を指導教員を通して研究科長に報告する。

各授業科目のシラバスについて

授業科目のシラバスはWEB上で公開され、千葉大学ホームページからシラバスページのシラバス検索システムで見ることができる。また、学生ポータルでシラバスを見することもできる。シラバスには開講曜日、時限、担当教員、授業概要だけでなく、授業の目的・目標、授業計画・授業内容、評価方法・評価基準、教員の連絡先・オフィスアワー等が記載されている。

(4) Landscape System Science Program

Based on analyses of landscape environments from earth science and ecological perspectives and by studying modeling of those systems, students forecast and evaluate changes to landscaped environments caused by environmental changes such as global warming and urbanization, regional development, and increases in specific biopopulations. Students also investigate and develop techniques for forming sustainable systems appropriate for regional human and ecological environments.

(5) Landscape Resource Science Program

Based on research from biological and ecological perspectives of the animals, plants, soils and water that constitute terrestrial and marine landscaped environments, students study the multiscale synchronic structures, diatonic changes and functional relationships within those environments and investigate and develop skills for using, preserving and recycling landscaped environment resources in specific contexts such as urban beautification and waste land beautification, natural environment assessments, nature remediation, and habitat management.

(6) Environment and Human Health Sciences Program

The issues taken up by this program relate to well-being and health-related issues such as creating better relationships between people and the environment, raising people's QOL (Quality of Life), mitigating their stress and enabling mental calm, for healthy people alike and not just for those requiring care for an illness or injury. This program's perspectives encompass open spaces and horticulture, medicine, pharmacology, well-being and education, and its education and research extend to: the therapeutic, physical and emotional welfare uses of plants in areas such as horticultural therapies and aromatherapy; the use of elements in nature to beautify medical and welfare facilities; plants as medicinal resources; plant- and environment-based culture; environmental education; and education on and the dissemination of agricultural and environment-related fields.

Academic Guidance and Counseling System

Academic guidance and counselling at the Graduate School of Horticulture is conducted by the student's main academic advisor and one or more co-academic advisors. Students will hold periodic discussions with their academic advisors on their study plans and the state of their progress, and the academic advisors will report the content of those discussions to the dean of the Graduate School.

Course Syllabuses

Course syllabuses are available online via the Syllabus link on Chiba University's website or Student Portal system. In addition to course dates, times, faculty members and outlines, syllabuses also contain course plans, content, goals and objectives; methods and criteria for student evaluation; and faculty contact details and appointment times.

2. 園芸学研究科履修要件等

履修の心得

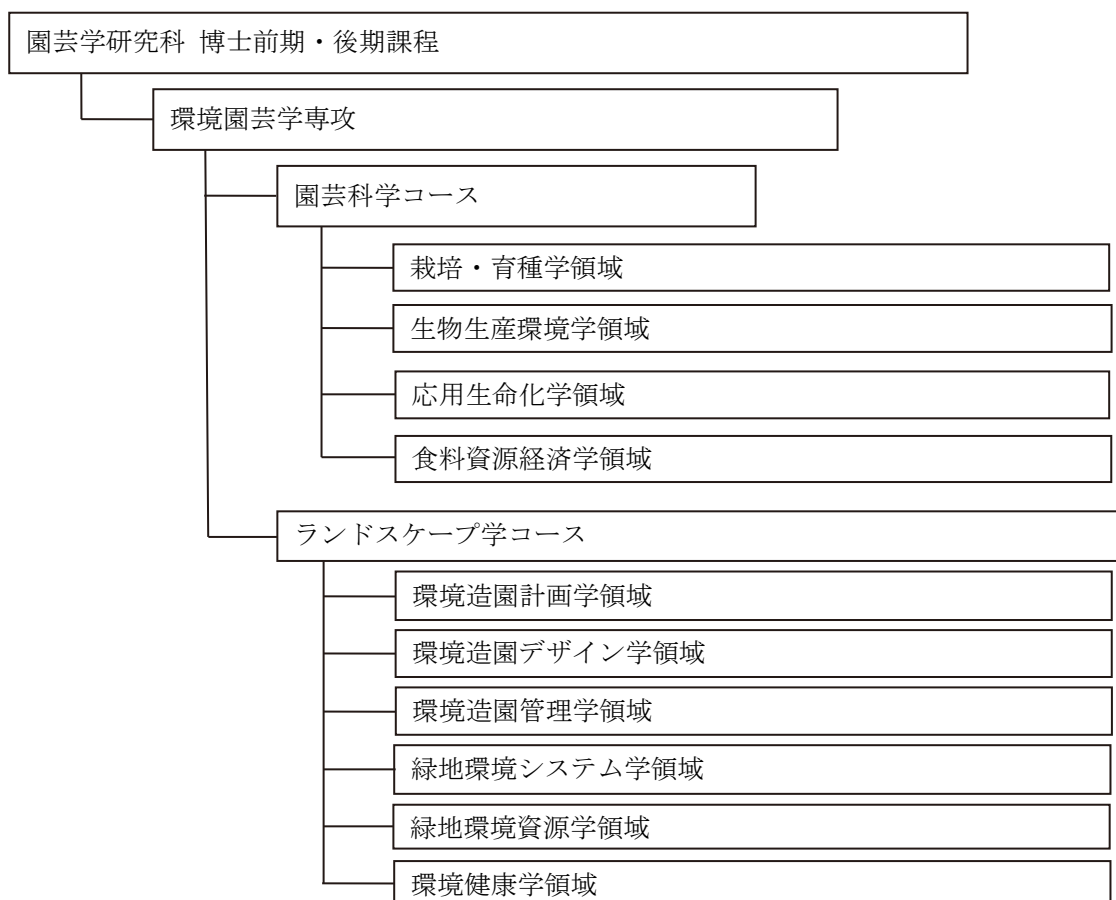
はじめに

この「履修の心得」は、千葉大学大学院園芸学研究科（博士前期課程及び後期課程）に入学した学生が、授業を履修し、学位を取得するために必要な手続きを説明するものです。

本研究科は、教員が構成する教授会・各種委員会によって運営され、事務手続きなどは園芸学部学務係が担当します。身分上の変更、履修方法についての疑問、進路上の相談等を、指導教員に連絡、報告をするように心がけてください。

1. 園芸学研究科のコース・専攻について

園芸学研究科博士前期課程及び後期課程は、以下の1専攻、2コース、10領域（および23分野）からなります。



2 . Completion Requirements, Etc.

Study Guide

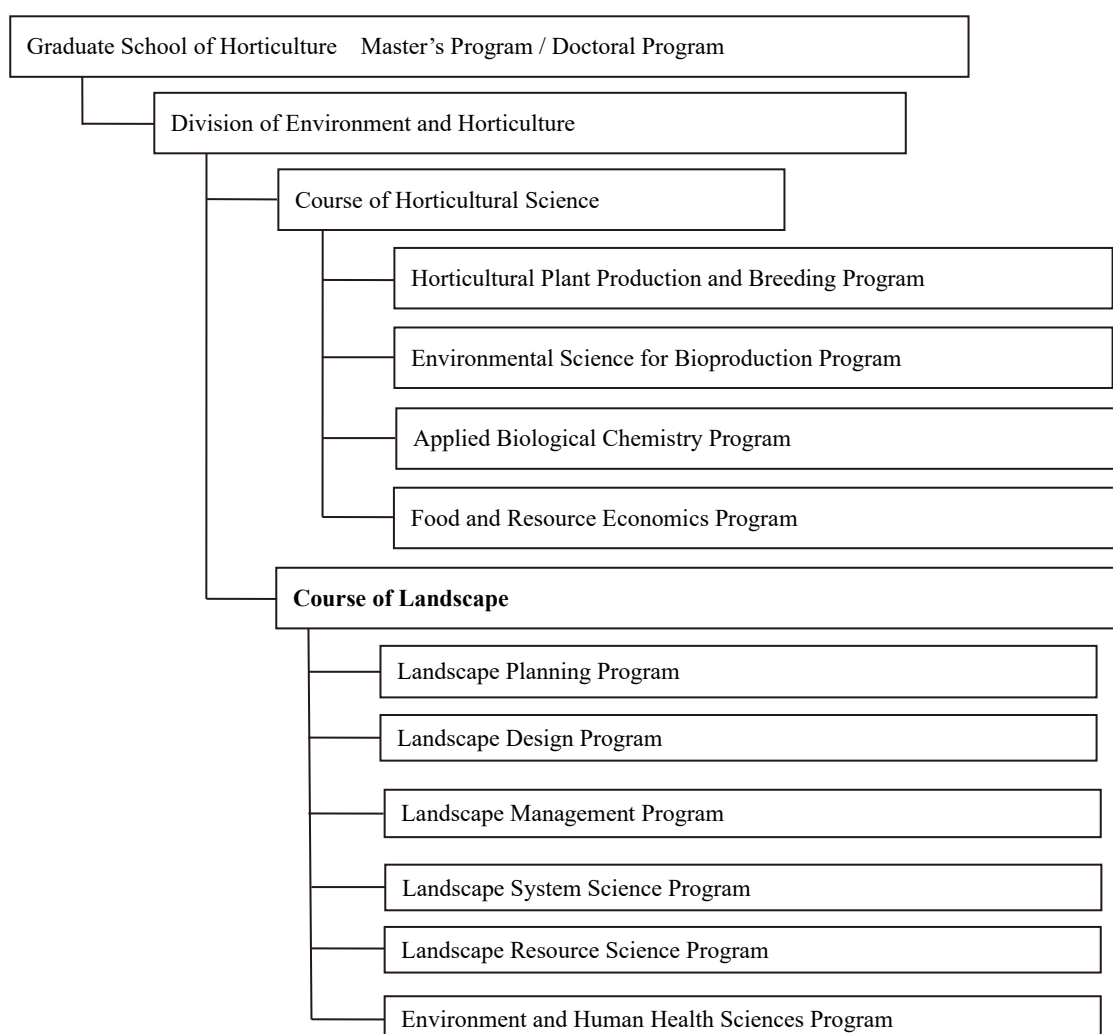
Introduction

This Study Guide explains procedures that students enrolled in a graduate program must follow in order to take courses and earn an academic degree.

The Graduate School is managed by a faculty council and various committees comprising faculty members; administrative procedures are handled by the Academic Affairs Group. Should you experience any changes in your personal status, or, should you have any questions or concerns regarding your studies, including career guidance, please do not hesitate to contact and discuss them with your academic advisors.

1 . Divisions and Courses

The Graduate School of Horticulture offers Master's and Doctoral Programs through the following division, which comprises two courses and ten programs (encompassing 23 fields)



これらのコース・領域において、以下に説明される履修方法に従って所定の単位を修得し、修士（博士前期課程）あるいは博士（博士後期課程）の学位を取得する通常のプログラムの他に、特別プログラムとして国際園芸ビジネス学プログラム（博士前期課程園芸科学コース）、環境園芸学国際プログラム（留学生対象英語プログラム、博士前期課程、博士後期課程）及び植物環境デザインングプログラム（博士前期課程、博士後期課程）があります。

国際園芸ビジネス学プログラムへの参加を希望する学生は以下 2. 履修方法の 1) ～ 6) の通常プログラムの履修方法に加えて、7) を読んだ上で、指導教員とプログラム担当教員に相談してください。環境園芸学国際プログラムへの参加を希望する学生は、以下 2. 履修方法の 1) ～ 6) の通常プログラムの履修方法に加えて、8) を読んだ上で、指導教員とプログラム担当教員に相談してください。植物環境デザインングプログラムへの参加を希望する学生は、以下 2. 履修方法の 1) ～ 6) の通常プログラムの履修方法に加えて、10) を読んだ上で、指導教員とプログラム担当教員に相談してください。

2. 履修方法

1) 履修方法の概要

- 園芸学研究科を修了するためには、在学中に 1 回以上留学し、当該留学に係る単位を修得することが必要です。また、海外で開催される学会等における研究発表の実施と併せて海外大学の研究室訪問や海外企業の視察を実施するなど、学生自身の研究等に資する海外での活動の実施（この場合は単位修得を伴う必要はありません。）も「留学」の対象となりますので、この場合に必要な申請手続等については、学務担当窓口にて確認してください。
- 博士前期課程（修士）修了のためには、必修科目および選択必修科目等を各コースで求められる単位数以上修得することが必要です。さらに、修士論文（コースによっては作品等）を作成し、最終試験に合格することが必要です。なお、修士（学術）を希望する者は、本学他研究科・学府の関連分野または本専攻内の他コースの研究テーマに関連する科目 4 単位以上を学際的に履修してください。

環境園芸学専攻博士前期課程の修了要件

<園芸科学コース>

修了要件単位数	科目区分		科目名	単位数
30	基盤科目	必修科目 (10 単位)	環境園芸学	2
			研究方法と倫理	2
			特別研究 I	6
	専門科目	必修科目 (10 単位)	遺伝資源利用学	2
			園芸ゲノム情報論	2
			先端園芸技術論	2
			特別演習 I	4
	基盤科目 及び 専門科目	選択必修科目 (6 単位以上)	-----	(6 以上)
		選択科目	※ 1	※ 1

※ 1 : 園芸科学コース内の選択科目のほか、【ランドスケープ学コースの選択必修科目】、【大学院共

In addition to earning a master's or doctoral degree on a regular program by following the rules for taking courses described below and earning the prescribed credits, the Graduate School also offers master's and doctoral degrees through special programs: an International Horticulture & Business Program (Course of Horticultural Science in Master's Program); an International Program in Environment and Horticulture (Special Doctoral Program for International Students); Program: and a Plant Environment Designing Program.

The International Horticulture & Business Program, in addition to conferring a master's degree upon students completing their course of study, can also confer the qualification of "Horticulture Business Expert" upon students completing a Master's Program; students can choose which qualification(s) they wish to earn after enrolling on the program. Students wishing to enroll on this program should read 2. Rules for Taking Courses, sections 1) - 6) for the regular program as well as section 7) Rules for Taking Courses on the Business Program before consulting their academic advisors and the program organizer.

International students wishing to enroll on the International Program in Environment and Horticulture (English Program) should read 2. Rules for Taking Courses, sections 1) - 6) for the regular program as well as sections 8) before consulting their academic advisors and the faculty in charge of this program.

International students wishing to enroll on the Plant Environment Designing Program should read 2. Rules for taking Courses, sections 1) - 6) for the regular program as well as section 10) before consulting their academic advisors and the faculty in charge of this program.

2. Rules for Taking Courses

1) Outline of the Rules for Taking Courses

- To complete their studies at the Graduate School of Horticulture, all students must study abroad at least once during their enrollment and earn credits for their study abroad. (This rule does not apply to international students) In addition to giving a research presentation at an academic meeting or conference abroad, students will engage in a range of activities abroad that will contribute to their own research such as visiting laboratories of overseas universities and visiting foreign companies (in such cases, students are not required to earn credits). This part of the program comes under "Study Abroad." Therefore, please check with the Academic Affairs Office about the necessary application procedures.
- To complete a Master's Program, you have to earn a total of certain or more credits. In completion, you must submit and defend a master's thesis (depending on the course, this could involve producing something, etc.).
If you want to get Master of "Philosophy" degree, please take 4 or more credits of other Graduate School's related fields or another course in Graduate School of Horticulture.

Completion Requirements for a Master's Program

<Course of Horticulture Science>

Credits Required for Completion	Course Categories		Course Name	Credits
30	Basic Course	Compulsory (10)	Environment and Horticulture	2
			Scientific Approaches and Ethics for Researchers	2
			Graduate Research I	6
	Specialized Course	Compulsory (10)	Genetic resource utilization	2
			Horticulture Genomics	2
			Advanced Technology on Horticulture	2
			Graduate Seminar I	4
	Basic Course and Specialized Course	Compulsory elective (6-)	-----	(6-)
		Elective	※ 1	※ 1

※ 1 : Except for Elective Courses of Horticultural Science program, you may earn up to 4 Elective credits for

通教育科目】、【指定推奨科目】を本コースの選択科目の単位として合計4単位まで認める。
(ランドスケープ学コースの必修科目、選択科目は認めないため注意すること。)

必修科目20単位(基盤科目10単位、コース専門科目10単位)、基盤科目およびコース専門科目の選択必修科目から6単位以上を修得し、合わせて30単位以上を修得することが必要です。
また、園芸科学コース内の選択科目のほか、【ランドスケープ学コースの選択必修科目】、【大学院共通教育科目】、【指定推奨科目】を本コースの選択科目の単位として、合計4単位まで認めます。

＜ランドスケープ学コース＞

修了要件 単位数	科目区分		科目名	単位数
34	基盤科目	必修科目 (10単位)	環境園芸学	2
			研究方法と倫理	2
			特別研究Ⅰ	6
	専門科目	必修科目 (12単位)	ランドスケープ構造・機能論	2
			ランドスケープ計画・意匠論	2
			ランドスケーププロジェクト演習A	4
			ランドスケーププロジェクト演習B	4
	基盤科目 及び 専門科目	選択必修科目 (8単位以上)	-----	(8以上)
		選択科目	※2	※2

※2：ランドスケープ学コース内の選択科目のほか、【園芸科学コースの選択必修科目】、【大学院共通教育科目】、【指定推奨科目】を本コースの選択科目の単位として合計4単位まで認める。(園芸科学コースの必修科目、選択科目は認めないため注意すること。)

必修科目22単位(基盤科目10単位、コース専門科目12単位)、基盤科目およびコース専門科目の選択必修科目から8単位以上を修得し、合わせて34単位以上を修得することが必要です。また、ランドスケープ学コース内の選択科目のほか、【園芸科学コースの選択必修科目】、【大学院共通教育科目】、【指定推奨科目】を本コースの選択科目の単位として、合計4単位まで認めます。

- 博士後期課程(博士)修了のためには、特別演習Ⅱ(2単位)、特別研究Ⅱ(4単位)の必修科目と、専門科目、基盤科目、大学院共通教育科目、指定推奨科目(※3)から計8単位以上を選択履修し、合わせて14単位以上を修得することが必要です。さらに、博士論文を作成し、最終試験に合格することが必要です。なお、同一名称の科目を博士前期課程開講科目において既に履修している場合は、修了要件として認めません。

また、博士(学術)を希望する者は、本学他研究科・学府の関連分野または本専攻他コースの研究テーマに関連する科目2単位以上を学際的に履修し、かつ、指定されている経営・経済系科目を1単位以上履修してください。

(※3：選択科目について、【大学院共通教育科目】、【指定推奨科目】を選択科目の単位として、各2単位まで認めます。)

taking 【Compulsory elective courses of Landscape program,】 , 【Common Graduate Courses】 , 【Recommended Courses】 . (Landscape program's **Compulsory, Elective courses are not allowed.**)

You have to get 20 Compulsory credits (10 in Basic Course, 10 in Specialized Course), 6 or more Compulsory elective credits in Basic Course and Specialized Course, total 30 or more credits. Except for Elective Courses of Horticultural Science program, you may earn up to 4 Elective credits for taking 【Compulsory elective courses of Landscape program,】 , 【Common Graduate Courses】 , 【Recommended Courses】 .

<Course of Landscape>

Credits Required for Completion	Course Categories		Course Name	Credits
3 4	Basic Course	Compulsory (10)	Environment and Horticulture	2
			Scientific Approaches and Ethics for Researchers	2
			Graduate Research I	6
	Specialized Course	Compulsory (12)	Theory of Landscape Ecosystems	2
			Theory of Landscape Architecture	2
			Landscape Project Studio - A	4
			Landscape Project Studio - B	4
	Basic Course and Specialized Course	Compulsory elective (8~)	-----	(8以上)
		Elective	※ 2	※ 2

※ 2 : Except for elective courses of Landscape program, you may earn up to 4 Elective credits for taking 【Compulsory elective courses of Horticultural Science program,】 , 【Common Graduate Courses】 , 【Recommended Courses】 . (Horticultural Science program's **Compulsory, Elective courses are not allowed.**)

You have to get 22 Compulsory credits (10 in Basic Course, 12 in Specialized Course), 8 or more Compulsory elective credits in Basic Course and Specialized Course, total 34 or more credits. Except for Elective Courses of Landscape program, you may earn up to 4 Elective credits for taking 【Compulsory elective courses of Horticultural Science program,】 , 【Common Graduate Courses】 , 【Recommended Courses】 .

- To complete a Doctoral Program, you have to earn a total of 14 or more credits comprising compulsory courses for graduate seminar II (2 credits) and graduate research II (4 credits); and 8 or more credits for specialized courses, basic courses, Common Graduate Courses, Recommended Courses (※3) . In completion, you must submit and defend a dissertation. If you take the same class you took in Master's Program while you are in Doctoral Program, those class credits will not count as credits required for completion.
If you want to get Doctor of Philosophy (Philosophy) degree, you have to take 2 or more credits of other Graduate School's related fields or another course in Graduate School of Horticulture, and take 1 or more credits of Management・Economy course.

(※ 3 : You may earn up to each 2 credits for taking 【Common Graduate Courses】 , 【Recommended Courses】 .)

環境園芸学専攻博士後期課程の修了要件

修了要件単位数	科目区分	科目名	単位数
14	必修科目	特別研究Ⅱ	2
		特別演習Ⅱ	4
	選択科目	※4	(8以上) ※4

※4：選択科目のほか、【大学院共通教育科目】、【指定推奨科目】を選択科目の単位として各2単位まで認める。

専門科目とは、本研究科で定められている専門科目です。所属するコースの専門科目も含まれます。**基盤科目**とは、本研究科で定められている各コース共通の科目です。

本研究科は授業をターム制で行います。すなわち、タームごとに授業を履修します。なおシラバス、シラバス概要、時間割で、開講タームの表記が、入力システムの都合で統一されていないことがあるので、十分注意してください。

2) 推奨科目について

融合理工学府、看護学研究科の授業科目のうち、各コースで指定してある科目については、指導教員の承認を得て、博士前期課程にあつては4単位まで、博士後期課程にあつては2単位まで修了要件の単位として認められます。また、これらの推奨科目を所属コースの選択科目に含めることができます。推奨科目一覧についてはp.51-53を参照してください。

3) 大学院共通教育科目について

他研究科・学府の授業科目のうち、大学院共通教育科目に指定されている科目については、博士前期課程にあつては4単位まで、博士後期課程にあつては2単位まで修了要件の単位として認められます。大学院共通教育科目一覧についてはp.53を参照してください。

【参考：大学院共通教育について】

現代社会においては、テクノロジーが急速に進歩し、グローバリズムも著しく進展しています。同時に、世界では、個人の属する国や地域を越えて、経済格差や環境問題に代表される様々な課題が生起しています。こうした多様化し複雑化する社会を的確に捉え、かつ、しなやかに適応できる力を身につけた研究者あるいは高度専門職業人となるには、自身の分野の専門知識を深めるだけでは十分ではありません。分野を越えた専門知と新たなリテラシーを総合した実践知を獲得することで、課題を意欲的に克服し、問題を対象化し、価値を新たに創造できる人材となることが可能になります。

そのような能力を養う一助として、千葉大学では総合大学である特色を生かし、令和元年度より大学院共通教育を導入しました。皆さんの所属する研究科、学府に関わらず履修可能な大学院横断型の授業を多数用意しています。詳しくは、「千葉大学大学院共通教育授業案内」を参照し、皆さんの関心に応じて履修してください。（千葉大学ホームページの「教育」のページにも掲載しています。）

※2) 推奨科目、3) 大学院共通教育科目については、修了要件等をよく確認の上履修願います。

Completion Requirements for a Doctoral Program

Credits Required for Completion	Course Categories	Course name	Credits
1 4	Compulsory	Graduate Seminar II	2
		Graduate Research II	4
	Elective	※ 4	(8 ~) ※ 4

※ 4 : Except for elective courses, you may earn up to each 2 credits for taking 【Common Graduate Courses】 , 【Recommended Courses】 .

Specialized courses refer to specialized courses designated by the Graduate School. These include specialized courses corresponding to students' course of study. Basic courses refer to courses designated by the Graduate School as being common to all courses.

The Graduate School offers courses on a term system. In other words, students take courses for each term. Term notation may not be consistent throughout the syllabus, outlines of course syllabuses and timetables due to the system, so please exercise due caution.

2) Recommended Courses

Master's Program students can earn up to 4 credits and Doctoral Program students can earn up to 2 credits from the recommended courses of their belonging courses with their academic advisor's approval. The recommended courses are offered by "Graduate Schools of Science and Engineering" or "Graduate Schools of Nursing". These courses can be counted as elective course corresponding to their course of study course. Please refer to P52~54 for the List of Recommended Courses.

3) Common Graduate Courses

Master's Program students can earn up to 4 credits and Doctoral Program students can earn up to 2 credits from the common graduate courses. These courses can be counted as required credits for completion. Please refer to P54 for the List of Common Courses.

【Remarks: Common Graduate Education】

In modern society, technology is advancing rapidly, and globalism is also developing remarkably. At the same time, several problems such as economic disparity or environmental problems that go beyond the country or region that one belongs in, are taking place all around the world. In order to become a researcher or sophisticated professional who can be adaptable and precisely grasp this kind of diversified and complex society, just deepening your expertise in your own field is not enough. By acquiring practical knowledge that combines expertise beyond one's field and new literacy, people can be able to ambitiously overcome issues, objectify the problem, and newly create values.

To aid in cultivating such abilities, our university has made full use of the features of a university that has 11 graduate schools and introduced an inter-graduate school education. Regardless of the graduate school that you belong to, various cross-graduate school type of courses that you can take up have been made available. For more information, refer to 『千葉大学大学院共通教育授業案内』, and take the courses that you're interested in.

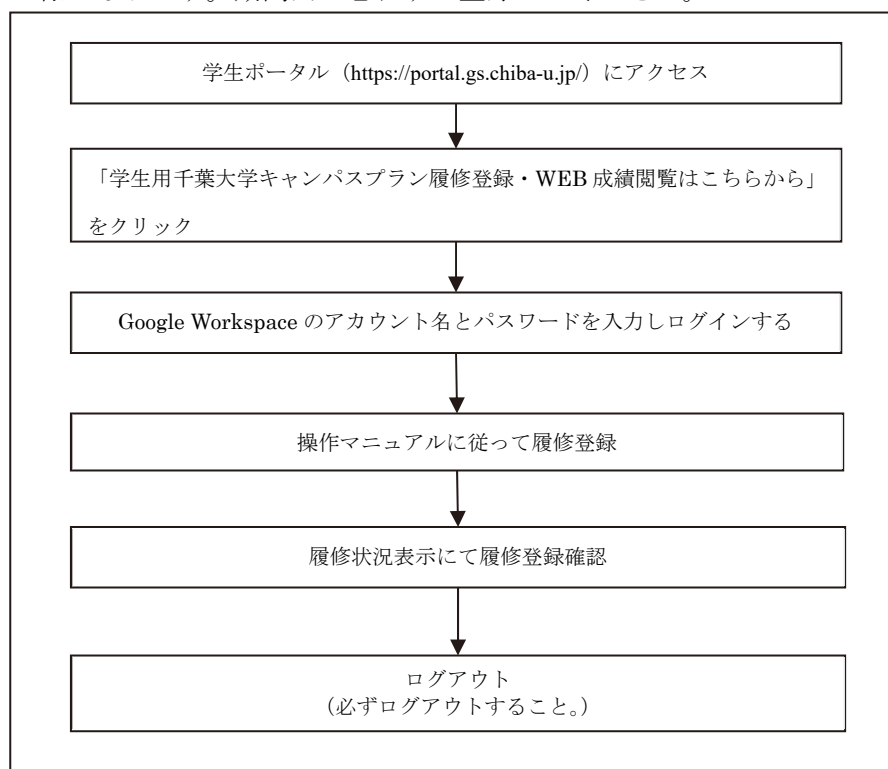
※About 2) Recommended Courses 3) Common Graduate Courses, please check rules carefully before register these courses.

4) 履修計画の作成と履修登録

1年次の学生は、履修科目の決定にあたり、1) で説明した各科目区分について、在学期間（標準修業年限は博士前期課程で2年間、博士後期課程で3年間）内で修了に必要な単位数を修得できるように計画し、入学後、これを以下の手順で進めてください。

- (1) 各学生はガイダンス後、指導教員と相談して学年ごとにどの科目を何単位履修するか計画を立て、「研究指導計画書・履修計画書」を作成し、指導教員の確認・署名捺印を得て、4月（10月入学の場合は10月）の指定日までに学務係に提出してください。
- (2) 各授業科目は、各期の授業開始日からの1週間に1回目の授業が行われます。開講場所は履修要項およびシラバスを参照してください。1回目の授業に出席したうえで、その授業の履修を決定してください。集中講義の日程等については掲示等により案内します。
- (3) 履修科目のWEB登録

履修登録は、コンピューター等からオンラインによって行います。オンライン登録の流れは概ね以下のようになります。期間内に忘れずに登録してください。



5) 成績の通知と問い合わせ

学期ごとに成績は処理され、春期は9月下旬、秋期は3月下旬に学生ポータルで確認ください。成績に疑義がある場合には、新学期の授業開始日から15日以内に園芸学部学務係に調査を依頼することができます。

調査の結果、誤りが確認された場合は訂正等の処置がとられます。さらに再確認を求める場合は、問い合わせ回答後15日以内に学務係に申し出ることができます。

成績評価は、出席状況、レポート、期末試験等を総合して行います。具体的方法については、科目ごとに Web 上のシラバス(<http://www.chiba-u.jp/campus-life/syllabus/index.html>)に掲載します。

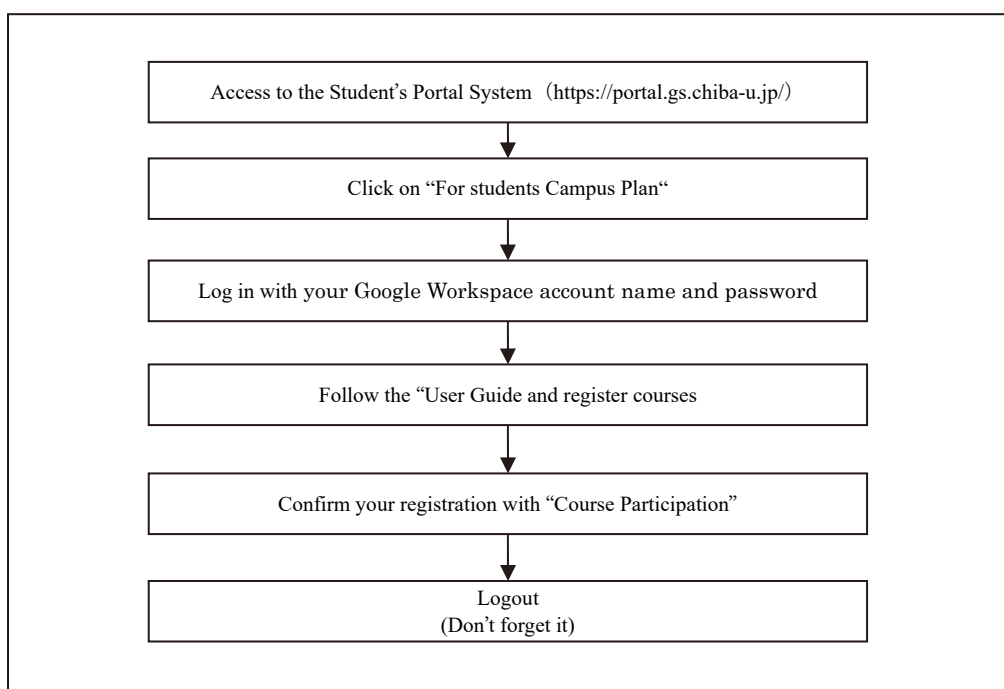
成績評価は、「秀」(90点以上100点以下)、「優」(80点以上89点以下)、「良」(70点以上79点以下)、「可」(60点以上69点以下)及び「不可」(59点以下)の5段階で評価します。

4) Preparation of Study Plans and Course Registration

New students, please follow the below steps (1)-(3) to plan to earn the required credits (with regard to the course categories explained in section 1) within their period of enrollment (2 years for a Master's Program and 3 years for a Doctoral Program (regular program))

- (1) After attending Guidance, each student should consult their academic advisors and formulate a plan of which courses they are going to take and how many credits they will earn for each. For each academic year of study, prepare a "Research Guidance Plan and Research plan", get their academic advisor's signature/seal of approval, and submit it to the Academic Affairs Group by a designated day in April (a designated day in October for October enrollment).
- (2) The first class for each course is held within a week of the starting date for classes each semester. Please refer to the Study Guideline and Syllabus for the location of the class. Please attend the first class before deciding whether you will take that course. Schedules, etc. for intensive courses are announced by posting notices.
- (3) Online Course Registration (available at the Japanese website)

Course registration is completed online from a computer. The procedure for online registration is largely in line with the following. Please ensure you register for courses within the designated period.



5) Notification of Academic Grades, and Inquiries

Academic grades are processed for each semester, so please refer to the Student Portal at the end of September for the spring semester and at the end of March for the fall semester. Students with questions about their academic grades may request an investigation at the Academic Affairs Group within 15 days after the start of the new semester.

Should an error be confirmed as a result of investigation, procedures to correct the error can be taken. Moreover, students wishing to have their grades reconfirmed may ask the Academic Affairs Group to do so within 15 days after receiving a reply to their initial inquiry.

Students are evaluated based on a combination of their attendance, reports, term-end tests, and more. The specific method of evaluation for each course is described in the syllabus posted on the Chiba University website.

<http://www.chiba-u.jp/campus-life/syllabus/index.html>

Student performance is evaluated according to a 5-level system: "S" (90-100 points), "A" (80-89 points), "B" (70-79 points), "C" (60-69 points), and "Fail" (59 points or less).

6) 修了

本研究科を修了すると、課程により修士または博士の学位が与えられます。博士前期課程の在学期間は、2年を標準修業年限とし、4年を超えることができません。博士後期課程の在学期間は、3年を標準修業年限とし、6年を超えることができません。なお、「早期修了」及び「長期履修」を希望する者は、指導教員に相談してください。

特別プログラム履修を希望する学生以外は、p. 25 に進んでください。

7)～10)では園芸学研究科で開設されている特別プログラムに関して説明します。

7) 国際園芸ビジネス学プログラム（博士前期課程 園芸科学コース）

国際園芸ビジネス学プログラムは、園芸産業の現場をフィールドにして課題解決を行う「園芸コンサルティング演習」を中心にして、高度な園芸技術、戦略的な経営感覚および国際感覚をバランスよく身に付け、課題解決能力や現場対応能力に優れた園芸ビジネスエキスパートを育成することを目的としています。

このプログラムで必要とされるすべての科目を履修した学生は学位に加えて、「園芸ビジネスエキスパート」の資格を園芸学研究科より授与されます。プログラム履修を希望する学生は、プログラム担当教員と相談し、入学後1ヶ月以内に、所定の申請書を学務係まで提出してください。

《園芸ビジネスエキスパート（博士前期課程 園芸科学コース）》

- 「園芸ビジネスエキスパート」資格取得のためには、園芸科学コースの必修科目および基盤科目の必修科目（20単位）、園芸コンサルティング演習（4単位）、園芸産業論（2単位）、環境園芸アントレプレナーシップ（2単位）を履修し、基盤科目および園芸科学コース専門科目から6単位以上、合わせて34単位以上を修得することが必要です。

「園芸ビジネスエキスパート」の資格取得要件

＜園芸科学コース＞

修了要件単位数	科目区分	単位数
34	園芸科学コース必修科目、 基盤科目の必修科目	20
	園芸コンサルティング演習	4
	園芸産業論	2
	環境園芸アントレプレナーシップ	2
	基盤科目、 園芸科学コース専門科目	6

《プログラム参加から資格取得までの流れ》

- **ガイダンス**：4月新入生全員を対象に、国際園芸ビジネス学プログラムについて概要の説明を行います。
- **仮申込**：国際園芸ビジネス学プログラムについての詳細な説明を希望する学生は、上記ガイダンス後、速やかに仮申込の旨をプログラム担当教員にお伝えください。

6) Completion

Depending on the course taken, master's and doctoral degrees are conferred upon students completing their studies at the Graduate School. The standard period of enrollment for a Master's Program is 2 years, and cannot exceed 4 years. The standard period of enrollment for a Doctoral Program is 3 years, and cannot exceed 6 years. Students wishing to use the programs for "Early Completion" or "Long-term Student" have to consult with their academic advisors.

Students other than those wishing to study under special education programs, please go to p.26.

Special education programs offered by the Graduate School of Horticulture are explained in sections 7) ~ 10).

7) International Horticulture and Business Program (Course of Horticultural Science in Master's Program, Japanese program)

Centered on Practice on Horticultural Consulting where students engage in problem solving at work sites in the field, the International Horticulture and Business Program aims to train students as horticultural business experts with excellent problem-solving skills and expertise in responding at the front line of the industry by providing them with a sound balance of advanced horticultural techniques, a sense of strategic management, and an international perspective of the industry.

In addition to an academic degree, the Graduate School of Horticulture confers the qualification of Horticulture and Business Expert upon students who have completed a Master's Programs respectively and get all courses required by this program.

Students wishing to participate in this program should consult with the program organizer and submit the prescribed application to the Academic Affairs Group within one month of enrollment.

< International Horticulture & Business Program (Course of Horticultural Science in Master's Program)>

- In order to qualify as an Horticulture and Business Expert, students must earn a total of 34 or more credits by selecting and successfully completing Specialized Course(Compulsory) and Basic Course(Compulsory) (20 credits), Practice on Horticultural Consulting (4 credits), Horticulture Industry (2 credits), Entrepreneurship for Horticulture (2 credits), Basic Course and Specialized Course (6 credits),.

Requirements for Qualifying as "Horticulture and Business Expert"

<Course of Horticultural Science>

Credits Required for Completion	Course Categories	Credits
34	Specialized Course(Compulsory), Basic Course(Compulsory)	20
	Practice on Horticultural Consulting	4
	Horticulture Industry	2
	Entrepreneurship for Horticulture	2
	Basic Course and Specialized Course	6

<A Series of Procedures from Participation in the Program to Acquisition of the Qualification>

- Guidance (scheduled for Mid-April for April enrollment): An outline of the Business Program is explained to all newly enrolled students.
- Provisional Application: Students wishing to receive a more detailed explanation of the Business Program should send an e-mail about the provisional application to the program organizer as soon as possible after the above mentioned Guidance.
- Explanatory Meeting: Please attend the explanatory meeting for the Business Program which is held within one month of enrollment to get more detailed explanations.

- **個別面談**：仮申込後、プログラム担当教員との個別面談を開始し、履修計画を作成します。
- **履修登録**：履修登録を Web により行います。申請書提出：国際園芸ビジネス学プログラムの申請書を、プログラム担当教員へ提出してください。
- **適宜面談**：プログラム担当教員と適宜相談し、履修の状況等を話し合い、必要に応じてアドバイスを受けることができます。
- **認定審査・資格取得**：国際園芸ビジネス学プログラムの修了要件に係る全ての授業科目を修得し、学位論文の審査が終了すると、エキスパートとしての認定審査にかかります。これに合格すると、「園芸ビジネスエキスパート」の資格を取得できます。

8) 環境園芸学国際プログラム（英語プログラム）（博士前期課程・博士後期課程）

環境園芸学国際プログラムは、施設園芸、環境造園分野におけるアジア地域を中心とした教育研究ネットワーク形成とエキスパート養成を目的として開始された英語によるプログラムで、博士前期課程学生を主な対象としています。本プログラムに申請される場合は、指導教員へご相談の上、履修計画表提出時に英語プログラム該当者である旨記載してください。

環境園芸学国際プログラムの修了要件等は p. 11～と同じです。

博士前期課程で本英語プログラム対象者については、「園芸学専門日本語 A」及び「園芸学専門日本語 B」を基盤科目の選択必修科目として受講できます。また、以下のとおり読み替えることができます。

	読み替え元科目	読み替え先科目
共通	環境園芸学	国際環境園芸学
	研究方法と倫理	プロジェクトマネジメント概論
園芸科学コース	先端園芸技術論	Horticultural Crop Management
	園芸ゲノム情報論	応用生命科学特論
	遺伝資源利用学	遺伝子科学コミュニケーション

※読み替え元科目と読み替え先科目の両方を履修しても修了要件単位には一方の科目分しか加算されません。

博士後期課程で本英語プログラム対象者については、「園芸学専門日本語 C」及び「園芸学専門日本語 D」を基盤科目の選択科目として受講できます。

このプログラムの授業内容等に関しては、学務係にお問い合わせください。

9) ダブルディグリープログラム

園芸学研究科は、博士前期課程では清華大学建築学院（中国）、南京農業大学（中国）、ボゴール農科大学（インドネシア）、パジャジャラン大学（インドネシア）、マヒドン大学理学部（タイ）、メイファールアン大学（タイ）、北京林業大学（中国）との、博士後期課程ではマヒドン大学理学部（タイ）、パジャジャラン大学（インドネシア）、キングモンクット工科大学トンブリ校（タイ）、メイファールアン大学（タイ）との「ダブルディグリープログラム」を実施しています。

このプログラムは、海外の協定大学との合意に基づいて、千葉大学の学位と協定大学の学位を取得できるものです。千葉大学の学生がプログラムに参加する場合は、協定大学に1年間以上（博士前期課程については、1年間を限度とする）滞在し、要件を満たす単位を取得する必要があります。

出願時期は大学により異なりますので、このプログラムに参加を希望する学生は速やかに学務係まで連絡して下さい。

- Individual Interviews: Individual interviews with the program organizer begin after the explanatory meeting and study plans are formulated.
- Course Registration: Course registration is completed online. Application Submission: Please submit an application for the Business Program to the program organizer.
- Progress Interviews: You can consult the program organizer as and when you have to discuss how your studies are going, etc. and receive advice as needed.
- Certification Review/Qualification: Once you have achieved a certain grade of the all courses, required for completion of the Business Program, and your thesis review has been completed, you will be subjected to a certification review. If you pass this, you will qualify as Horticulture and Business expert.

8) International Program in Environment and Horticulture (English Program) (Master's and Doctoral Program)

The International Program was established to provide an educational environment for international students from overseas, and, at the same time to promote joint education with partner schools and institutions overseas. This program targets international students enrolling in Doctoral Programs in October and can be completed by attending lectures, etc. that are conducted in English.

Students wishing to enroll in this program should consult with academic advisors and write it on Study plan. The Completion Requirements in this program is the same as p.12~.

Master's course students enrolling in this program can take "Special Japanese for Horticultural Science A" and "Special Japanese for Horticultural Science B" as compulsory elective course in Basic Course, and replace as follows.

	Before the replacement	After the replacement
Basic courses	Environment and Horticulture	International Environmental Horticulture
	Scientific Approaches and Ethics for Researchers	Project Management
Course of Horticultural Science	Advanced Technology on Horticulture	Horticultural Crop Management
	Horticulture Genomics	Advanced Lectures on Applied Biological Science
	Genetic resource utilization	Genetic Science Communication

※Even if you take both of "Before the replacement" and "After the replacement" courses, you can get the credits of only 1 course for completion requirement.

Doctoral course students enrolling in this program can take "Special Japanese for Horticultural Science C" and "Special Japanese for Horticultural Science D" as compulsory elective course in Basic Course.

Please ask Academic Affairs Group when you have any questions.

9) Double Degree Program

The Graduate School of Horticulture launched a Double Degree Program for master students of Tsinghua University School of Architecture (China), College of Horticulture of Nanjing Agricultural University(China), Graduate School of Bogor Agricultural University (Indonesia), University of Padjadjaran (Indonesia), Mahidol University Faculty of Science (Thailand), Mae Fah Luang University (Thailand), or The School of Agro-Industry and School of Landscape Architecture of Beijing Forestry University (China) and doctoral students of Mahidol University Faculty of Science (Thailand), University of Padjadjaran (Indonesia), School of Bioresources and Technology, King Mongkut's University of Technology Thonburi (Thailand), or Mae Fah Luang University (Thailand).

This program, based on the agreement of partner universities overseas, enables students to earn degrees from both Chiba University and their partner universities. Chiba University students participating in this program are required to spend a period of one year or more at the partner university, and to earn sufficient credits to fulfill completion requirements.

Since the application period differs from each universities, students wishing to participate in this program should contact Academic Affairs Group promptly.

10) 植物環境デザインングプログラム

このプログラムでは、園芸学研究科・環境園芸学専攻、融合理工学府・創成工学専攻および環境健康フィールド科学センターが連携し、植物環境に関してプロジェクトマネジメントが出来る人材を育成します。通常プログラムの専門科目及び基盤科目に加えて、長期インターンシップ、プロジェクト演習・実習など実践的な英語開講科目を履修することができます。

このプログラムに参加を希望する学生は学務係にご相談ください。なお、このプログラムに参加した学生が修了要件に加えて園芸学研究科の科目から10単位以上を取得した場合は、植物環境デザインングプログラムの修了認定を受けることができます。修了認定を希望する場合は修了予定年度の1月末まで（9月修了の場合は6月末まで）に学務係までお申し出ください。

1 O) Plant Environment Designing Program

“Division of Environment and Horticulture in Graduate School of Horticulture”, “Design Science Course in Graduate School of Science and Engineering” and “Center for Environment, Health and Field Sciences” collaborate to foster the personnel, who can manage projects on plant environment. In addition to the basic and specialized courses of a regular program, students can take special practical courses such as International Internship and Project Seminar/Practice.

Students wishing to enroll in this program should consult with Academic Affairs Group. Students who complete this program with taking 10 credits in addition to Completion Requirements, can receive a certificate of completion on this course. If you need it, please consult with Academic Affairs Group by the end of January (Graduation month: March) or June (Graduation month: September) of your graduation year.

学位取得までの年次別手順

手続きに必要な書式は、園芸学研究科ホームページからダウンロードできます。（<http://www.h.chiba-u.jp>）

（１）博士前期課程４月入学の場合

年次別	学期別	事 項	提出時期等	提出先等	参照頁
1 年次	春 期	①指導教員の決定	入学時		
		②学生カードの提出	新入生ガイダンス時		
		③研究指導計画書・履修計画書の提出	4月の指定された日まで	学務窓口及び主任指導教員	
		④春期・通期授業科目の履修登録	指定された日まで	Webで登録	
	秋 期	⑤秋期授業科目の履修登録	指定された日まで	Webで登録	
		⑥研究経過報告書の提出	3月末日まで	指導教員→学務係	
2 年次	春 期	⑦春期・通期授業科目の履修登録	指定された日まで	Webで登録	
	秋 期	⑧秋期授業科目の履修登録	指定された日まで	Webで登録	
		⑨【学位論文審査の書類提出】 ・学位論文審査申請書（様式1）	11月上旬の指定された日	学務係	p.80
		⑩学位論文審査 ・学位論文（審査用）	1月上旬～ 2月上旬	審査委員	
		⑪修士論文発表会	2月中旬		
		⑫学位論文データ提出	3月上旬	指導教員	
		⑬学位授与式	3月末		

Steps Toward Earning an Academic Degree

Reference page numbers and the names of all necessary forms included in this booklet have been noted. They can also be downloaded from the Graduate School of Horticulture website. (<http://www.h.chiba-u.jp>)

(1) For April Enrollment on a Master's Program

Year	Semester	Details	Submission Deadline	Submitted To	Ref. Page
Year 1	Spring Semester	①Decision on Academic Advisors	At enrollment		
		②Submission of Personal Information	At Guidance		
		③Submission of Research Guidance Plan and Research plan	Designated day in Apr.	Academic Affairs Desk Academic Advisor	
		④Registration for Spring Semester/Full Year Courses	Designated day	Register online	
	Fall Semester	⑤Registration for Fall Semester Courses	Designated day	Register online	
		⑥Submission of Research Progress Report	End of Mar.	Academic Advisor →Student Affairs Unit	
Year 2	Spring Semester	⑦Registration for Spring Semester/Full Year Courses	Designated day	Register online	
	Fall Semester	⑧Registration for Fall Semester Courses	Designated day	Register online	
		⑨[Submission of Documents for Review of Thesis] • Application for Review of Thesis (Form 1)	Designated day in early Nov.	Student Affairs Unit	p.80
		⑩Thesis Review • Thesis (for Review)	Early Jan.~Early Feb.	Review Committee	
		⑪Master's Thesis Presentation Meeting	Mid-Feb.		
		⑫Submission of Thesis data	Early Mar.	Academic Advisor	
		⑬Conferment Ceremony	End of Mar.		

(2) 博士前期課程10月入学の場合

年次別	学期別	事 項	提出時期等	提出先等	参照頁
1 年次	秋 期	①指導教員の決定	入学時		
		②学生カードの提出	入学手続時		
		③研究指導計画書・履修計画書の提出	10月の指定された日まで	学務窓口 主任指導教員	
		④秋期授業科目の履修登録	指定された日まで	Webで登録	
	春 期	⑤春期・通期授業科目の履修登録	指定された日まで	Webで登録	
		⑥研究経過報告書の提出	9 月末日まで	指導教員→学務係	
2 年次	秋 期	⑦秋期授業科目の履修登録	指定された日まで	Webで登録	
	春 期	⑧春期授業科目の履修登録	指定された日まで	Webで登録	
		⑨【学位論文審査の書類提出】 ・学位論文審査申請書（様式1）	5月上旬の 指定された日	学務係	p.80
		⑩学位論文審査 ・学位論文（審査用）	6月下旬～ 7月下旬	審査委員	
		⑪修士論文発表会	7月下旬～ 8月上旬		
		⑫学位論文データ提出	8月下旬	指導教員	
		⑬学位授与式	9 月末		

(2) For October Enrollment on a Master's Program

Year	Semester	Details	Submission Deadline	Submitted To	Ref. Page
Year 1	Fall Semester	①Decision on Academic Advisors	At enrollment		
		②Submission of Personal Information	At enrollment Procedure		
		③Submission of Research Guidance Plan and Research plan	Designated day in Oct.	Academic Affairs Desk Academic Advisor	
		④Registration for Fall Semester Courses	Designated day	Register online	
	Spring Semester	⑤Registration for Spring Semester/Full Year Courses	Designated day	Register online	
		⑥Submission of Research Progress Report	End of Sep.	Academic Advisor →Student Affairs Unit	
Year 2	Fall Semester	⑦Registration for Fall Semester Courses	Designated day	Register online	
	Spring Semester	⑧Registration for Spring Semester Courses	Designated day	Register online	
		⑨[Submission of Documents for Review of Thesis] • Application for Review of Thesis (Form 1)	Designated day in early May	Student Affairs Unit	p.80
		⑩Thesis Review • Thesis (for Review)	Late Jun. ~ Late Jul.	Review Committee	
		⑪Master's Thesis Presentation Meeting	Late Jul. ~ Early Aug.		
		⑫Submission of Thesis data	Late Aug.	Academic Advisor	
		⑬Conferment Ceremony	End of Sep.		

(3) 博士後期課程4月入学の場合

年次別	学期別	事 項	提出時期等	提出先等	参照頁
1 年次	春 期	①指導教員の決定	入学時		
		②学生カードの提出	新入生ガイダンス時		
		③研究指導計画書・履修計画書の提出	4月の指定された日まで	学務窓口 指導教員	
		④春期・通期授業科目の履修登録	指定された日まで	Webで登録	
	秋 期	⑤秋期授業科目の履修登録	指定された日まで	Webで登録	
		⑥研究経過報告書の提出	3月末日まで	指導教員 →学務係	
2 年次	春 期	⑦春期・通期授業科目の履修登録	指定された日まで	Webで登録	
	秋 期	⑧秋期授業科目の履修登録	指定された日まで	Webで登録	
		⑨研究経過報告書の提出	3月末日まで	指導教員→学務係	
3 年次	春 期	⑩春期・通期授業科目の履修登録	指定された日まで	Webで登録	
	秋 期	⑪秋期授業科目の履修登録	指定された日まで	Webで登録	
		⑫【学位論文予備審査の書類提出】 ・学位論文予備審査願1部（予備審査用様式1） ・学位論文（予備審査用）1＋4部 ・論文目録（予備審査用）1＋4部（様式2） ・論文内容の要旨1＋4部（様式3） ・参考論文及び既公表論文1＋4部	10月下旬の 指定された日	各1部を学務係へ （ほか是指導教員へ）	p.95～ p.98
		⑬【学位論文本審査の書類提出】 ・学位論文審査願1部（様式1） ・学位論文1＋4部（審査員用） ・論文目録1＋4部（様式2） ・論文内容の要旨1＋4部（様式3） ・履歴書1＋4部（様式4） ・参考論文及び既公表論文1＋4部 ・承諾書（様式5）	1月上旬の 指定された日	各1部を学務係へ （ほか是指導教員へ）	p.96～ p.100
		⑭最終論文（CD-R）の提出（1枚） 博士論文のインターネット公表確認書の提出（1部）	2月下旬	学務窓口	
		⑮修了判定	3月上旬		
		⑯学位授与式	3月末		

(3) For April Enrollment on a Doctoral Program

Year	Semester	Details	Submission Deadline	Submitted To	Ref. Page
Year 1	Spring Semester	①Decision on Academic Advisors	At enrollment		
		②Submission of Personal Information	At Guidance		
		③Submission of Research Guidance Plan and Research plan	Designated day in Apr.	Academic Affairs Desk Academic Advisor	
		④Registration for Spring Semester/Full Year Courses	Designated day	Register online	
	Fall Semester	⑤Registration for Fall Semester Courses	Designated day	Register online	
		⑥Submission of Research Progress Report	End of Mar.	Academic Advisor →Studeent Affairs Unit	
Year 2	Spring Semester	⑦Registration for Spring Semester/Full Year Courses	Designated day	Register online	
	Fall Semester	⑧Registration for Fall Semester Courses	Designated day	Register online	
		⑨Submission of Research Progress Report	End of Mar.	Academic Advisor →Studeent Affairs Unit	
Year 3	Spring Semester	⑩Registration for Spring Semester/Full Year Courses	Designated day	Register online	
	Fall Semester	⑪Registration for Fall Semester Courses	Designated day	Register online	
		⑫[Submission of Documents for Preliminary Thesis Review] • Application for a Thesis Review 1Copy (Preliminary Form 1) • Thesis (for Preliminary Review) 1+4 Copies (Form 2) • List of Papers (for Preliminary Review) 1+4 Copies (Form 3) • Summary of Thesis Contents 1+4 Copies • Reference Papers and Publications 1+ 4 Copies	Designated day in Late Oct.	1 Copy to Studeent Affairs Unit (Others to Academic Adbisor)	p.95~ p.98
		⑬[Documents for Submission for a Thesis Review] • Application for a Thesis Review 1 Copy (Form 1) • Thesis 1+4 Copies for Reviews • List of Papers 1+4 Copies (Form 2) • Summary of Thesis Contents 1+4 Copies (Form 3) • Curriculum Vitae 1+4 Copies (Form 4) • Reference Papers and Publications 1+4 Copies • Letters of Consent (Form 5)	Designated day in early Jan.	1 Copy to Studeent Affairs Unit (Others to Academic Adbisor)	p.96~ p.100
		⑭Submission of Final Thesis (CD-R) (1 Copies) Confirmation of Internet Publication of Doctoral Dissertation (1Copies)	Late Feb.	Studeent Affairs Unit	
		⑮Decision on Completion of Studies	Early Mar.		
		⑯Conferment Ceremony	End of Mar.		

(4) 博士後期課程10月入学の場合

年次別	学期別	事 項	提出時期等	提出先等	参照頁
1 年次	秋 期	①指導教員の決定	入学時		
		②学生カードの提出	入学手続時	学務窓口	
		③研究指導計画書・履修計画書の提出	10月の指定された日まで	学務窓口 指導教員	
		④秋期授業科目の履修登録	指定された日まで	Webで登録	
	春 期	⑤春期・通期授業科目の履修登録	指定された日まで	Webで登録	
		⑥研究経過報告書の提出	9 月末日まで	指導教員→学務係	
2 年次	秋 期	⑦秋期授業科目の履修登録	指定された日まで	Webで登録	
	春 期	⑧春期・通期授業科目の履修登録	指定された日まで	Webで登録	
		⑨研究経過報告書の提出	9 月末日まで	指導教員→学務係	
3 年次	秋 期	⑩秋期授業科目の履修登録	指定された日まで	Webで登録	
	春 期	⑪春期授業科目の履修登録	指定された日まで	Webで登録	
		⑫【学位論文予備審査の書類提出】 ・学位論文予備審査願 1 部（予備審査用様式 1） ・学位論文（予備審査用） 1 + 4 部 ・論文目録（予備審査用） 1 + 4 部（様式 2） ・論文内容の要旨 1 + 4 部（様式 3） ・参考論文及び既公表論文 1 + 4 部	4月下旬の 指定された日	各 1 部を学務係へ （ほか是指導教員へ）	p.95～ p.98
		⑬【学位論文本審査の書類提出】 ・学位論文審査願 1 部（様式 1） ・学位論文 1 + 4 部（審査員用） ・論文目録 1 + 4 部（様式 2） ・論文内容の要旨 1 + 4 部（様式 3） ・履歴書 1 + 4 部（様式 4） ・参考論文及び既公表論文 1 + 4 部 ・承諾書（様式 5）	6月上旬の 指定された日	各 1 部を学務係へ （ほか是指導教員へ）	p.96～ p.100
		⑭最終論文（CD-R）の提出（1 枚） 博士論文のインターネット公表確認書の提出（1 部）	8 月下旬	学務窓口	
		⑮修了判定	8 月下旬		
		⑯学位授与式	9 月末		

(4) For October Enrollment on a Doctoral Program

Year	Semester	Details	Submission Deadline	Submitted To	Ref. Page
Year 1	Fall Semester	①Decision on Academic Advisors	At enrollment		
		②Submission of Personal Information	At enrollment procedure	Student Affairs Unit	
		③Submission of Research Guidance Plan and Research plan	Designated day in Oct.	Student Affairs Unit Academic Advisor	
		④Registration for Fall Semester Courses	Designated day	Register online	
	Spring Semester	⑤Registration for Spring Semester/Full Year Courses	Designated day	Register online	
		⑥Submission of Research Progress Report	End of Sep.	Academic Advisor →Student Affairs Unit	
Year 2	Fall Semester	⑦Registration for Fall Semester Courses	Designated day	Register online	
	Spring Semester	⑧Registration for Spring Semester/Full Year Courses	Designated day	Register online	
		⑨Submission of Research Progress Report	End of Sep.	Academic Advisor →Student Affairs Unit	
Year 3	Fall Semester	⑩Registration for Fall Semester Courses	Designated day	Register online	
	Spring Semester	⑪Registration for Spring Semester Courses	Designated day	Register online	
		⑫[Submission of Documents for Preliminary Thesis Review] • Application for a Thesis Review 1Copy (Preliminary Form 1) • Thesis (for Preliminary Review) 1+4 Copies (Form 2) • List of Papers (for Preliminary Review) 1+4 Copies(Form 3) • Summary of Thesis Contents 1+4 Copies • Reference Papers and Publications1+ 4 Copies	Designated day in late Apr.	1 Copy to Student Affairs Unit (Others to Academic Advisor)	p.95~ p.98
		⑬[Documents for Submission for a Thesis Review] • Application for a Thesis Review 1 Copy (Form 1) • Thesis 1+4 Copies for Reviews • List of Papers 1+4 Copies (Form 2) • Summary of Thesis Contents1+4 Copies (Form 3) • Curriculum Vitae 1+4 Copies (Form 4) • Reference Papers and Publications 1+4 Copies • Letters of Consent (Form 5)	Designated day in late Jun.	1 Copy to Student Affairs Unit (Others to Academic Advisor)	p.96~ p.100
		⑭Submission of Final Thesis (CD-R) (1 Copies) Confirmation of Internet Publication of Doctoral Dissertation (1Copies)	Late Aug.	Student Affairs Unit	
		⑮Decision on Completion of Studies	Late Aug.		
		⑯Conferment Ceremony	End of Sep.		

博士前期課程の授業科目

コース	科目区分	授業科目の名称	専修免許		履修推奨 年次	単位数		授業形態				担当教員	期別	曜日	時限	曜日 その2	時限 その2	ナンバリング	参考
			理 科	農 業		必修	選択	講義	演習	実習	英語対応								
園芸科学	必修	遺伝資源利用学	●		1	2		●			○	井川・中村・相馬・吉田(行)	T1-2	金	2			HA556	
		園芸ゲノム情報論	●		1	2		●			○	菊池・齊藤・國分・中村・佐々・野村・天知・宇佐見・園田・相馬・華岡・島田・平井・内藤(世話人:菊池)	T1-2	金	1			HA557	
		先端園芸技術論		●	1	2		●			○	後藤・松岡・椎名・小川・彦坂	T1-2	月	5			HA558	
		特別演習I			1~2	4			●		○	各指導教員	通年	集中				HA601	修了年次に履修登録すること
園芸科学	選択必修	園芸コンサルティング演習		●	2		4		●			大川・久枝(世話人:大川)	通年	集中				HA532	
		園芸産業論		●	1		2	●				櫻井・渡辺(均)・塚越・淨閑・大川	T2	月	2	木	2	HA533	
		農業気象・環境学特論		●	1		2	●			○	松岡・後藤・彦坂	T4-5	木	4			HA534	
		生物圏相互作用論	●		1・2		2	●			○	坂本・天知・宇佐見・長・野村・八島・濱	T5	月	3	木	3	HA535	
		作物リスク管理学	●		1・2		2	●			○	石川(世話人:坂本)	T3	集中				HA559	奇数年度開講
		園芸ゲノム育種学I	●		1		2	●			○	佐々・菊池	T1-2	火	2			HA536	
		フードサイエンス	●		1		2	●			○	小川・平井・椎名・江頭	T2	月	2	木	2	HA537	
		応用生命化学特論A	●		1		2	●				西田・天知・江頭・平井・園田・相馬	T2	月	4	金	4	HA538	
		応用生命化学特論B	●		1		2	●				華岡・渡辺(正)・加川・島田	T3	集中				HA539	西千葉開講
		応用生命化学特論C	●		1		2	●				児玉・宮本(世話人:児玉)・土肥・宮原	T4	集中				HA540	
		離培養微生物論	●		1・2		1	●				鎌形(世話人:天知)	T4	集中				HA541	奇数年度開講
		ファイトケミカル・サイエンステクノロジー論	●		1・2		1	●				小堀(世話人:江頭)・江頭	T4	集中				HA542	偶数年度開講
		植物環境応答制御学	●		1・2		2	●				児玉・宮原・木下(俊)(世話人:児玉)・笠原(世話人:児玉)	T4-T5	集中				HA543	奇数年度開講
		生体分子計測学特論	●		1		2	●				【浦】・【伊藤】・【寺崎】	T1-2	集中				HA544	
		分子生物学特論	●		1		2	●				【遠藤】・【小笠原】	通年	集中				HA545	
		細胞微細構造論	●		1		2	●				【松浦】・【石川】・【板倉】	T4-5	集中				HA546	
		農業・開発政策論		●	1		2	●			○	小林(弘)・藤家(世話人:小林)・杉野(世話人:小林)	T1	集中				HA547	
		経済統計学		●	1		2	●			○	栗原・丸山	T3	集中				HA548	
		Horticultural Crop Management			1		2	●			◎	小川 他	T4-5	火	3			HA549	
		応用生命科学特論			1		2	●			◎	西田・渡辺(正)・児玉・江頭・天知・宮本(世話人:児玉)・土肥・華岡・平井・園田・相馬・宮原・加川・島田	T5	集中				HA550	
		遺伝子科学コミュニケーション			1		2	●			◎	矢野・佐藤(世話人:矢野)	T4-5	集中				HA551	
		施設園芸プロジェクト演習・実習Ⅰ			1		2	●	●	●	◎	高垣・塚越	T4-5	集中				HA552	
		施設園芸プロジェクト演習・実習Ⅱ			1		2	●	●	●	◎	高垣・塚越	T4-5	集中				HA553	
		施設園芸プロジェクト演習・実習Ⅲ			1		2	●	●	●	◎	高垣・塚越	通年	集中				HA554	
		施設園芸プロジェクト演習・実習Ⅳ			1		2	●	●	●	◎	高垣・塚越	通年	集中				HA555	
		菌類生理生態学特論			1・2		2	●			○	大和(世話人:坂本)	T5	集中				HA560	奇数年度開講
		園芸植物遺伝資源保全利用			1・2		2	●			○	未定	T3	集中				HA561	

※「英語対応」は◎（英語開講科目）、○（日本語・英語併用科目）

※【担当教員】は他研究科所属の教員

※非常勤講師・客員教員の世話人は括弧内に記載

List of Courses (Master's program)

Course of study	Category	Course	Teacher's Specialized License		Recommended year of program	Credits		Mode			Language	Instructor	Term	Day	Period	Day 2	Period 2	Course code	Remarks
			Science	Agriculture		Compulsory	Elective	Lecture	Seminar	Practice									
Horticultural Science	Compulsory	Genetic resource utilization	●		1	2	●				○	Igawa・Nakamura・Soma・Yoshida	T1-2	Fri	2			HA556	
		Horticulture Genomics	●		1	2	●				○	Kikuchi・Saito・Kokubun・Nakamura・Sassa・Nomura・Amachi・Usami・Sonoda・Soma・Hanaoka・Shimada・Hirai・Naito (Kikuchi)	T1-2	Fri	1			HA557	
		Advanced Technology on Horticulture		●	1	2	●				○	Goto・Matsuoka・Shiina・Ogawa・Hikosaka	T1-2	Mon	5			HA558	
		Graduate Seminar I			1~2	4		●			○	academic advisor	Full	Inetensive				HA601	register for the last year
Horticultural Science	Compulsory Elective	Practice on Horticultural Consulting		●	2	4	●					Ohkawa・Hisaeda (Ohkawa)	Full	Inetensive				HA532	
		Horticulture Industry		●	1	2	●					Sakurai・Watanabe・Tsukagoshi・Jokan・Ohkawa	T2	Mon	2	Thu	2	HA533	
		Advanced Lecture on Agricultural Meteorology and Environmental Studies		●	1	2	●				○	Matsuoka・Goto・Hikosaka	T4-5	Thu	4			HA534	
		Holistic Interactions in Biosphere	●		1・2	2	●				○	Sakamoto・Amachi・Usami・Choh・Nomura・Yashima・Hama	T5	Mon	3	Thu	3	HA535	
		Crop Risk Management	●		1・2	2	●				○	Ishikawa(Sakamoto)	T3	Inetensive				HA559	Biennial course in odd-numbered years
		Horticultural Plant Genome Breeding I	●		1	2	●				○	Sassa・Kikuchi	T1-2	Tue	2			HA536	
		Food Science	●		1	2	●				○	Ogawa・Hirai・Shiina・Egashira	T2	Mon	2	Thu	2	HA537	
		Advanced Lectures on Applied Biological Chemistry A	●		1	2	●					Nishida・Amachi・Egashira・Hirai・Sonoda・Soma	T2	Mon	4	Fri	4	HA538	
		Advanced Lectures on Applied Biological Chemistry B	●		1	2	●					Hanaoka・Watanabe・Kagawa・Shimada	T3	Inetensive				HA539	Nishi-Chiba
		Advanced Lectures on Applied Biological Chemistry C	●		1	2	●					Kodama・Miyamoto(Kodama)・Dohi・Miyahara	T4	Inetensive				HA540	
		Uncultured Microbiology	●		1・2	1	●					Kamagata (Amachi)	T4	Inetensive				HA541	Biennial course in odd-numbered years
		Science for Phytochemical Technology	●		1・2	1	●					Kobori(Egashira)・Egashira	T4	Inetensive				HA542	Biennial course in even-numbered years
		Environmental Plant Physiology and Engineering	●		1・2	2	●					Kodama・Miyahara・Kinoshita(Kodama)・Kasahara(Kodama)	T4-T5	Inetensive				HA543	Biennial course in odd-numbered years
		Advanced Lecture on Biomolecule Observation	●		1	2	●					[Ura]・[Ito]・[Terasaki]	T1-2	Inetensive				HA544	
		Advanced Lecture on Molecular Biology	●		1	2	●					[Endo]・[Ogasawara]	Full	Inetensive				HA545	
		Advanced Lecture on Cell biology	●		1	2	●					[Matsuura]・[Ishikawa]・[Itakura]	T4-5	Inetensive				HA546	
		Issues on Agricultural and Development Policy		●	1	2	●				○	Kobayashi・Fujie・Sugino (Kobayashi)	T1	Inetensive				HA547	
		Statistics for Economics		●	1	2	●				○	Kurihara・Maruyama	T3	Inetensive				HA548	
		Horticultural Crop Management			1	2	●				◎	Ogawa	T4-5	Tue	3			HA549	
		Advanced Lectures on Applied Biological Science			1	2	●				◎	Nishida・Watanabe・Kodama・Egashira・Amachi・Miyamoto(Kodama)・Dohi・Hanaoka・Hirai・Sonoda・Soma・Miyahara・Kagawa・Shimada	T5	Inetensive				HA550	
		Genetic Science Communication			1	2	●				◎	Yano・Sato(Yano)	T4-5	Inetensive				HA551	
		Protected Horticulture Seminar and Practice I			1	2	●	●	●		◎	Takagaki・Tsukagoshi	T4-5	Inetensive				HA552	
		Protected Horticulture Seminar and Practice II			1	2	●	●	●		◎	Takagaki・Tsukagoshi	T4-5	Inetensive				HA553	
		Protected Horticulture Seminar and Practice III			1	2	●	●	●		◎	Takagaki・Tsukagoshi	Full	Inetensive				HA554	
		Protected Horticulture Seminar and Practice IV			1	2	●	●	●		◎	Takagaki・Tsukagoshi	Full	Inetensive				HA555	
		Physiological Ecology of Fungi			1・2	2	●				○	Yamato (Sakamoto)	T5	Intensive				HA560	Biennial course in odd-numbered years
		Usage and conservation of plant resources for horticultural plants			1・2	2	●				○	TBD	T3	Intensive				HA561	

※Language used in the class ◎English ○English by request

コース	科目区分	授業科目の名称	専修免許		履修推奨年次	単位数		授業形態				担当教員	期別	曜日	時限	曜日 その2	時限 その2	ナンバリング	参考
			理 科	農 業		必 修	選 択	講 義	演 習	実 習	英語 対 応								
園芸科学	選択	環境園芸技術マネジメント		●	1	2	●					櫻井・石田・藤井（世話人：石田）	通年	集中				HA501	
		環境園芸アントレプレナーシップ			1	2	●					賀来 他（世話人：野村）	T4-5	水	3			HA502	
		園芸産学官セミナー			2	2	●					宮内（明）（世話人：天知） ・高木（世話人：天知）	通年	集中				HA503	
		土壌微生物学特論			1・2	2	●					坂本	T1	火	2	金	2	HA504	
		植物分子生物学特論			1	2	●					中村	T4	月	1	木	1	HA505	
		農産食品工学特論			1	2	●					椎名・小川	T2	火	1	金	1	HA506	
		花卉開花制御論特論			1	2	●					三吉	T1	火	2	金	2	HA507	
		植物環境制御論特論			1	2	●				○ 後藤・彦坂	T2	火	2	金	2	2	HA508	
		植物病学特論			1	2	●					穴戸	T1	月	2	木	2	HA509	
		応用昆虫学特論			1	2	●					野村	T5	火	2	金	2	HA510	
		微気象学特論			1	2	●					松岡	T4	月	2	木	2	HA511	
		植物病理化学特論			1	2	●					宇佐見	T4	月	1	木	1	HA512	
		落葉果樹栽培論特論			1	2	●					小原 他	T2	火	1	金	1	HA513	
		食用作物学特論			1	2	●					未定	T2	火	2	金	2	HA514	
		肥料学特論			1	1	●					八島	T4-6	集中				HA515	
		果菜栽培論特論			1	2	●					淨閑	T2	月	1	木	1	HA516	
		生物理工学特論			1	2	●					小川	T5	火	1	金	1	HA517	
		花卉品種生態学特論			1	2	●				○ 國分	T5	月	1	木	1	HA518		
		常緑果樹栽培論特論			1	2	●					小原	T4	月	2	木	2	HA519	
		葉根菜栽培論特論			1	2	●					淨閑	T5	火	1	金	1	HA520	
		養液栽培論特論			1	2	●					塚越	T5	火	2	金	2	HA521	
		栄養化学特論			1	2	●					江頭・平井	T1	月	2	木	2	HA522	
		生物資源利用学特論			1	2	●					園田	T1	火	2	金	2	HA523	
		バイオテクノロジー論特論			1	2	●					児玉・島田	T1	火	1	金	1	HA524	
		生物有機化学特論			1	2	●				○ 西田	T2	月	1	木	1	HA525		
		環境微生物学特論			1	2	●					天知	T2	月	2	木	2	HA526	
		資源計量経済学特論			1	2	●					栗原	T2	金	4	金	5	HA527	
		食品産業組織論特論			1	2	●					石田	T5	火	3	金	3	HA528	
		農村開発経済学特論			1	2	●					柴田（世話人：栗原）・クマル（世話人：栗原）	T3	集中				HA529	
		食品マーケティング論特論			1	2	●					櫻井	T5	火	4	金	4	HA530	
		国際農業開発論特論			1	2	●					JICA（世話人：小林（弘））	T2	水	4	水	5	HA531	

※「英語対応」は◎（英語開講科目）、○（日本語・英語併用科目）

※【担当教員】は他研究科所属の教員

※非常勤講師・客員教員の世話人は括弧内に記載

Course of study	Category	Course	Teacher's Specialized License		Recommended year of program	Credits		Mode		Language	Instructor	Term	Day	Period	Day 2	Period 2	Course code	Remarks
			Science	Agriculture		Compulsory	Elective	Lecture	Seminar	Practice								
Horticultural Science	Elective	Technology Management of Environmental Horticulture		●	1	2	●				Sakurai・Ishida・Fuji (Ishida)	Full	Inetensive				HA501	
		Entrepreneurship for Horticulture			1	2	●				Kaku etc (Nomura)	T4-5	Wed	3			HA502	
		Seminar for Multidisciplinary Industrial Sciences			2	2	●				Miyauchi (Amachi)・Takagi (Amachi)	Full	Inetensive				HA503	
		Advanced Soil Microbiology			1・2	2	●				Sakamoto	T1	Tue	2	Fri	2	HA504	
		Advanced Lecture on Plant Molecular Biology			1	2	●				Nakamura	T4	Mon	1	Thu	1	HA505	
		Advanced Agri-Food Engineering			1	2	●				Shina・Ogawa	T2	Tue	1	Fri	1	HA506	
		Advanced Lecture on Flowering Control			1	2	●				Miyoshi	T1	Tue	2	Fri	2	HA507	
		Advanced Lecture on Environmental Control for Plant			1	2	●			○	Goto・Hikosaka	T2	Tue	2	Fri	2	HA508	
		Advanced Plant Pathology			1	2	●				Shishido	T1	Mon	2	Thu	2	HA509	
		Advanced Lecture on Applied Entomology			1	2	●				Nomura	T5	Tue	2	Fri	2	HA510	
		Advanced Micrometeorology			1	2	●				Matsuoka	T4	Mon	2	Thu	2	HA511	
		Advanced Biochemical Plant Pathology			1	2	●				Usami	T4	Mon	1	Thu	1	HA512	
		Advanced Lecture on Deciduous Fruit Tree Cultivation			1	2	●				Ohara	T2	Tue	1	Fri	1	HA513	
		Advanced Lecture on Crop Sciences			1	2	●				TBD	T2	Tue	2	Fri	2	HA514	
		Advanced Lecture on Fertilizer Science			1	1	●				Yashima	T4-6	Insetive				HA515	
		Advanced Lecture on Fruit Vegetable Cultivation			1	2	●				Jokan	T2	Mon	1	Thu	1	HA516	
		Fundamentals of Engineering			1	2	●				Ogawa	T5	Tue	1	Fri	1	HA517	
		Advanced Lecture on Cultivar Groups of Ornamental Crops			1	2	●			○	Kokubun	T5	Mon	1	Thu	1	HA518	
		Advanced Lecture on Evergreen Fruit Tree Cultivation			1	2	●				Ohara	T4	Mon	2	Thu	2	HA519	
		Advanced Lecture on Leaf and Roor Vegetable Cultivation			1	2	●				Jyokan	T5	Tue	1	Fri	1	HA520	
		Advanced Lecture on Soilless Culture			1	2	●				Tsukagoshi	T5	Tue	2	Fri	2	HA521	
		Advanced Nutritional Chemistry			1	2	●				Egashira・Hirai	T1	Mon	2	Thu	2	HA522	
		Advanced Biotechnology of Agroresources			1	2	●				Sonoda	T1	Tue	2	Fri	2	HA523	
		Advanced Biotechnology			1	2	●				Kodama・Shimada	T1	Tue	1	Fri	1	HA524	
		Advanced Bioorganic Chemistry			1	2	●			○	Nishida	T2	Mon	1	Thu	1	HA525	
		Advanced Environmental Microbiology			1	2	●				Amachi	T2	Mon	2	Thu	2	HA526	
		Advanced Econometrics			1	2	●				Kurihara	T2	Fri	4	Fri	5	HA527	
		Advanced Food Industrial Organization			1	2	●				Ishida	T5	Tue	3	Fri	3	HA528	
		Advanced Rural Development Economics			1	2	●				Shibata (Kurihara)・Kumar (Kurihara)	T3	Inetensive				HA529	
		Advanced Food Marketing			1	2	●				Sakurai	T5	Tue	4	Fri	4	HA530	
		Advanced Dvelopment Economics in Agriculture			1	2	●				JICA (Kobayashi)	T2	Wed	4	Wed	5	HA531	

※Language used in the class ◎English ○English by request

コース	科目区分	授業科目の名称	専修免許		履修推奨年次	単位数		授業形態				担当教員	期別	曜日	時限	曜日 その2	時限 その2	ナンバリング	参考
			理	農		必修	選択	講義	演習	実習	英語対応								
ランドスケープ学	必修	ランドスケープ構造・機能論	●		1	2		●			◎	唐・高橋・本條・梅木・小林（達）・百原・加藤・渡辺（洋）・岩崎・三島・野田・丸山・鳥居（世話人：小林（達））	T1	月	1	木	1	HB530	
		ランドスケープ計画・意匠論		●	1	2		●			◎	古谷・池邊・齋藤（雪）・霜田・武田・章・木下（剛）・柳井・秋田・近江・竹内	T2	水	3	木	3	HB531	
		ランドスケーププロジェクト演習A			1	4			●		◎	木下（剛）・柳井・秋田・竹内・小林（達）・百原・高橋・加藤・岩崎・三島・野田・鈴木（世話人：武田）・石井智（世話人：高橋）・石井麻（世話人：岩崎）	T1-2	月	4	月	5	HB532	
		ランドスケーププロジェクト演習B			1	4			●		◎	霜田・柳井・秋田・竹内・近江・小林（達）・百原・高橋・加藤・梅木・岩崎・三島・吉田（世話人：武田）・矢竹（世話人：百原）・平松（世話人：柳井）・石井智（世話人：高橋）	T4-5	月	4	月	5	HB533	
ランドスケープ学	選択必修	都市緑地デザイン学		●	1	2		●			○	池邊・木下（剛）	T2	火	5	金	5	HB514	
		緑地マネジメント学		●	1	2		●			○	柳井・秋田	T4	火	2	金	2	HB515	
		地域空間計画学		●	1	2		●			○	齋藤（雪）・唐崎（世話人：齋藤（雪））	T4	月	2	金	2	HB516	
		風景環境計画学		●	1	2		●			○	古谷・霜田	T5	木	2	金	2	HB517	
		景観生態学	●		1	2		●			○	小林（達）・梅木	T4	月	1	木	1	HB518	
		庭園空間デザイン学		●	1	2		●			○	武田・章	T5	火	2	金	2	HB519	
		植物地理学	●		1	2		●			○	百原・渡辺（洋）・上原	T5	火	2	金	2	HB520	
		緑地基盤工学	●		1	2		●			○	唐・高橋	T2	月	2	木	2	HB521	
		リモートセンシング空間解析学	●		1	2		●			○	本條・加藤・【楊】	T1	火	1	火	2	HB522	
		環境健康学	●		1	2		●				岩崎・三島・野田	T2	月	2	木	2	HB523	
		環境植栽学特論		●	1	2		●			○	竹内・近江	T2	水	1	水	2	HB524	
		水域環境学	●		1	2		●			○	富樫・菊地	T3	集中				HB525	海洋バイオシステム研究センター
		エコデザイン論Ⅰ		●	1	2		●			○	木下（剛）・【上田】	T1-2	金	2			HB526	西千葉開講
		ケアデザイン論	●		1	2		●				岩崎・【下村】	T4-5	月	3			HB527	
ランドスケープ学	選択	生態工学			1	2		●				田和（世話人：梅木）・佐川（世話人：梅木）	T4	集中				HB528	
		国際共同ランドスケーププロジェクト演習			1・2	2		●			◎	霜田・武田・章	T3, T6	集中				HB529	
		環境園芸技術マネジメント		●	1	2		●				櫻井・石田・藤井（世話人：石田）	通年	集中				HA501	
		環境園芸アントレプレナーシップ			1	2		●				賀来 他（世話人：野村）	T4-5	水	3			HA502	
		ランドスケープ産学官セミナー			1・2	2		●				百原・古谷・岩崎・ゲスト非常勤講師	T4-5	火	5			HB501	※土曜開講等ありの予定
		園芸療法特論			1	2		●				岩崎	T5	火	3	火	4	HB502	
		風景計画学特論			2	2		●				古谷・霜田	T1	月	2	木	2	HB503	
		造園植栽管理学特論			2	2		●				近江・竹内	T1	火	2	金	2	HB504	
		地域再生計画学特論			2	2		●				齋藤（雪）・秋田	T1	月	3	火	3	HB505	
		流域環境工学特論			1	2		●				唐	T2	水	1	水	2	HB506	
		健康機能植物学特論			1	2		●				野田	T1	金	1	金	2	HB507	柏
		再生生態学特論			1	2		●				小林（達）	T2	火	1	金	1	HB508	
		緑地環境機能学特論			1	2		●				柳井	T2	火	2	金	2	HB509	
		森林管理学特論			1	2		●				梅木	T1-2	金	5			HB510	
		都市緑地計画学特論			1	2		●				池邊	T4	火	1	火	2	HB511	
		環境教育学特論			1	2		●				三島	T5	月	1	木	1	HB512	
		ランドスケープ設計特論			1	2		●				武田・章	T4-5	木	3			HB513	
		安全管理・野外救命法特論			1・2	1		●				岩崎・古谷・近江・高橋	T3	集中				HB534	

※「英語対応」は◎（英語開講科目）、○（日本語・英語併用科目）

※【担当教員】は他研究科所属の教員

※非常勤講師・客員教員の世話人は括弧内に記載

Course of study	Category	Course	Teacher's Specialized License		Recommend ed year of program	Credits		Mode			Language	Instructor	Term	Day	Period	Day 2	Period 2	Course code	Remarks
			Science	Agriculture		Compulsory	Elective	Lecture	Seminar	Practice									
Landscape	Compulsory	Theory of Landscape Ecosystems	●		1	2		●			◎	Tang・Takahashi・Honjo・Umeki・Kobayashi・Momohara・Kato・Watanabe・Iwasaki・Mishima・Noda・Maruyama・Torii(Kobayashi)	T1	Mon	1	Thu	1	HB530	
		Theory of Landscape Architecture		●	1	2		●			◎	Furuya・Ikebe・Saito・Shimoda・Takeda・Zhang・Kinoshita・Yanai・Akita・Omi・Takeuchi	T2	Wed	3	Thu	3	HB531	
		Landscape Project Studio - A			1	4			●		◎	Kinoshita・Yanai・Akita・Takeuchi・Kobayashi・Momohara・Takahashi・Kato・Iwasaki・Mishima・Suzuki(Takeda)・Ishii T(Takahashi)・Ishii M(Iwasaki)	T1-2	Mon	4	Mon	5	HB532	
		Landscape Project Studio - B			1	4			●		◎	Shimoda・Yanai・Akita・Takeuchi・Omi・Kobayashi・Momohara・Takahashi・Kato・Umeki・Iwasaki・Mishima・Yoshida(Takeda)・Yatake(Momohara)・Hiramatsu(Yanai)・Ishii T(Takahashi)	T4-5	Mon	4	Mon	5	HB533	
Landscape	Compulsory Elective	Urban Landscape and Green Space Design		●	1	2		●			○	Ikebe・Kinoshita	T2	Tue	5	Fri	5	HB514	
		Theory of Landscape Management		●	1	2		●			○	Yanai・Akita	T4	Tue	2	Fri	2	HB515	
		Theory of Town and Country Space Planning		●	1	2		●			○	Saito・Karasaki	T4	Mon	2	Fri	2	HB516	
		Theory of Natural and Cultural Landscape Planning		●	1	2		●			○	Furuya・Shimoda	T5	Thu	2	Fri	2	HB517	
		Landscape Ecology	●		1	2		●			○	Kobayashi・Umeki	T4	Mon	1	Thu	1	HB518	
		Garden and Landscape Design Theory		●	1	2		●			○	Takeda・Zhang	T5	Tue	2	Fri	2	HB519	
		Plant Biogeography	●		1	2		●			○	Momohara・Watanabe・Uehara	T5	Tue	2	Fri	2	HB520	
		Foundation Engineering of Landscape	●		1	2		●			○	Tang・Takahashi	T2	Mon	2	Thu	2	HB521	
		Remote Sensing for Spatial Analysis	●		1	2		●			○	Honjo・Kato・【Wei】	T1	Tue	1	Tue	2	HB522	
		Environment and Health Science	●		1	2		●				Iwasaki・Mishima・Noda	T2	Mon	2	Thu	2	HB523	
		Environmental landscape planting		●	1	2		●			○	Takeuchi・Omi	T2	Wed	1	Wed	2	HB524	
		Aqua Environmental Ecology	●		1	2		●			○	Togashi・Kikuchi	T3	Inetensive				HB525	Marine Biosystems Research Center
		Ecodesign I		●	1	2		●			○	Kinoshita・【Ueda】	T1-2	Fri	2			HB526	Nishi-Chiba
		Theory of Care Design	●		1	2		●				Iwasaki・【Shimomura】	T4-5	Mon	3			HB527	
		Ecological Engineering			1	2		●				Tawa・Sagawa (Umeki)	T4	Inetensive				HB528	
		International Landscape Project Studio			1・2	2		●			◎	Shimoda・Takeda・Zhang	T3, T6	Inetensive				HB529	
Landscape	Elective	Technology Management of Environmental Horticulture		●	1	2		●				Sakurai・Ishida・Fuji(Ishida)	Full	Inetensive				HA501	
		Entrepreneurship for Horticulture			1	2		●				Kaku etc (Isoda)	T4-5	Wed	3			HA502	
		Special Seminar			1・2	2		●				Momohara・Furuya・Iwasaki・Guest lecturer	T4-5	Tue	5			HB501	※Some classes : irregular
		Advanced Theory of Horticultural Therapy			1	2		●				Iwasaki	T5	Tue	3	Tue	4	HB502	
		Advanced Theory of Landscape Planning			2	2		●				Furuya・Shimoda	T1	Mon	2	Thu	2	HB503	
		Advanced Theory of Maintenance of Landscape Planting			2	2		●				Omi・Takeuchi	T1	Tue	2	Fri	2	HB504	
		Advanced Theory of Town and Country Regeneration Planning			2	2		●				Saito・Akita	T1	Mon	3	Tue	3	HB505	
		Advanced Theory of Ecohydrology for Engineering			1	2		●				Tang	T2	Wed	1	Wed	2	HB506	
		Advanced Lecture for Horticulture and Health			1	2		●				Noda	T1	Fri	1	Fri	2	HB507	Kashiwanoha Campus
		Advanced Theory of Restoration Ecology			1	2		●				Kobayashi	T2	Tue	1	Fri	1	HB508	
		Advanced Theory of Green Space Functions and Management			1	2		●				Yanai	T2	Tue	2	Fri	2	HB509	
		Advanced Lecture on Forest Management			1	2		●				Umeki	T1-2	Fri	5			HB510	
		Advanced Theory of Urban Green Space Planning and Design			1	2		●				Ikebe	T4	Tue	1	Tue	2	HB511	
		Advanced Environmental Education			1	2		●				Mishima	T5	Mon	1	Thu	1	HB512	
		Advanced Theory of Landscape Design			1	2		●				Takeda・Zhang	T4-5	Thu	3			HB513	
		Risk management and field life preservation			1・2	1		●				Iwasaki・Furuya・Omi・Takahashi	T3	Inetensive				HB534	

※Language used in the class ◎English ○English by request

コース	科目区分	授業科目の名称	専修免許		履修推奨年次	単位数		授業形態				担当教員	期別	曜日	時限	曜日 その2	時限 その2	ナンバリング	参考
			理 科	農 業		必 修	選 択	講 義	演 習	実 習	英語 対応								
基盤科目（各コース共通）	必修科目	環境園芸学		●	1	2		●				小林（達）・櫻井・近藤・穴戸・西田・池邊・百原・吉田（行）	T2	火	3	金	3	HX506	
		研究方法と倫理			1	2		●				穴戸・松岡・梅木・三島・鳥羽瀬（世話人：松岡）	T4	火	4	金	4	HX505	
		特別研究I			1～2	6				●	○	各指導教員	通年	集中				HX601	修了年次に履修登録すること
	選択必修科目	アカデミックライティング			1	2		●				三吉・菊池・八島・華岡・秋田・矢野	T3	集中				HX514	
		園芸グローバルセミナー			1・2	2		●			○	華岡・菊池・加藤	通年	集中				HX515	
		インターンシップ			1	2				●		大川・三島	通年	集中				HX501	
		国際インターンシップA			1	2				●	○	高垣・霜田	通年	集中				HX502	
		国際インターンシップB			1	3				●	○	高垣・霜田	通年	集中				HX503	
		国際インターンシップC			1	4				●	○	高垣・霜田	通年	集中				HX504	
		国際環境園芸学			1	2		●			◎	高垣・浄閑・國分・後藤・小林（達）・本條・櫻井・八島・塚越・笠井	T4-5	水	5			HX511	
		プロジェクトマネジメント概論			1	2		●			◎	藤家（世話人：八島）	T5	集中				HX510	
		園芸学専門日本語A （※英語プログラム学生のみ受講可）			1	2		●			◎	八島・高垣	T4-5	集中				HX512	※英語プログラム学生のみ受講可
		園芸学専門日本語B （※英語プログラム学生のみ受講可）			1	2		●			◎	八島・高垣	T1-2	集中				HX513	※英語プログラム学生のみ受講可

※「英語対応」は◎（英語開講科目）、○（日本語・英語併用科目）

※【担当教員】は他研究科所属の教員

※非常勤講師・客員教員の世話人は括弧内に記載

Course of study	Category	Course	Teacher's Specialized License		Recommended year of program	Credits		Mode		Language	Instructor	Term	Day	Period	Day 2	Period 2	Course code	Remarks
			Science	Agriculture		Compulsory	Elective	Lecture	Seminar	Practice								
Basic Course	Compulsory	Environment and Horticulture		●	1	2		●			Kobayashi・Sakurai・Kondo・Shishido・Nishida・Ikebe・Momohara・Yoshida	T2	Tue	3	Fri	3	HX506	
		Scientific Approaches and Ethics for Researchers			1	2		●			Shishido・Matsuoka・Umeki・Mishima・Tobase (Matsuoka)	T4	Tue	4	Fri	4	HX505	
		Graduate Research I			1~2	6			●	○	academic advisor	Full	Intensive				HX601	register for the last year
	Compulsory Elective	Academic Writing			1	2		●			Miyoshi・Kikuchi・Yashima・Hanaoka・Akita・Yano	T3	Intensive				HX514	
		Global Seminar on Horticulture			1・2	2		●		○	Hanaoka・Kikuchi・Kato	Full	Intensive				HX515	
		Internship			1	2			●		Ohkawa・Mishima	Full	Intensive				HX501	
		International Internship A			1	2			●	○	Takagaki・Shimoda	Full	Intensive				HX502	
		International Internship B			1	3			●	○	Takagaki・Shimoda	Full	Intensive				HX503	
		International Internship C			1	4			●	○	Takagaki・Shimoda	Full	Intensive				HX504	
		International Environmental Horticulture			1	2		●		◎	Takagaki・Jokan・Kokubun・Goto・Kobayashi・Honjo・Sakurai・Yashima・Tsukagoshi・Kasai	T4-5	Wed	5			HX511	
		Project Management			1	2		●		◎	Fujie (Yashima)	T5	Intensive				HX510	
		Special Japanese for Horticultural Science A (※for English Program student)			1	2		●		◎	Yashima・Takagaki	T4-5	Intensive				HX512	※for English Program student
		Special Japanese for Horticultural Science B (※for English Program student)			1	2		●		◎	Yashima・Takagaki	T1-2	Intensive				HX513	※for English Program student

※Language used in the class ◎English ○English by request

博士前期課程英語プログラム科目

コース	科目区分	授業科目の名称	履修推奨年次	単位数		授業形態			担当教員	期別	曜日	時限	曜日 その2	時限 その2	ナンバリング	参考
				必 修	選 択	講 義	演 習	実 習								
園芸科学コース	(英語必修) 必修プログラムのみ	Horticultural Crop Management (先端園芸技術論 対応科目)	1	2		●			小川 他	T4-5	火	3			HA549	先端園芸技術論 対応科目
		応用生命科学特論 (園芸ゲノム情報論 対応科目)	1	2		●			西田・渡辺(正)・児玉・江頭・ 天知・宮本(世話人:児玉)・ 土肥・華岡・平井・園田・相 馬・宮原・加川・島田	T5	集中				HA550	園芸ゲノム情報論 対応科目
		遺伝子科学コミュニケーション (遺伝資源利用学 対応科目)	1	2		●			矢野・佐藤(世話人:矢野)	T4-5	集中				HA551	遺伝資源利用学 対応科目
	必修	特別演習I	1~2	4			●		各指導教員	通年	集中				HA601	修了年次に履修 登録すること
	選択必修	施設園芸プロジェクト演習・実習Ⅰ	1		2	●	●	●	高垣・塚越	T4-5	集中				HA552	
		施設園芸プロジェクト演習・実習Ⅱ	1		2	●	●	●	高垣・塚越	T4-5	集中				HA553	
		施設園芸プロジェクト演習・実習Ⅲ	1		2	●	●	●	高垣・塚越	通年	集中				HA554	
		施設園芸プロジェクト演習・実習Ⅳ	1		2	●	●	●	高垣・塚越	通年	集中				HA555	
ランドスケープ学コース	必修	ランドスケープ構造・機能論	1		2	●			唐・高橋・本條・梅木・小林 (達)・百原・加藤・渡辺(洋)・ 岩崎・三島・野田・丸山・鳥居 (世話人:小林(達))	T1	月	1	木	1	HB530	
		ランドスケープ計画・意匠論	1		2	●			古谷・池邊・齋藤(雪)・霜田・ 武田・章・木下・柳井・秋田・ 近江	T2	水	3	木	3	HB531	
		ランドスケーププロジェクト演習A	1		4		●		木下剛・柳井・秋田・竹内・小 林(達)・百原・高橋・加藤・岩 崎・三島・野田・鈴木(世話 人:武田)・石井智(世話人: 高橋)・石井麻(世話人:岩 崎)	T1-2	月	4	月	5	HB532	
		ランドスケーププロジェクト演習B	1		4		●		霜田・柳井・秋田・竹内・近 江・小林(達)・百原・高橋・加 藤・梅木・岩崎・三島・吉田 (世話人:武田)・矢竹(世話 人:百原)・平松(世話人:柳 井)・石井智(世話人:高橋)	T4-5	月	4	月	5	HB533	
	選択必修	国際共同ランドスケーププロジェクト演習	1・2		2		●		霜田・武田・章	T3, T6	集中				HB529	
基盤科目(各コース共通)	必修	国際環境園芸学 (環境園芸学 対応科目)	1	2		●			高垣・浄閑・園分・後藤・小林 (達)・本條・櫻井・八島・塚 越・笠井	T4-5	水	5			HX511	環境園芸学 対応科目
		プロジェクトマネジメント概論 (研究方法と倫理 対応科目)	1	2		●			藤家(世話人:八島)	T5	集中				HX510	研究方法と倫理 対応科目
		特別研究Ⅰ	1~2	6				●	各指導教員	通年	集中				HX601	修了年次に履修 登録すること
	選択必修	園芸学専門日本語A (※英語プログラム学生のみ受講可)	1		2	●			八島・高垣	T4-5	集中				HX512	英語プログラム学 生のみ受講可
		園芸学専門日本語B (※英語プログラム学生のみ受講可)	1		2	●			八島・高垣	T1-2	集中				HX513	英語プログラム学 生のみ受講可

※本プログラムを履修していない学生も、本プログラム開講科目(園芸学専門日本語A,Bを除く)の履修は可能である。

List of Courses [English Program] Master's Program

Course of study	Category	Course	Recommen- ded year of program	Credits		Mode		Instructor	Term	Day	Period	Day 2	Period 2	Course code	Remarks		
				Compulsory	Elective	Lecture	Seminar									Practice	
Horticultural Science	Compulsory (English Program only)	Horticultural Crop Management ([Advanced Technology on Horticulture] Corresponding)	1	2		●		Ogawa	T4-5	Tue	3			HA549	[Advanced Technology on Horticulture] Corresponding		
		Advanced Lectures on Applied Biological Science ([Horticulture Genomics]Corresponding)	1	2		●		Nishida・Watanabe・Kodama・ Egashia・Amachi・ Miyamoto(Kodama)・Dohi・ Hanaoka・Hirai・Sonoda・Soma・ Miyahara・Kagawa・Shimada	T5	Inetensive				HA550	[Horticulture Genomics] Corresponding		
		Genetic Science Communication ([Genetic resource utilization]Corresponding)	1	2		●		Yano・Sato(Yano)	T4-5	Inetensive					HA551	[Genetic resource utilization] Corresponding	
	Compulsory	Graduate Seminar I	1～2	4			●	academic advisor	Full	Inetensive					HA601	register for the last year	
	Compulsory Elective	Protected Horticulture Seminar and Practice I	1		2	●	●	●	Takagaki・Tsukagoshi	T4-5	Inetensive					HA552	
		Protected Horticulture Seminar and Practice II	1		2	●	●	●	Takagaki・Tsukagoshi	T4-5	Inetensive					HA553	
		Protected Horticulture Seminar and Practice III	1		2	●	●	●	Takagaki・Tsukagoshi	Full	Inetensive					HA554	
		Protected Horticulture Seminar and Practice IV	1		2	●	●	●	Takagaki・Tsukagoshi	Full	Inetensive					HA555	
Landscape	Compulsory	Theory of Landscape Ecosystems	1		2	●		Tang・Takahashi・Honjo・Umeki・ Kobayashi・Momohara・Kato・ Watanabe・Iwasaki・Mishima・Noda・ Maruyama・Torii(Kobayashi)	T1	Mon	1	Thu	1	HB530			
		Theory of Landscape Architecture	1		2	●		Furuya・Ikebe・Saito・Shimoda・ Takeda・Zhang・Kinoshita・ Yanai・Akita・Omi	T2	Wed	3	Thu	3	HB531			
		Landscape Project Studio - A	1		4		●	Kinoshita・Yanai・Akita・Takeuchi・ Kobayashi・Momohara・Takahashi・ Kato・Iwasaki・Mishima・Suzuki (Takeda)・Ishii T(Takahashi)・Ishii M(Iwasaki)	T1-2	Mon	4	Mon	5	HB532			
		Landscape Project Studio - B	1		4		●	Shimoda・Yanai・Akita・Takeuchi・ Omi・Kobayashi・Momohara・ Takahashi・Kato・Umeki・Iwasaki・ Mishima・Yoshida(Takeda)・ Yatake(Momohara)・Hiramatsu (Yanai)・Ishii T(Takahashi)	T4-5	Mon	4	Mon	5	HB533			
	Compulsory Elective	International Landscape Project Studio	1・2		2		●	Shimoda・Takeda・Zhang	T3, T6	Inetensive					HB529		
Basic Course	Compulsory	International Environmental Horticulture ([Environment and Horticulture] Corresponding)	1	2		●		Takagaki・Jokan・Kokubun・Goto・ Kobayashi・Honjo・Sakurai・Yashima・ Tsukagoshi・Kasai	T4-5	Wed	5				HX511	[Environmental Horticulture] Corresponding	
		Project Management ([Scientific Approaches and Ethics for Researchers] Corresponding)	1	2		●		Fujiie (Yashima)	T5	Inetensive						HX510	[Scientific Approaches and Ethics for Researchers] Corresponding
		Graduate Research I	1～2	6				●	academic advisor	Full	Inetensive					HX601	register for the last year
	Compulsory Elective	Special Japanese for Horticultural Science A (※ for English Program student)	1		2	●		Yashima・Takagaki	T4-5	Inetensive						HX512	※for English Program student
		Special Japanese for Horticultural Science B (※ for English Program student)	1		2	●		Yashima・Takagaki	T1-2	Inetensive						HX513	※for English Program student

※Even though you aren't English program student, you may register this program course(except for Special Japanese for Horticultural Science A and B).

(日本語・英語併用科目)

コース	科目区分	授業科目の名称	履修推奨年次	単位数		授業形態			担当教員	期別	曜日	時限	曜日 その2	時限 その2	ナンバリング	参考
				必修	選択	講義	演習	実習								
園芸科学コース	選択必修	農業気象・環境学特論	1		2	●			松岡・後藤・彦坂(晶)	T4-5	木	4			HA534	
		生物圏相互作用論	1・2		2	●			坂本・天知・宇佐見・長・野村・八島・濱	T5	月	3	木	3	HA535	
		作物リスク管理学	1・2		2	●			石川(世話人:坂本)	T3	集中				HA559	奇数年度開講
		園芸ゲノム育種学	1		2	●			佐々・菊池	T1-2	火	2			HA536	
		フードサイエンス	1		2	●			小川・平井・椎名・江頭	T2	月	2	木	2	HA537	
		農業・開発政策論	1		2	●			小林(弘)・藤家(世話人:小林)・杉野(世話人:小林)	T1	集中				HA547	
		経済統計学	1		2	●			栗原・丸山	T3	集中				HA548	
		菌類生理生態学特論	1・2		2	●			大和(世話人:坂本)	T5	集中				HA560	奇数年度開講
		園芸植物遺伝資源保全利用	1・2		2	●			未定	T3	集中				HA561	
	選択	植物環境制御学特論	1		2	●			後藤・彦坂(晶)	T2	火	2	金	2	HA508	
		花卉品種生態学特論	1		2	●			國分	T5	月	1	木	1	HA518	
		生物有機化学特論	1		2	●			西田	T2	月	1	木	1	HA525	
ランドスケープ学コース	選択必修	都市緑地デザイン学	1		2	●			池邊・木下剛	T2	火	5	金	5	HB514	
		緑地マネジメント学	1		2	●			柳井・秋田	T4	火	2	金	2	HB515	
		地域空間計画学	1		2	●			斎藤(雪)・唐崎(世話人:斎藤)	T4	月	2	金	2	HB516	
		風景環境計画学	1		2	●			古谷・霜田	T5	木	2	金	2	HB517	
		景観生態学	1		2	●			小林(達)・梅木	T4	月	1	木	1	HB518	
		庭園空間デザイン学	1		2	●			武田・章	T5	火	2	金	2	HB519	
		植物地理学	1		2	●			百原・渡辺(洋)・上原	T5	火	2	金	2	HB520	
		緑地基盤工学	1		2	●			唐・高橋	T2	月	2	木	2	HB521	
		リモートセンシング空間解析学	1		2	●			本條・加藤・【本郷】	T1	火	1	火	2	HB522	
		環境植栽学特論	1		2	●			竹内・近江	T2	水	1	水	2	HB524	
		水域環境学	1		2	●			富樫・菊地	T3	集中				HB525	海洋バイオシステム研究センター
		エコデザイン論Ⅰ	1		2	●			木下剛・【上田】	T1-2	金	2			HB526	西千葉開講
基盤科目 (各コース共通)	選択必修	園芸グローバルセミナー	1・2		2	●			華岡・菊池・加藤	通年	集中				HX515	
		国際インターンシップA	1		2		●		高垣・霜田	通年	集中				HX502	
		国際インターンシップB	1		3		●		高垣・霜田	通年	集中				HX503	
		国際インターンシップC	1		4		●		高垣・霜田	通年	集中				HX504	

(Japanese and English course)

Course of study	Course	Recommended year of program	Credits		Mode		Instructor	Term	Day	Period	Day	Period	Course code	Remarks
			Compulsory	Elective	Lecture	Seminar								
Horticultural Science	Compulsory Elective	Advanced Lecture on Agricultural Meteorology and Environmental Studies	1	2	●		Matsuoka・Goto・Hikosaka	T4-5	Thu	4			HA534	
		Holistic Interactions in Biosphere	1・2	2	●		Sakamoto・Amachi・Usami・Choh・Nomura・Yashima・Hama	T5	Mon	3	Thu	3	HA535	
		Crop Risk Management	1・2	2	●		Ishikawa (Sakamoto)	T3	Inetensive				HA559	Biennial course in odd-numbered years
		Horticultural Plant Genome Breeding	1	2	●		Sassa・Kikuchi	T1-2	Tue	2			HA536	
		Food Science	1	2	●		Ogawa・Hirai・Shiina・Egashira	T2	Mon	2	Thu	2	HA537	
		Issues on Agricultural and Development Policy	1	2	●		Kobayashi・Fujiie・Sugino (Kobayashi)	T1	Inetensive				HA547	
		Statistics for Economics	1	2	●		Kurihara・Maruyama	T3	Inetensive				HA548	
		Physiological Ecology of Fungi	1・2	2	●		Yamato (Sakamoto)	T5	Inetensive				HA560	Biennial course in odd-numbered years
		Usage and conservation of plant resources for horticultural plants	1・2	2	●		TBD	T3	Inetensive				HA561	
	Elective	Advanced Lecture on Environmental Control for Plant	1	2	●		Goto・Hikosaka	T2	Tue	2	Fri	2	HA508	
		Advanced Lecture on Cultivar Groups of Ornamental Crops	1	2	●		Kokubun	T5	Mon	1	Thu	1	HA518	
		Advanced Bioorganic Chemistry	1	2	●		Nishida	T2	Mon	1	Thu	1	HA525	
Landscape	Compulsory Elective	Urban Landscape and Green Space Design	1	2	●		Ikebe・Kinoshita	T2	Tue	5	Fri	5	HB514	
		Theory of Landscape Management	1	2	●		Yanai・Akita	T4	Tue	2	Fri	2	HB515	
		Theory of Town and Country Space Planning	1	2	●		Saito・Karasaki(Saito)	T4	Mon	2	Fri	2	HB516	
		Theory of Natural and Cultural Landscape Planning	1	2	●		Furuya・Shimoda	T5	Thu	2	Fri	2	HB517	
		Landscape Ecology	1	2	●		Kobayashi・Umeki	T4	Mon	1	Thu	1	HB518	
		Garden and Landscape Design Theory	1	2	●		Takeda・Zhang	T5	Tue	2	Fri	2	HB519	
		Plant Biogeography	1	2	●		Momohara・Watanabe・Uehara	T5	Tue	2	Fri	2	HB520	
		Foundation Engineering of Landscape	1	2	●		Tang・Takahashi	T2	Mon	2	Thu	2	HB521	
		Remote Sensing for Spatial Analysis	1	2	●		Honjo・Kato・【Hongo】	T1	Tue	1	Tue	2	HB522	
		Environmental landscape planting	1	2	●		Takeuchi・Omi	T2	Wed	1	Wed	2	HB524	
		Aqua Environmental Ecology	1	2	●		Togashi・Kikuchi	T3	Inetensive				HB525	Marine Biosystems Research Center
		Ecodesign I	1	2	●		Kinoshita・【Ueda】	T1-2	Fri	2			HB526	Nishi-Chiba
Basic Course	Compulsory Elective	Global Seminar on Horticulture	1・2	2	●		Hanaoka・Kikuchi・Kato	Full	Inetensive				HX515	
		International Internship A	1	2		●	Takagaki・Shimoda	Full	Inetensive				HX502	
		International Internship B	1	3		●	Takagaki・Shimoda	Full	Inetensive				HX503	
		International Internship C	1	4		●	Takagaki・Shimoda	Full	Inetensive				HX504	

博士後期課程の授業科目

コース	授業科目の名称	履修推奨 年次	単位数		授業形態等					担当教員	期別	曜日	時限	曜日 その2	時限 その2	ナンバリング	参考
			必修	選択	講義	演習	実習	経営・経済系	英語対応								
園芸科学	園芸産学官セミナー	2	2	●			●			宮内(世話人:天知)・高木(世話人:天知)	通年	集中				HA701	
	環境分析化学	1・2・3	2	●						渡邊(未)(世話人:八島)	通年	集中				HA702	偶数年度開講
	菌類生理生態学特論	1・2・3	2	●					○	大和(世話人:坂本)	T5	集中				HA722	奇数年度開講
	国際園芸学演習・実習Ⅰ	1	2		●	●			◎	高垣・塚越	通年	集中				HA801	
	国際園芸学演習・実習Ⅱ	1	2		●	●			◎	高垣・塚越	通年	集中				HA802	
	国際園芸学演習・実習Ⅲ	1	2		●	●			◎	高垣・塚越	通年	集中				HA803	
	園芸コンサルティング演習	2	4		●					大川・久枝(世話人:大川)	通年	集中				HA804	
	園芸産業論	1	2	●						櫻井・渡辺(均)・塚越・淨閑・大川・黒沼	T2	月	2	木	2	HA703	
	農業気象・環境学特論	1	2	●					○	松岡・後藤・彦坂(晶)	T4-5	木	4			HA704	
	生物圏相互作用論	1・2・3	2	●					○	坂本・天知・宇佐見・長・野村・八島・濱	T5	月	3	木	3	HA705	
	作物リスク管理学	1・2・3	2	●					○	石川(世話人:坂本)	T3	集中				HA723	奇数年度開講
	園芸ゲノム育種学Ⅱ	1	2	●					○	佐々・菊池	T1-2	火	2			HA706	
	フードサイエンス	1	2	●					○	小川・平井・椎名・江頭	T2	月	2	木	2	HA707	
	応用生命化学特論A	1	2	●						西田・天知・江頭・平井・園田・相馬	T2	月	4	金	4	HA708	
	応用生命化学特論B	1	2	●						華岡・渡辺(正)・加川・島田	T3	集中				HA709	西千葉開講
	応用生命化学特論C	1	2	●						児玉・宮本(世話人:児玉)・土肥・宮原	T4	集中				HA710	
	難培養微生物論	1・2	1	●						鎌形(世話人:天知)	T4	集中				HA711	奇数年度開講
	ファイトケミカル・サイエンステクノロジー論	1・2	1	●						小堀(世話人:江頭)・江頭	T4	集中				HA712	偶数年度開講
	植物環境応答制御学	1・2	2	●						児玉・宮原・木下(俊)(世話人:児玉)・笠原(世話人:児玉)	T4-5	集中				HA713	奇数年度開講
	生体分子計測学特論	1	2	●						【浦】・【伊藤】・【寺崎】	T1-2	集中				HA714	
	分子生物学特論	1	2	●						【遠藤】・【小笠原】	通年	集中				HA715	
	細胞微細構造論	1	2	●						【松浦】・【石川】・【板倉】	T4-5	集中				HA716	
	農業・開発政策論	1	2	●			●	○		小林(弘)・藤家(世話人:小林)・杉野(世話人:小林)	T1	集中				HA717	
	経済統計学	1	2	●			●	○		栗原・丸山	T3	集中				HA718	
	Horticultural Crop Management	1	2	●				◎		小川 他	T4-5	火	3			HA719	
	応用生命科学特論	1	2	●				◎		西田・渡辺(正)・児玉・江頭・天知・宮本(世話人:児玉)・土肥・華岡・平井・園田・相馬・宮原・加川・島田	T5	集中				HA720	
	遺伝子科学コミュニケーション	1	2	●				◎		矢野・佐藤(世話人:矢野)	T4-5	集中				HA721	
	園芸植物遺伝資源保全利用	1・2	2	●				○		未定	T3	集中				HA724	
ランドスケープ学	ランドスケープ産学官セミナー	1・2・3	2	●						百原・古谷・岩崎・ゲスト非常勤講師	T4-5	火	5			HB701	※土曜開講等ありの予定
	エコデザイン論Ⅱ	1	2	●				○		木下(剛)・【上田】	T1-2	金	2			HB702	西千葉開講
	都市緑地デザイン学	1	2	●				○		池邊・木下(剛)	T2	火	5	金	5	HB703	
	緑地マネジメント学	1	2	●				○		柳井・秋田	T4	火	2	金	2	HB704	
	地域空間計画学	1	2	●				○		斎藤(雪)・唐崎(世話人:斎藤)	T4	月	2	金	2	HB705	
	風景環境計画学	1	2	●				○		古谷・霜田	T5	木	2	金	2	HB706	
	景観生態学	1	2	●				○		小林(達)・梅木	T4	月	1	木	1	HB707	
	庭園空間デザイン学	1	2	●				○		武田・章	T5	火	2	金	2	HB708	
	植物地理学	1	2	●				○		百原・渡辺(洋)・上原	T5	火	2	金	2	HB709	
	緑地基盤工学	1	2	●				○		唐・高橋	T2	月	2	木	2	HB710	
	リモートセンシング空間解析学	1	2	●				○		本條・加藤・【楊】	T1	火	1	火	2	HB711	
	環境健康学	1	2	●						岩崎・三島・野田	T2	月	2	木	2	HB712	
	環境植栽学特論	1	2	●				○		竹内・近江	T2	水	1	水	2	HB713	
	ケアデザイン論	1	2	●						岩崎・【下村】	T4-5	月	3			HB714	

※「英語対応」は◎(英語開講科目)、○(日本語・英語併用科目)

※【担当教員】は他研究科所属の教員

※非常勤講師・客員教員の世話人は括弧内に記載

※博士後期課程の授業科目のうち、博士前期課程において履修しているものは、修了要件科目として認められないため留意すること。

List of Courses (Doctoral program)

Course of study	Course	Recommended year of program	Credits	Mode				Language	Instructor	Term	Day	Period	Day 2	Period 2	Course code	Remarks
				Compulsory	Elective	Lecture	Seminar	Practice								
Horticultural Science	Seminar for Multidisciplinary Industrial Sciences	2	2	●	●	●	●	●	Miyauchi (Amachi)・Takagi (Amachi)	Full	Intensive				HA701	
	Environmental Analytical Chemistry	1・2・3	2	●	●	●	●	●	Mirai Watanabe (Yashima)	Full	Intensive				HA702	Biennial course in even-numbered years
	Physiological Ecology of Fungi	1・2・3	2	●	●	●	●	○	Yamato (Sakamoto)	T5	Intensive				HA722	Biennial course in odd-numbered years
	International Horticulture Seminar and Practice I	1	2	●	●	●	●	◎	Takagaki・Tsukagoshi	Full	Intensive				HA801	
	International Horticulture Seminar and Practice II	1	2	●	●	●	●	◎	Takagaki・Tsukagoshi	Full	Intensive				HA802	
	International Horticulture Seminar and Practice III	1	2	●	●	●	●	◎	Takagaki・Tsukagoshi	Full	Intensive				HA803	
	Practice on Horticultural Consulting	2	4	●	●	●	●	●	Ohkawa・Hisaeda (Ohkawa)	Full	Intensive				HA804	
	Horticulture Industry	1	2	●	●	●	●	●	Sakurai・Watanabe・Tsukagoshi・Jokan・Ohkawa・Kuronuma	T2	Mon	2	Thu	2	HA703	
	Advanced lecture on Agricultural Meteorology and Environmental Studies	1	2	●	●	●	●	○	Matsuoka・Goto・Hikosaka	T4-5	Thu	4			HA704	
	Holistic Interactions in Biosphere	1・2・3	2	●	●	●	●	○	Sakamoto・Amachi・Usami・Choh・Nomura・Yashima・Hama	T5	Mon	3	Thu	3	HA705	
	Crop Risk Management	1・2・3	2	●	●	●	●	○	Ishikawa (Sakamoto)	T3	Intensive				HA723	Biennial course in odd-numbered years
	Horticultural Plant Genome Breeding II	1	2	●	●	●	●	○	Sassa・Kikuchi	T1-2	Tue	2			HA706	
	Food Science	1	2	●	●	●	●	○	Ogawa・Hirai・Shiina・Egashira	T2	Mon	2	Thu	2	HA707	
	Advanced Lectures on Applied Biological Chemistry A	1	2	●	●	●	●	●	Nishida・Amachi・Egashira・Hirai・Sonoda・Soma	T2	Mon	4	Fri	4	HA708	
	Advanced Lectures on Applied Biological Chemistry B	1	2	●	●	●	●	●	Hanaoka・Watanabe・Kagawa・Shimada	T3	Intensive				HA709	Nishi-Chiba
	Advanced Lectures on Applied Biological Chemistry C	1	2	●	●	●	●	●	Kodama・Miyamoto(Kodama)・Dohi・Miyahara	T4	Intensive				HA710	
	Uncultured Microbiology	1・2	1	●	●	●	●	●	Kamagata (Amachi)	T4	Intensive				HA711	Biennial course in odd-numbered years
	Science for Phytochemical Technology	1・2	1	●	●	●	●	●	Kobori(Egashira)・Egashira	T4	Intensive				HA712	Biennial course in even-numbered years
	Environmental Plant Physiology and Engineering	1・2	2	●	●	●	●	●	Kodama・Miyahara・Kinoshita(Kodama)・Kasahara(Kodama)	T4-5	Intensive				HA713	Biennial course in odd-numbered years
	Advanced Lecture on Biomolecule Observation	1	2	●	●	●	●	●	【Ura】・【Ito】・【Terasaki】	T1-2	Intensive				HA714	
	Advanced Lecture on Molecular Biology	1	2	●	●	●	●	●	【Endo】・【Ogasawara】	Full	Intensive				HA715	
	Advanced Lecture on Cell biology	1	2	●	●	●	●	●	【Matsuura】・【Ishikawa】・【Itakura】	T4-5	Intensive				HA716	
	Issues on Agricultural and Development Policy	1	2	●	●	●	●	○	Kobayashi・Fujiie・Sugino (Kobayashi)	T1	Intensive				HA717	
	Statistics for Economics	1	2	●	●	●	●	○	Kurihara・Maruyama	T3	Intensive				HA718	
	Horticultural Crop Management	1	2	●	●	●	●	◎	Ogawa	T4-5	Tue	3			HA719	
Landscape	Advanced Lectures on Applied Biological Science	1	2	●	●	●	●	◎	Nishida・Watanabe・Kodama・Egashira・Amachi・Miyamoto(Kodama)・Dohi・Hanaoka・Hirai・Sonoda・Soma・Miyahara・Kagawa・Shimada	T5	Intensive				HA720	
	Genetic Science Communication	1	2	●	●	●	●	◎	Yano・Sato(Yano)	T4-5	Intensive				HA721	
	Usage and conservation of plant resources for horticultural plants	1・2	2	●	●	●	●	○	TBD	T3	Intensive				HA724	
	Special Seminar	1・2・3	2	●	●	●	●	●	Momohara・Furuya・Iwasaki・Guest lecturer	T4-5	Tue	5			HB701	※Some classes : irregular
	Ecodesign II	1	2	●	●	●	●	○	Kinoshita・【Ueda】	T1-2	Fri	2			HB702	Nishi-Chiba
	Urban Landscape and Green Space Design	1	2	●	●	●	●	○	Ikebe・Kinoshita	T2	Tue	5	Fri	5	HB703	
	Theory of Landscape Management	1	2	●	●	●	●	○	Yanai・Akita	T4	Tue	2	Fri	2	HB704	
	Theory of Town and Country Space Planning	1	2	●	●	●	●	○	Saito・Karasaki(Saito)	T4	Mon	2	Fri	2	HB705	
	Theory of Natural and Cultural Landscape Planning	1	2	●	●	●	●	○	Furuya・Shimoda	T5	Thu	2	Fri	2	HB706	
	Landscape Ecology	1	2	●	●	●	●	○	Kobayashi・Umeki	T4	Mon	1	Thu	1	HB707	
	Garden and Landscape Design Theory	1	2	●	●	●	●	○	Takeda・Zhang	T5	Tue	2	Fri	2	HB708	
	Plant Biogeography	1	2	●	●	●	●	○	Momohara・Watanabe・Uchara	T5	Tue	2	Fri	2	HB709	
	Foundation Engineering of Landscape	1	2	●	●	●	●	○	Tang・Takahashi	T2	Mon	2	Thu	2	HB710	
	Remote Sensing for Spatial Analysis	1	2	●	●	●	●	○	Honjo・Kato・【Wei】	T1	Tue	1	Tue	2	HB711	
	Environment and Health Science	1	2	●	●	●	●	●	Iwasaki・Mishima・Noda	T2	Mon	2	Thu	2	HB712	
	Environmental Landscape Planting	1	2	●	●	●	●	○	Takeuchi・Omri	T2	Wed	1	Wed	2	HB713	
	Theory of Care Design	1	2	●	●	●	●	●	Iwasaki・【Shimomura】	T4-5	Mon	3			HB714	

※Language used in the class◎English○English by request.

※If you take the same class you took in Master's Program while you are in Doctoral Program, those class credits will not count as credits required for completion.

コース	授業科目の名称	履修推奨 年次	単位数		授業形態等					担当教員	期別	曜日	時限	曜日 その2	時限 その2	ナンバリング	参考
			必修	選択	講義	演習	実習	経営・経済系	英語対応								
基 礎 選 科 目	アカデミックライティング	1	2	●					三吉・菊池・八島・華岡・秋田・矢野	T3	集中					HX708	
	環境園芸技術マネジメント	1	2	●			●		藤井(世話人:石田・櫻井)	通年	集中					HX709	
	環境園芸アントレプレナーシップ	1	2	●			●		賀来 他(世話人:野村)	T4-5	水	3				HX702	
	園芸グローバルセミナー	1・2	2	●					○ 華岡・菊池・加藤	通年	集中					HX707	
	国際インターンシップA	1	2				●		○ 高垣・霜田	通年	集中					HX800	
	国際インターンシップB	1	3				●		○ 高垣・霜田	通年	集中					HX801	
	国際インターンシップC	1	4				●		○ 高垣・霜田	通年	集中					HX802	
	国際環境園芸学	1	2	●					◎ 高垣・浄閑・國分・後藤・小林(達)・本條・櫻井・八島・塚越・笠井	T4-5	水	5				HX703	
	プロジェクトマネジメント概論	1	2	●					◎ 八島・藤家(世話人:八島)	T5	集中					HX706	
	園芸学専門日本語C (※英語プログラム学生のみ受講可)	1	2	●					◎ 八島・高垣	T4-5	集中					HX704	※英語プログラム 学生のみ受講可
園芸学専門日本語D (※英語プログラム学生のみ受講可)	1	2	●					◎ 八島・高垣	T1-2	集中					HX705	※英語プログラム 学生のみ受講可	
基 礎 必 修 科 目	特別演習Ⅱ	1～3	2			●			○ 各指導教員	通年	集中					HX901	修了年次に 履修登録すること
	特別研究Ⅱ	1～3	4				●		○ 各指導教員	通年	集中					HX902	修了年次に 履修登録すること

※「英語対応」は◎(英語開講科目)、○(日本語・英語併用科目)

※【担当教員】は他研究科所属の教員

※非常勤講師・客員教員の世話人は括弧内に記載

※博士後期課程の授業科目のうち、博士前期課程において履修しているものは、修了要件科目として認められないため留意すること。

Course of study	Course	Recommended year of program	Credits				Mode	Language	Instructor	Term	Day	Period	Day 2	Period 2	Course code	Remarks
			Compulsory	Elective	Lecture	Seminar	Practice									
Basic Course(Elective)	Academic Writing	1	2	●				◎ English ○ English by request	Miyoshi・Kikuchi・Yashima・Hanaoka・Akita・Yano	T3	Intensive				HX708	
	Technology Management of Environmental Horticulture	1	2	●			●		Sakurai・Ishida・Fujii (Ishida)	Full	Intensive				HX709	
	Entrepreneurship for Horticulture	1	2	●			●		Kaku etc (Nomura)	T4-5	Wed	3			HX702	
	Global Seminar on Horticulture	1・2	2	●				○	Hanaoka・Kikuchi・Kato	Full	Intensive				HX707	
	International Internship A	1	2				●	○	Takagaki・Shimoda	Full	Intensive				HX800	
	International Internship B	1	3				●	○	Takagaki・Shimoda	Full	Intensive				HX801	
	International Internship C	1	4				●	○	Takagaki・Shimoda	Full	Intensive				HX802	
	International Environmental Horticulture	1	2	●				◎	Takagaki・Jokan・Kokubun・Goto・Kobayashi・Honjo・Sakurai・Yashima・Tsukagoshi・Kasai	T4-5	Wed	5			HX703	
	Project Management	1	2	●				◎	Fujie (Yashima)	T5	Intensive				HX706	
	Special Japanese for Horticultural Science C	1	2	●				◎	Yashima・Takagaki	T4-5	Intensive				HX704	※for English Program student
	Special Japanese for Horticultural Science D	1	2	●				◎	Yashima・Takagaki	T1-2	Intensive				HX705	※for English Program student
Basic Course (Compulsory)	Graduate Seminar II	1~3	2		●			○	academic advisor	Full	Intensive				HX901	register for the last year
	Graduate Research II	1~3	4			●		○	academic advisor	Full	Intensive				HX902	register for the last year

※Language used in the class◎English○English by request.

※If you take the same class you took in Master's Program while you are in Doctoral Program, those class credits will not count as credits required for completion.

博士後期課程英語プログラム科目

コース	授業科目の名称	履修推奨年次	単位数		授業形態等				担当教員	曜日	時限	曜日 その2	時限 その2	時限	ナンバ リング	参考
			必修	選択	講義	演習	実習	経営・経済系								
園芸科学コース	国際園芸学演習・実習Ⅰ	1		2		●	●	高垣・塚越	通年	集中					HA801	
	国際園芸学演習・実習Ⅱ	1		2		●	●	高垣・塚越	通年	集中					HA802	
	国際園芸学演習・実習Ⅲ	1		2		●	●	高垣・塚越	通年	集中					HA803	
	Horticultural Crop Management	1		2	●			小川 他	T4-5	火	3				HA719	
	応用生命科学特論	1		2	●			西田・渡辺(正)・児玉・江頭・天知・宮本(世話人:児玉)・土肥・華岡・平井・園田・相馬・宮原・加川・島田	T5	集中					HA720	
	遺伝子科学コミュニケーション	1		2	●			矢野・佐藤(世話人:矢野)	T4-5	集中					HA721	
基（必修科目）	特別演習Ⅱ	1～3	2			●		各指導教員	通年	集中					HX901	修了年次に履修登録すること
	特別研究Ⅱ	1～3	4				●	各指導教員	通年	集中					HX902	修了年次に履修登録すること
基（選択科目）	国際環境園芸学	1		2	●			高垣・浄閑・大伏・園分・後藤・小林(達)・本條・櫻井・塚越・八島・塚越・笠井	T4-5	水	5				HX703	
	プロジェクトマネジメント概論	1		2	●			八島・藤家(世話人:八島)	T5	集中					HX704	
	園芸学専門日本語C (※英語プログラム学生のみ受講可)	1		2	●			八島・高垣	T4-5	集中					HX704	※英語プログラム学生のみ受講可
	園芸学専門日本語D (※英語プログラム学生のみ受講可)	1		2	●			八島・高垣	T1-2	集中					HX705	※英語プログラム学生のみ受講可

※本プログラムを履修していない学生も、本プログラム開講科目(園芸学専門日本語C,Dを除く)の履修は可能である。

※博士後期課程の授業科目のうち、博士前期課程において履修しているものは、修了要件科目として認められないため留意すること。

(日本語・英語併用科目)

コース	授業科目の名称	履修推奨年次	単位数		授業形態				担当教員	期別	曜日	時限	曜日	時限	ナンバリング	参考
			必修	選択	講義	演習	実習	経営・経済系								
園芸科学コース	菌類生理生態学特論	1・2・3	2	●				大和(世話人:坂本)	T5	集中					HA722	奇数年度開講
	農業気象・環境学特論	1	2	●				松岡・後藤・彦坂	T4-5	木	4				HA704	
	生物圏相互作用論	1・2・3	2	●				坂本・天知・宇佐見・長・野村・八島	T5	月	3	木	3	HA705	奇数年度開講	
	作物リスク管理学	1・2・3	2	●				石川(世話人:坂本)	T3	集中					HA723	
	園芸ゲノム育種学	1	2	●				佐々・菊池	T1-2	火	2				HA706	
	フードサイエンス	1	2	●				小川・平井・椎名・江頭	T2	月	2	木	2	HA707		
	農業・開発政策論	1	2	●			●	小林(弘)・藤家(世話人:小林)・杉野(世話人:小林)	T1	集中					HA717	
	経済統計学	1	2	●			●	栗原・丸山	T3	集中					HA718	
	園芸植物遺伝資源保全利用	1・2	2	●				未定	T3	集中					HA724	
ランドスケープ学コース	エコデザイン論Ⅱ	1	2	●				木下剛・【上田】	T1-2	金	2				HB702	西千葉開講
	都市緑地デザイン学	1	2	●				池邊・木下剛	T2	火	5	金	5	HB703		
	緑地マネジメント学	1	2	●				柳井・秋田	T4	火	2	金	2	HB704		
	地域空間計画学	1	2	●				斎藤(雪)・唐崎(世話人:斎藤)	T4	月	2	金	2	HB705		
	風景環境計画学	1	2	●				古谷・霜田	T5	木	2	金	2	HB706		
	景观生態学	1	2	●				小林(達)・梅木	T4	月	1	木	1	HB707		
	庭園空間デザイン学	1	2	●				武田・章	T5	火	2	金	2	HB708		
	植物地理学	1	2	●				百原・渡辺(洋)・上原	T5	火	2	金	2	HB709		
	緑地基盤工学	1	2	●				唐・高橋	T2	月	2	木	2	HB710		
	リモートセンシング空間解析学	1	2	●				本條・加藤・【楊】	T1	火	1	火	2	HB711		
	環境植栽学特論	1	2	●				竹内・近江	T2	水	1	水	2	HB713		
	基盤選科科目	園芸グローバルセミナー	1・2	2	●				華岡・菊池・加藤	通年	集中					HX707
国際インターンシップA		1	2			●		高垣, 霜田	通年	集中					HX800	
国際インターンシップB		1	3			●		高垣, 霜田	通年	集中					HX801	
国際インターンシップC		1	4			●		高垣, 霜田	通年	集中					HX802	

※博士後期課程の授業科目のうち、博士前期課程において履修しているものは、修了要件科目として認められないため留意すること。

List of Courses 【English Program】 Doctoral Program

Course of study	Course	Recommen- ded year of program	Credits		Mode				Instructor	Term	Day	Period	Day 2	Period 2	Course code	Remarks
			Compulsory	Elective	Lecture	Seminar	Practice	Management・ Economy								
Horticultural Science	International Horticulture Seminar and Practice I	1		2		●	●		Takagaki・Tsukagoshi	Full	Intensive				HA801	
	International Horticulture Seminar and Practice II	1		2		●	●		Takagaki・Tsukagoshi	Full	Intensive				HA802	
	International Horticulture Seminar and Practice III	1		2		●	●		Takagaki・Tsukagoshi	Full	Intensive				HA803	
	Horticultural Crop Management	1		2	●				Ogawa	T4-5	Tue	3			HA719	
	Advanced Lectures on Applied Biological Science	1		2	●				Nishida・Watanabe・Kodama・Egashia・ Amachi・Miyamoto(Kodama)・Dohi・ Hanaoka・Hirai・Sonoda・Soma・ Miyahara・Kagawa・Shimada	T5	Intensive				HA720	
	Genetic Science Communication	1		2	●				Yano・Sato(Yano)	T4-5	Intensive				HA721	
Basic Course (Compulsory)	Graduate Seminar II	1～3	2			●			academic advisor	Full	Intensive				HX901	register for the last year
	Graduate Research II	1～3	4				●		academic advisor	Full	Intensive				HX902	register for the last year
Basic Course (Elective)	International Environmental Horticulture	1		2	●				Takagaki・Kondo・Jokan・Inubushi・Kokubun・ Goto・Kobayashi・Honjo・Sakurai・Yashima・ Tsukagoshi・Kasai	T4-5	Wed	5			HX703	
	Project Management	1		2	●				Fujiie (Yashima)	T5	Intensive				HX704	
	Special Japanese for Horticultural Science C (※for English Program student)	1		2	●				Yashima・Takagaki	T4-5	Intensive				HX704	※for English Program student
	Special Japanese for Horticultural Science D (※for English Program student)	1		2	●				Yashima・Takagaki	T1-2	Intensive				HX705	※for English Program student

※Even though you aren't English program student, you may register this program course(except for Special Japanese for Horticultural Science C and D).

※If you take the same class you took in Master's Program while you are in Doctoral Program, those class credits will not count as credits required for completion.

(Japanese and English course)

Japanese and English Course																	
Course of study	Course	Recommended year of program	Credits		Mode				Instructor	Term	Day	Period	Day 2	Period 2	Course code	Remarks	
			Compulsory	Elective	Lecture	Seminar	Practice	Management・Economy									
Horticultural Science	Physiological Ecology of Fungi	1・2・3		2	●				Yamato (Sakamoto)	T5	Intensive				HA722	Biennial course in odd-numbered years	
	Advanced lecture on Agricultural Meteorology and Environmental Studies	1		2	●				Matsuoka・Goto・Hikosaka	T4-5	Thu	4			HA704		
	Holistic Interactions in Biosphere	1・2・3		2	●				Sakamoto・Amachi・Inubushi・Usami・Choh・Nomura・Yashima	T5	Mon	3	Thu	3	HA705		
	Horticultural Plant Genome Breeding	1		2	●				Sassa・Kikuchi	T1-2	Tue	2			HA706		
	Food Science	1		2	●				Ogawa・Hirai・Shiina・Egashira	T2	Mon	2	Thu	2	HA707		
	Issues on Agricultural and Development Policy	1		2	●			●	Kobayashi・Nakajima・Sugino (Kobayashi)	T1	Intensive				HA717		
	Statistics for Economics	1		2	●			●	Kurihara・Maruyama	T3	Intensive				HA718		
	Usage and conservation of plant resources for horticultural plants	1・2		2	●				TBD	T3	Intensive				HA724		
Landscape Architecture	Ecodesign II	1		2	●				Kinoshita・【Ueda】	T1-2	Fri	2			HB702	Nishi-Chiba	
	Urban Landscape and Green Space Design	1		2	●				Ikebe・Kinoshita	T2	Tue	5	Fri	5	HB703		
	Theory of Landscape Management	1		2	●				Yanai・Akita	T4	Tue	2	Fri	2	HB704		
	Theory of Town and Country Space Planning	1		2	●				Saito	T4	Mon	2	Fri	2	HB705		
	Theory of Natural and Cultural Landscape Planning	1		2	●				Furuya・Shimoda	T5	Thu	2	Fri	2	HB706		
	Landscape Ecology	1		2	●				Kobayashi・Umeki	T4	Mon	1	Thu	1	HB707		
	Garden and Landscape Design Theory	1		2	●				Mitani・Zhang	T5	Tue	2	Fri	2	HB708		
	Plant Biogeography	1		2	●				Momohara・Watanabe・Uehara	T5	Tue	2	Fri	2	HB709		
	Foundation Engineering of Landscape	1		2	●				Tang・Takahashi	T2	Mon	2	Thu	2	HB710		
	Remote Sensing for Spatial Analysis	1		2	●				Honjo・Kato・【Wei】	T1	Tue	1	Tue	2	HB711		
	Environmental Landscape Planting	1		2	●				Omi	Full	Intensive				HB713		
	Basic Course (Elective)	Global Seminar on Horticulture	1・2		2	●				Hanaoka・Kikuchi・Kato	Full	Intensive				HX707	
International Internship A		1		2			●		Takagaki・Shimoda	Full	Intensive				HX800		
International Internship B		1		3			●		Takagaki・Shimoda	Full	Intensive				HX801		
International Internship C		1		4			●		Takagaki・Shimoda	Full	Intensive				HX802		

※If you take the same class you took in Master's Program while you are in Doctoral Program, those class credits will not count as credits required for completion.

指定推奨科目

園芸学研究科環境園芸学専攻 園芸科学コース 博士前期課程	他研究科	専攻	科目名
	融合理工学府	地球環境科学専攻	地表動態学特論-1
			地表動態学特論-2
		先進理化学専攻	系統学特論
			生物材料化学(偶数年度開講)
			生物情報化学
			発生機構学特論
			分子機能制御科学(奇数年度開講)
			機能形態形成科学(奇数年度開講)
			分子細胞生物学特講4(奇数年度開講)
			分子細胞生物学特講5(奇数年度開講)
			分子細胞生物学特講6(偶数年度開講)
		共通	ベンチャービジネス論
			ベンチャービジネスマネジメント

園芸学研究科環境園芸学専攻 ランドスケープ学コース 博士前期課程	他研究科	専攻	科目名
	融合理工学府	地球環境科学専攻	地表動態学特論-1
			地表動態学特論-2
			地球表層観測学
			生態学特論2
			大気リモートセンシング
			地域環境リモートセンシング
			コミュニティ計画論
			都市計画学
			住環境計画学
		先進理化学専攻	系統学特論
			生物材料化学
			生物情報化学
			発生機構学特論
			分子機能制御科学
			機能形態形成科学
			分子細胞生物学特講4
			分子細胞生物学特講5
			分子細胞生物学特講6
		創成工学専攻	都市地域計画
			人間-生活環境論
			生活環境デザイン論
			デザイン心理学
			視覚工学
		基幹工学専攻	デジタルファブリケーション・デザイン
			バイオメカニクス
			生体運動制御工学
		共通	医用診断計測学
			ベンチャービジネス論
			ベンチャービジネスマネジメント
			コレクティブデザイン論A
			コレクティブデザイン演習A
			コレクティブデザイン論B
			コレクティブデザイン演習B
	看護学研究科	共同災害看護学専攻	災害時専門職連携演習(災害時IP演習)

Recommended Courses

	School	Division	Course
Master's Program, Course of Horticultural Science	Graduate School of Science and Engineering	Division of Earth and Environmental Sciences	Basic Earth Surface Dynamics-1
			Basic Earth Surface Dynamics-2
		Division of Advanced Science and Engineering	Advanced Lecture on Phylogenetics
			Biomaterial Chemistry (Biennial course in even numbered years)
			Material Science in Bioinformation
			Advanced Lecture on Development
			Regulation of Molecular Functions (Biennial course in odd numbered years)
			Morphogenesis of Functional Status (Biennial course in odd numbered years)
			Special Lecture on Molecular 4 (Biennial course in odd numbered years)
			Special Lecture on Molecular 5 (Biennial course in odd numbered years)
			Special Lecture on Molecular 6 (Biennial course in even numbered years)
		Common Courses	Venture Business
			Venture Business Management
Master's Program, Course of Landscape	Graduate School of Science and Engineering	Division of Earth and Environmental Sciences	Basic Earth Surface Dynamics-1
			Basic Earth Surface Dynamics-2
			Observation of Earth Surface Environment
			Advanced Lecture on Ecology 2
			Atmospheric Remote Sensing
			Remote Sensing of Regional Environment
			Theory of Community Design
			Urban Planning of Human Place
		Division of Advanced Science and Engineering	Housing Planning and Design
			Advanced Lecture on Phylogenetics
			Biomaterial Chemistry
			Material Science in Bioinformatics
			Advanced Lecture on Developmental Biology
			Molecular Functional Control
			Morphogenesis of Functional Control
			Special Lecture on Molecular Biology 4
		Division of Creative Engineering	Professional Collaboration and Practise Theory
			Special Lecture on Molecular Biology 6
			Urban and Regional Planning
			Human-Living Environment System
			Theory of Living Environmental Design
			Design Psychology
		Division of Fundamental Engineering	Visual Science
			Digital Fabrication Design
			Biomechanics
		Common Courses	Motor Control of Human Movement
			Diagnostic Measurement Systems
			Venture Business
			Venture Business Management
			Collective Design A
			Collective Design in Practice A
			Collective Design B
			Collective Design in Practice B
	Graduate School of Nursing	Disaster Nursing Global Leader Degree Program	Disaster Professional Collaboration Exercise(Disaster IP Exercise)

園芸学研究科環境園芸学専攻 園芸科学コース 博士後期課程	他研究科	専攻	科目名
	融合理工学府	共通	ベンチャービジネス論 ベンチャービジネスマネジメント

園芸学研究科環境園芸学専攻 ランドスケープ学コース 博士後期課程	他研究科	専攻	科目名
	融合理工学府	地球環境科学専攻	地表動態学特論-1
			地表動態学特論-2
			地球表層観測学
			生態学特論2
			都市プロジェクト論
			コミュニティ計画論
		先進理化学専攻	系統学特論
		創成工学専攻	都市地域計画
			都市計画・設計学特論
			環境共生・バリアフリー建築
			ケアデザイン論Ⅱ
			環境人間工学特論
			生活デザイン心理学
			行動環境デザイン論
			人間-生活環境論
			視覚工学
		基幹工学専攻	生体運動制御工学
		共通	医用診断計測学
			ベンチャービジネス論
			ベンチャービジネスマネジメント

大学院共通教育科目

※千葉大学ホームページ(<https://www.chiba-u.ac.jp/index.html>)の「教育」タブにある「大学院共通教育」に最新の科目一覧が掲載されております。

園芸学研究科環境園芸学専攻 博士前期課程	他研究科	科目名
	融合理工学府	技術者倫理・知的財産
		実践知的財産権(化学系)
		実践知的財産権(物理系)
		技術経営力
	医学薬学府	創薬生命科学基礎概論Ⅰ
		創薬生命科学基礎概論Ⅱ
		公衆衛生学特論
	看護学研究科	専門職連携実践論
		エンドオブライフケア学
		専門職連携教育論
		災害時専門職連携演習
	人文公共学府	高等教育制度論
		異文化間教育学
	総合国際学位プログラム	アイデアソンⅠ
		研究倫理
	全学	サービス・イノベーション・スタジオ・ワーク
		アカデミック・リスニング
		アカデミック・ライティング
		アカデミック・プレゼンテーション
		Online Academic Presentation
		研究方法論
		研究留学論
		データサイエンス
		データ科学プログラミング
		機械学習実践
		デジタル・ヒューマニティーズ入門
		デザイン・シンキング・スタジオ・ワーク
		インクルーシブ・ビジネス基礎
		デザインシンキング基礎
		グローバル・サービス・デザイン基礎
		ランドスケープ・サービス
		デザイン基礎
		キャリアデザイン
		大学教員養成講座(1)
		大学教員養成講座(2)
		カレッジリンクplus
		リージョナル・ツーリズム・デベロップメント
		エンハンスド・グローバル・スタディ・プログラム
		エンハンスド・マルチキャリア・プログラム

Doctoral Program, Course of Horticultural Science	School	Division	Course
	Graduate School of Science and Engineering	Common Courses	Venture Business Venture Business Management

Doctoral Program, Course of Landscape	School	Division	Course
	Graduate School of Science and Engineering	Division of Earth and Environmental Sciences	Basic Earth Surface Dynamics- 1
			Basic Earth Surface Dynamics- 2
			Observation of Earth Surface Environment
			Advanced Lecture on Ecology 2
			Advanced Topics in Urban/Space Produce
			Theory of Community Design
		Division of Advanced Science and Engineering	Advanced Lecture on Phylogenetics
		Division of Creative Engineering	Urban and Regional Planning
			Special Studies in Urban Design
			Nature Friendly and Barrier Free Design of Architecture
			Theory of Care Design II
			Topics in Environmental Ergonomics
			Design Psychology for Human Life
			Behavioral Environment Design
			Human-Living Environment System
			Visual Science
		Division of Fundamental Engineering	Motor Control of Human Movement Diagnostic Measurement Systems
		Common Courses	Venture Business
			Venture Business Management

Common Graduate Courses

※You can find the latest information on the website of Chiba University (<https://www.chiba-u.ac.jp/index.html>) .Click"教育"and go to the page"大学院共通教育".

Master's Program	School	Course
	Graduate School of Science and Engineering	Ethics for Engineers and Intellectual Property
		Advanced Seminar in Intellectual Property Rights(Chemistry)
		Advanced Seminar in Intellectual Property Rights(Physics)
		Ability to Manage Technology
	Graduate School of Medical and Pharmaceutical Sciences	Introduction of drug discovery and life sciencesI
		Introduction of drug discovery and life sciencesII
		Public health
	Graduate School of Nursing	Professional Collaboration and Practice Theory
		End of Life Care
		Professional Collaboration and Education Theory
		Disaster Professional Collaboration Exercise
	Graduate School of Humanities and Studies on Public Affairs	Higher Education System
		Intercultural Education
	Graduate Degree Program of Global and Transdisciplinary Studies	Ideathon I
		Research Ethics
	ALL	Service Innovation Studio Work
		Academic Listening
		Academic Writing
		Academic Presentation
		Online Academic Presentation
		research methodologies
		Introduction to study abroad
		data science
		Programming for Data Science
		Practical Machine Learning
		Introduction of Digital Humanities
		Design Thinking Studio Work
		Introduction to Inclusive business
		Basic Design Thinking
		Basic Global Service Design
		Basic Landscape Service Design
		Career design
		Preparing Future Faculty Course(1)
		Preparing Future Faculty Course(2)
		Collage-Link plus
		Regional Tourism Development
		Enhanced Global Study Program
		Enhanced Multi Carrier Program

園芸学研究科環境園芸学専攻 博士後期課程	他研究科	科目名
	融合理工学府	技術者倫理・知的財産
		実践知的財産権(化学系)
		実践知的財産権(物理系)
		技術経営力
	看護学研究科	専門職連携実践論
		エンドオブライフケア学
		専門職連携教育論
		災害時専門職連携演習
	人文公共学府	異文化間教育学
	総合国際学位プログラム	研究倫理
	全学	サービス・イノベーション・スタジオ・ワーク
		アカデミック・リスニング
		アカデミック・ライティング
		アカデミック・プレゼンテーション
		Online Academic Presentation
		研究方法論
		データサイエンス
		データ科学プログラミング
		機械学習実践
		デザイン・シンキング・スタジオ・ワーク
		ランドスケープ・サービスデザイン
		キャリアデザイン
		大学教員養成講座(1)
		大学教員養成講座(2)
		カレッジリンクplus
		リージョナル・ソーリズム・デベロップメント
		エンハンスド・グローバル・スタディ・プログラム —アドバンスド・レベル
		エンハンスド・マルチキャリア・プログラム —アドバンスド・レベル

Doctoral Program	School	Course
	Graduate School of Science and Engineering	Ethics for Engineers and Intellectual Property
		Advanced Seminar in Intellectual Property Rights(Chemistry)
		Advanced Seminar in Intellectual Property Rights(Physics)
		Ability to Manage Technology
	Graduate School of Nursing	Professional Collaboration and Practice Theory
		End of Life Care
		Professional Collaboration and Education Theory
		Disaster Professional Collaboration Exercise
	Graduate School of Humanities and Studies on Public Affairs	Intercultural Education
	Graduate Degree Program of Global and Transdisciplinary Studies	Research Ethics
	ALL	Service Innovation Studio Work
		Academic Listening
		Academic Writing
		Academic Presentation
		Online Academic Presentation
		research methodologies
		data science
		Programming for Data Science
		Practical Machine Learning
		Design Thinking Studio Work
		Landscape Service Design
		Career design
		Preparing Future Faculty Course(1)
		Preparing Future Faculty Course(2)
		Collage-Link plus
		Regional Tourism Development
		Enhanced Global Study Program-Advanced Level
		Enhanced Multi Carrier Program-Advanced Level

教育職員免許状及び免許教科に関する履修要件等

園芸学研究科（博士前期課程）において教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を修得した者が取得できる教育職員免許状及び免許教科の種類は、次のとおりです。

専攻名	免許状の種類	免許教科
環境園芸学	中学校教諭専修免許状	理科
	高等学校教諭専修免許状	理科・農業

上記専修免許状を取得するためには、次の要件を充足する必要があります。

- ・既に学部等において、中学校教諭一種免許状（理科）、高等学校教諭一種免許状（理科・農業）の所要資格を得ていること。
- ・次に定める授業科目のうち、24単位以上を修得すること。

申請方法等の詳細については、ガイダンスでも説明しますが、不明な点は学務係に問い合わせてください。

Allowed Teaching Licenses and Study Requirements (Japanese License)

Students earning the necessary credits stipulated in the School Teacher's License Act and the Ordinance for Enforcement of the School Teacher's License Act in a Master's Program at the Graduate School of Horticulture can attain the following types of teaching licenses for the following licensed subjects.

Division	Type of License	Licensed Subject
Environment and Horticulture	Middle School Teacher's Specialized License	Science
	High School Teacher's Specialized License	Science; Agriculture

The following conditions must be satisfied to attain the abovementioned specialist licenses.

- Prior attainment in an undergraduate faculty, etc. of the necessary qualifications for a Middle School First Class Teaching License (Science) or a Senior High First Class Teaching License (Science; Agriculture).
- Attainment of 24 or more credits from the courses stipulated below.

Details on how to apply, etc. are explained in Guidance, but please ask at the Student Affairs Unit if anything remains unclear.

専攻	環境園芸学専攻		
免許状	中学校教諭専修免許状・高等学校教諭専修免許状		
	理科		
教科及び 教科の 指導法に 関する 科目	遺伝資源利用学	ランドスケープ構造・機能論	
	園芸ゲノム情報論	景観生態学	
	生物圏相互作用論	植物地理学	
	園芸ゲノム育種学Ⅰ	緑地基盤工学	
	フードサイエンス	リモートセンシング空間解析学	
	応用生命化学特論A	環境健康学	
	応用生命化学特論B	水域環境学	
	応用生命化学特論C	ケアデザイン論	
	難培養微生物論		
	ファイトケミカル・サイエンステクノロジー論		
	植物環境応答制御学		
	生体分子計測学特論		
	分子生物学特論		
	細胞微細構造論		

専攻	環境園芸学専攻		
免許状	高等学校教諭専修免許状		
	農業		
教科及び 教科の 指導法に 関する 科目	先端園芸技術論	ランドスケープ計画・意匠論	環境園芸技術マネジメント
	園芸コンサルティング演習	都市緑地デザイン学	環境園芸学
	園芸産業論	緑地マネジメント学	
	農業気象・環境学特論	地域空間計画学	
	農業・開発政策論	風景環境計画学	
	経済統計学	庭園空間デザイン学	
		環境植栽学特論	
		エコデザイン論Ⅰ	

Department	Department of Environment and Horticulture		
Licenses	Middle School Teacher's Specialized License/High School Teacher's Specialized License		
	Science		
Courses	Genetic resource utilization	Theory of Landscape Ecosystems	
	Horticulture Genomics	Landscape Ecology	
	Holistic Interactions in Biosphere	Plant Biogeography	
	Horticultural Plant Genome Breeding I	Foundation Engineering of Landscape	
	Food Science	Remote Sensing for Spatial Analysis	
	Advanced Lectures on Applied Biological Chemistry A	Environment and Health Science	
	Advanced Lectures on Applied Biological Chemistry B	Aqua Environmental Ecology	
	Advanced Lectures on Applied Biological Chemistry C	Theory of Care Design	
	Uncultured Microbiology		
	Science for Phytochemical Technology		
	Environmental Plant Physiology and Engineering		
	Advanced Lecture on Biomolecule Observation		
	Advanced Lecture on Molecular Biology		
	Advanced Lecture on Cell biology		

Department	Department of Environment and Horticulture		
Licenses	High School Teacher's Specialized License		
	Agriculture		
Courses	Advanced Technology on Horticulture	Theory of Landscape Architecture	Technology Management of Environmental Horticulture
	Practice on Horticultural Consulting	Urban Landscape and Green Space Design	Environment and Horticulture
	Horticulture Industry	Theory of Landscape Management	
	Advanced Lecture on Agricultural Meteorology and Environmental Studies	Theory of Town and Country Space Planning	
	Issues on Agricultural and Development Policy	Theory of Natural and Cultural Landscape Planning	
	Statistics for Economics	Garden and Landscape Design Theory	
		Environmental landscape planting	
		Ecodesign I	

自然再生士補資格に関する履修要件

園芸学研究科ランドスケープ学コースの修了生は所定の単位を取得し、所定の手続きを経て自然再生士補として認定されます。自然再生士補資格取得者は実務経験 1 年以上で自然再生士受験資格を得ることができます。自然再生士制度、自然再生士補制度については財団法人日本緑化センターのホームページ (<http://www.jpgreen.or.jp/>) に詳しく紹介されています。

自然再生士補の資格認定を受けるためには、別表「分野別の科目対応表」にある科目から、必修として特別講義 2 科目 8 単位を、選択として講義分野より 1 科目 2 単位以上を履修・修得する必要があります。

分野	科目
特別講義（必修）	ランドスケーププロジェクト演習 A、ランドスケーププロジェクト演習 B
講義（選択）	都市緑地デザイン学，緑地マネジメント学，地域空間計画学，風景環境計画学，景観生態学，庭園空間デザイン学，植物地理学，緑地基盤工学，リモートセンシング空間解析学，環境健康学，環境植栽学特論，水域環境学，生態工学

Requirements for the License of Nature Restoration Assistant Promoter (Japanese License)

Graduates of Landscape Course earning the following necessary credits can attain the license of Nature Restoration Assistant Promoter. Nature Restoration Assistant Promoter can get the right to apply the examination for the license of Nature Restoration Promoter after the experience of practice more than 1 year. For details, see the homepage of Japan Greenery Research and Development Center (<http://www.jpgreen.or.jp/>).

The following conditions must be satisfied to attain the license.

- Attainment of 8 credits of special courses stipulated below.
- Attainment of 2 credits of elective courses stipulated below.

Fields	Courses
Special courses	Project of Landscape Science A & B
Elective courses	Urban Landscape and Green Space Design, Theory of Landscape Management, Theory of Town and Country Space Planning, Theory of Natural and Cultural Landscape Planning, Landscape Ecology, Garden and Landscape Design Theory, Plant Biogeography, Foundation Engineering of Landscape, Remote Sensing for Spatial Analysis, Environment and Health Science, Environmental Landscape Planting, Aqua Environmental Ecology, Ecological Engineering

3. 令和4年度授業時間割

環境園芸学専攻(博士前期)

第1ターム					
	I 8:50～10:20	II 10:30～12:00	III 12:50～14:20	IV 14:30～16:00	V 16:10～17:40
月	ランドスケープ構造・機能論 (唐・高橋・本條 他) オンデマンド型・対面型 E103	植物病学特論 (矢戸) オンデマンド型・対面型 E102	地域再生計画学特論 (斎藤雪・秋田) 対面型・同時双方向型・オンデマ ンド型 E310	ランドスケーププロジェクト演習A (木下・柳井 他) 対面型・同時 双方向型	先端園芸技術論 (後藤・松岡・椎名 他) 対面型・ オンデマンド型 D112
		栄養化学特論 (江頭・平井) オンデマンド型			ランドスケーププロジェクト演習A (木下・柳井 他) 対面型・同時 双方向型
		風景計画学特論 (古谷・霜田) オンデマンド型・同時 双方向型・対面型 E103			
火	バイオテクノロジー論特論 (児玉・島田) オンデマンド型・対面型 E310	土壌微生物学特論 (坂本) 対面型 E102	地域再生計画学特論 (斎藤雪・秋田) 対面型・同時双方向型・オンデマ ンド型 E310		
	リモートセンシング空間解析学 (本條・加藤・橋) オンデマンド型・対面型	花卉開花制御論特論 (三吉) 対面型 E307			
		生物資源利用学特論 (園田) オンデマンド型・対面型 E103			
		リモートセンシング空間解析学 (本條・加藤・橋) オンデマンド型・対面型			
		園芸ゲノム育種学I (佐々・菊池) オンデマンド型・対面型			
水		造園植栽管理学特論 (近江・竹内) 対面型 E310			
木	ランドスケープ構造・機能論 (唐・高橋・本條 他) オンデマンド型・対面型 E103	植物病学特論 (矢戸) オンデマンド型・対面型 E102			
		栄養化学特論 (江頭・平井) オンデマンド型			
金	バイオテクノロジー論特論 (児玉・島田) オンデマンド型・対面型 E310	遺伝資源利用学 (井川・中村・相馬・吉田(行)) オンデマンド型			森林管理学特論 (梅木) E205 対面型
	園芸ゲノム情報論 (菊池・齋藤・國分 他) オンデマンド型	花卉開花制御論特論 (三吉) 対面型 E307			
	健康機能植物学特論 (野田) 柏の葉 対面	土壌微生物学特論 (坂本) 対面型 E102			
		生物資源利用学特論 (園田) オンデマンド型・対面型 E103			
		エコデザイン論I (木下) 対面型・オンデマンド型・同時 双方向型 西千葉			
		健康機能植物学特論 (野田) 柏の葉 対面			
		造園植栽管理学特論 (近江・竹内) 対面型 E310			

環境園芸学専攻(博士前期)

第2ターム					
	I 8:50～10:20	II 10:30～12:00	III 12:50～14:20	IV 14:30～16:00	V 16:10～17:40
月	生物有機化学特論 (西田) 対面型 E103	環境微生物学特論 (天知) 対面型 E103		応用生命化学特論A (西田・天知・江頭 他) 対面型・オンデマンド型	先端園芸技術論 (後藤・松岡・椎名 他) 対面型・ オンデマンド型 D112
	果樹栽培論特論 (津関) オンデマンド型	フードサイエンス (小川・平井・椎名・江頭) オンデマンド型		ランドスケーププロジェクト演習A (木下剛・柳井 他) 対面型・同時 双方向型	ランドスケーププロジェクト演習A (木下剛・柳井 他) 対面型・同時 双方向型
		園芸産業論 (櫻井・渡辺均・塚越 他) オンデマンド型			
		緑地基礎工学 (唐・高橋) 対面型・オンデマンド型			
火	農産食品工学特論 (椎名・小川) E103 対面型・オンデマンド型	園芸ゲノム育種学I (佐々・菊池) オンデマンド型・対面型	環境園芸学 (小林(達)・櫻井・近藤 他) オンデマンド型・対面 合同講義室		都市緑地デザイン学 (池邊・木下) オンデマンド型・同時双方向型
	落葉果樹栽培論特論 (小原) オンデマンド型・対面型 E205	食作物学特論 (未定) オンデマンド型			
	再生生態学特論 (小林達) 対面型 D112	緑地環境機能学特論 (柳井) オンデマンド型・対面型 E103			
		植物環境制御学特論 (後藤・彦坂) オンデマンド型・対面型 E102			
水	流域環境工学特論 (唐) 対面型・オンデマンド型 E206	流域環境工学特論 (唐) 対面型・オンデマンド型 E206	ランドスケープ計画・意匠論 (古谷・池邊・齋藤雪 他) オンデマンド型・同時双方 向型	国際農業開発論特論 (小林弘) オンデマンド型・一部対面 合同講義室	国際農業開発論特論 (小林弘) オンデマンド型・一部対面 合同講義室
	環境植栽学特論 (竹内・近江) 対面型・オンデマンド型	環境植栽学特論 (竹内・近江) 対面型・オンデマンド型			
木	生物有機化学特論 (西田) 対面型 E103	環境微生物学特論 (天知) 対面型 E103	ランドスケープ計画・意匠論 (古谷・池邊・齋藤雪 他) オンデマンド型・同時双方 向型		
	果樹栽培論特論 (津関) オンデマンド型	フードサイエンス (小川・平井・椎名・江頭) オンデマンド型			
		園芸産業論 (櫻井・渡辺均・塚越 他) オンデマンド型			
		緑地基礎工学 (唐・高橋) 対面型・オンデマンド型			
金	農産食品工学特論 (椎名・小川) E103 対面型・オンデマンド型	遺伝資源利用学 (井川・中村・相馬・吉田(行)) オンデマンド型	環境園芸学 (小林(達)・櫻井・近藤 他) オンデマンド型・対面 合同講義室	応用生命化学特論A (西田・天知・江頭 他) 対面型・オンデマンド型	森林管理学特論 (梅木) 対面型 E205
	落葉果樹栽培論特論 (小原) オンデマンド型・対面型 E205	食作物学特論 (未定) オンデマンド型		資源計量経済学特論 (栗原) 対面型 情報処理演習室	資源計量経済学特論 (栗原) 対面型 情報処理演習室
	園芸ゲノム情報論 (菊池・齋藤・國分 他) オンデマンド型	エコデザイン論I (木下) 対面型・オンデマンド型・同時 双方向型 西千葉			都市緑地デザイン学 (池邊・木下) オンデマンド型・同時双方向型
	再生生態学特論 (小林達) 対面型 D112	緑地環境機能学特論 (柳井) オンデマンド型・対面型 E103			
		植物環境制御学特論 (後藤・彦坂) オンデマンド型・対面型 E102			
T1-T3 集中	生体分子計測学特論 (浦・伊藤・寺崎)	農業・開発政策論 (小林(弘)・藤家・杉野) オンデマンド型	農村開発経済学特論 (柴田・Kumar) 対面型	経済統計学 (栗原・丸山) 対面型 情報処理演習室	応用生命化学特論B (華岡・渡辺正・加川・島田) 対面型・オンデマンド型 西千葉 学際研究棟214
	水域環境学 (富樫・菊池) 海洋バイオシステム研究センター	アカデミックライティング (三吉・菊池・八島 他) 対面型	園芸学専門日本語B (八島・高垣)	園芸植物遺伝資源保全利用 (未定)	安全管理・野外救命法特論 (岩崎・古谷・近江・高橋)

3. 2022/2023 Class Timetable

Division of Environment and Horticulture(Master's program)

Term 1					
	I 8:50~10:20	II 10:30~12:00	III 12:50~14:20	IV 14:30~16:00	V 16:10~17:40
Mon	Theory of Landscape Ecosystems Tang・Takahashi・Honjo・Umeki ㉒, ㉓ E103	Advanced Plant Pathology Shishido, ㉒, ㉓ E102 Advanced Nutritional Chemistry Egashira・Hirai, ㉒, ㉓ Advanced Theory of Landscape Planning Furuya・Shimoda, ㉒, ㉓, ㉔ E103	Advanced Theory of Town and Country Regeneration Planning, Saito・Akita, ㉒, ㉓, E310	Landscape Project Studio - A Kinoshita・Yanai・Akita, ㉒, ㉓	Advanced Technology on Horticulture Goto・Matsuoka・Shiina, ㉒, ㉓, D112 Landscape Project Studio - A Kinoshita・Yanai・Akita, ㉒, ㉓
Tue	Advanced Biotechnology Kodama・Shimada, ㉒, ㉓ E310 Remote Sensing for Spatial Analysis Honjo・Kato・[Wei], ㉒, ㉓	Advanced Soil Microbiology Sakamoto, ㉒ E102 Advanced Lecture on Flowering Control Miyoshi, ㉒ E307 Advanced Biotechnology of Agroresources Sonoda, ㉒, ㉓, E103 Remote Sensing for Spatial Analysis Honjo・Kato・[Wei], ㉒, ㉓ Horticultural Plant Genome Breeding I Sassa・Kikuchi, ㉒, ㉓ Advanced Theory of Maintenance of Landscape Planting, Omi・Takeuchi ㉒, E310	Advanced Theory of Town and Country Regeneration Planning, Saito・Akita, ㉒, ㉓, E310		
Wed					
Thu	Theory of Landscape Ecosystems Tang・Takahashi・Honjo・Umeki ㉒, ㉓ E103	Advanced Plant Pathology Shishido, ㉒, ㉓ E102 Advanced Nutritional Chemistry Egashira・Hirai, ㉒, ㉓ Advanced Theory of Landscape Planning Furuya・Shimoda, ㉒, ㉓, ㉔ E103			
Fri	Advanced Biotechnology Kodama・Shimada, ㉒, ㉓ E310 Horticulture Genomics Kikuchi・Kokubun・Nakamura, ㉒ Advanced Lecture for Horticulture and Health Noda, Kashiwanoha Campus, ㉒	Genetic resource utilization Igawa・Nakamura・Soma・Yoshida, ㉒ Advanced Lecture on Flowering Control Miyoshi, ㉒ E307 Advanced Soil Microbiology Sakamoto, ㉒ E102 Advanced Biotechnology of Agroresources Sonoda, ㉒, ㉓, E103 Ecodesign I Kinoshita・[Ueda], ㉒, ㉓, ㉔ Nishi-Chiba Advanced Lecture for Horticulture and Health Noda, Kashiwanoha Campus, ㉒ Advanced Theory of Maintenance of Landscape Planting, Omi・Takeuchi ㉒, E310			Advanced Lecture on Forest Umeki, ㉒, E205

Division of Environment and Horticulture(Master's program)

Term 2					
	I 8:50~10:20	II 10:30~12:00	III 12:50~14:20	IV 14:30~16:00	V 16:10~17:40
Mon	Advanced Bioorganic Chemistry Nishida, ㉒ E103 Advanced Lecture on Fruit Vegetable Cultivation, Jokan, ㉒	Advanced Environmental Microbiology Amachi, ㉒, E103 Food Science Ogawa・Hirai・Shiina・Egashira, ㉒ Horticulture Industry Sakurai・Watanabe・Tsukagoshi, ㉒ Foundation Engineering of Landscape Tang・Takahashi, ㉒, ㉓ Environment and Health Science Iwasaki・Mishima・Noda, ㉒, ㉓		Advanced Lectures on Applied Biological Chemistry A, Nishida・Amachi・Egashira・Hirai, ㉒, ㉓ Landscape Project Studio - A Kinoshita・Yanai・Akita, ㉒, ㉓	Advanced Technology on Horticulture Goto・Matsuoka・Shiina, ㉒, ㉓, D112 Landscape Project Studio - A Kinoshita・Yanai・Akita, ㉒, ㉓
Tue	Advanced Agri-Food Engineering Shiina・Ogawa, ㉒, ㉓ E103 Advanced Lecture on Deciduous Fruit Tree Cultivation, Ohara, ㉒, ㉓ E205 Advanced Theory of Restoration Ecology Kobayashi, ㉒ D112	Horticultural Plant Genome Breeding I Sassa・Kikuchi, ㉒, ㉓ Advanced Lecture on Crop Sciences TBD, ㉒ Advanced Theory of Green Space Functions and Management, Yanai, ㉒, ㉓, E103 Advanced Lecture on Environmental Control for Plant, Goto・Hikosaka, ㉒, ㉓, E102	Environment and Horticulture Kobayashi・Sakurai・Kondo, ㉒, ㉓ E-2F Godo Hall		Urban Landscape and Green Space Design Ikebe・Kinoshita, ㉒, ㉓
Wed	Advanced Theory of Ecohydrology for Engineering, Tang, ㉒, ㉓ E206 Environmental landscape planting Takeuchi・Omi, ㉒, ㉓	Advanced Theory of Ecohydrology for Engineering, Tang, ㉒, ㉓ E206 Environmental landscape planting Takeuchi・Omi, ㉒, ㉓	Theory of Landscape Architecture Furuya・Ikebe・Saito・Shimoda, ㉒, ㉓	Advanced Development Economics in Agriculture, JICA (Kobayashi), ㉒, ㉓ E-2F Godo Hall	Advanced Development Economics in Agriculture, JICA (Kobayashi), ㉒, ㉓ E-2F Godo Hall
Thu	Advanced Bioorganic Chemistry Nishida, ㉒ E103 Advanced Lecture on Fruit Vegetable Cultivation, Jokan, ㉒	Advanced Environmental Microbiology Amachi, ㉒, E103 Food Science Ogawa・Hirai・Shiina・Egashira, ㉒ Horticulture Industry Sakurai・Watanabe・Tsukagoshi, ㉒ Foundation Engineering of Landscape Tang・Takahashi, ㉒, ㉓ Environment and Health Science Iwasaki・Mishima・Noda, ㉒, ㉓	Theory of Landscape Architecture Furuya・Ikebe・Saito・Shimoda, ㉒, ㉓		
Fri	Advanced Agri-Food Engineering Shiina・Ogawa, ㉒, ㉓ E103 Advanced Lecture on Deciduous Fruit Tree Cultivation, Ohara, ㉒, ㉓ E205 Horticulture Genomics Kikuchi・Kokubun・Nakamura, ㉒ Advanced Theory of Restoration Ecology Kobayashi, ㉒ D112	Genetic resource utilization Igawa・Nakamura・Soma・Yoshida, ㉒ Advanced Lecture on Crop Sciences TBD, ㉒ Ecodesign I Kinoshita・[Ueda], ㉒, ㉓, ㉔ Nishi-Chiba Advanced Theory of Green Space Functions and Management, Yanai, ㉒, ㉓, E103 Advanced Lecture on Environmental Control for Plant, Goto・Hikosaka, ㉒, ㉓, E102	Environment and Horticulture Kobayashi・Sakurai・Kondo, ㉒, ㉓ E-2F Godo Hall	Advanced Lectures on Applied Biological Chemistry A, Nishida・Amachi・Egashira・Hirai, ㉒, ㉓ Advanced Econometrics Kurihara, ㉒ D201	Advanced Lecture on Forest Umeki, ㉒, E205 Advanced Econometrics Kurihara, ㉒ D201 Urban Landscape and Green Space Design Ikebe・Kinoshita, ㉒, ㉓
T1-T3 n sive	Advanced Lecture on Biomolecule Observation [Ura]・[Ito]・[Terasaki] Aqua Environmental Ecology Togashi・Kikuchi	Issues on Agricultural and Development Policy Kobayashi・Fujie・Sugino (Kobayashi), ㉒ Academic Writing Miyoshi・Kikuchi・Yashima, ㉒	Advanced Rural Development Economics Shibata・Kumar (Kurihara), ㉒ Special Japanese for Horticultural Science B Yashima・Takagaki	Statistics for Economics Kurihara・Maruyama, ㉒, D201 Usage and conservation of plant resources for horticultural plants TBD	Advanced Lectures on Applied Biological Chemistry B Hanaoka・Watanabe・Kagawa・Shimada, ㉒, ㉓ Nishi-Chiba, Gakusai-Kenkyu Build.214 Risk management and field life preservation Iwasaki・Furuya・Omi・Takahashi

㉒: Both Synchronous Learning, ㉓: Face-To-Face Learning, ㉔: Video on Demand Learning

環境園芸学専攻(博士前期)

		I	II	III	IV	V
		8:50～10:20	10:30～12:00	12:50～14:20	14:30～16:00	16:10～17:40
月	植物分子生物学特論 (中村)対面型 E307	微気象学特論 (松岡)対面型 D112	ケアデザイン論 (岩崎)対面型・オンデマンド型・同時 双方向型 E307	ランドスケーププロジェクト演習B (霜田・柳井・秋田 他)	ランドスケーププロジェクト演習B (霜田・柳井・秋田 他)	
	植物病理化学特論 (宇佐見)対面型・オンデマンド型 E310	常緑果樹栽培論特論 (小原)オンデマンド型				
	景観生態学 (小林達・梅木)対面型・オンデマンド型	地域空間計画学 (斎藤雪・唐崎)対面型				
火	都市緑地計画学特論 (池邊)E206	都市緑地計画学特論 (池邊)E206	Horticultural Crop Management (小川 他)オンデマンド型・同時双方向型	研究方法と倫理 (矢戸・松岡・梅木 他)オンデマンド型	ランドスケープ産学官セミナー (百原・古谷・岩崎 他)対面型・オンデ マンド型 ※一部不特定時間開講	
		緑地マネジメント学 (柳井・秋田)対面型・オンデマンド型・ 同時双方向型 E205				
水			環境園芸アントレプレナーシップ (野村)オンデマンド型・同時双方向型 ・対面型 E103		国際環境園芸学 (高垣・浄閑 他)オンデマンド型	
木	植物分子生物学特論 (中村)対面型 E307	微気象学特論 (松岡)対面型 D112	ランドスケープ設計特論 (武田・章・萩野)オンデマンド型・対面型 D112	農業気象・環境学特論 (松岡・後藤・彦坂)対面型・オンデマンド型		
	植物病理化学特論 (宇佐見)対面型・オンデマンド型 E310	常緑果樹栽培論特論 (小原)オンデマンド型				
	景観生態学 (小林達・梅木)対面型・オンデマンド型					
金		緑地マネジメント学 (柳井・秋田)対面型・オンデマンド型・ 同時双方向型 E205		研究方法と倫理 (矢戸・松岡・梅木 他)オンデマンド型		
		地域空間計画学 (斎藤雪・唐崎)対面型				

環境園芸学専攻(博士前期)

		第5ターム		第6ターム		
		I	II	III	IV	V
		8:50～10:20	10:30～12:00	12:50～14:20	14:30～16:00	16:10～17:40
月	花卉品種生態学特論 (國分)対面型 E102			ケアデザイン論 (岩崎)対面型・オンデマンド型・同時双方向型 E307	ランドスケーププロジェクト演習B (霜田・柳井・秋田 他)	ランドスケーププロジェクト演習B (霜田・柳井・秋田 他)
	環境教育学特論 (三島)対面型 D112			生物圏相互作用論 (坂本・天知 他)対面型 E102		
火	葉根菜栽培論特論 (淨閑)オンデマンド型	植物地理学 (百原・渡辺洋・上原)対面型・オンデマンド型		食品産業組織論特論 (石田)対面型 合同講義室	食品マーケティング論特論 (櫻井)対面型 合同講義室	ランドスケープ産学官セミナー (百原・古谷・岩崎 他)対面型・オンデ マンド型 ※一部不特定時間開講
	生物理工学特論 (小川)オンデマンド型・同時双方向型	応用昆虫学特論 (野村)対面型・オンデマンド型		園芸療法特論 (岩崎)対面型・オンデマンド型 D112	園芸療法特論 (岩崎)対面型・オンデマンド型 D112	
		養液栽培論特論 (塚越)オンデマンド型		Horticultural Crop Management (小川 他)オンデマンド型・同時双方向型		
		庭園空間デザイン学 (武田・章)対面型				
水				環境園芸アントレプレナーシップ (野村)オンデマンド型・同時双方向型 ・対面型 E103		国際環境園芸学 (高垣・淨閑 他)オンデマンド型
木	花卉品種生態学特論 (國分)対面型 E102	風景環境計画学 (古谷・霜田)オンデマンド型・同時双方向型		生物圏相互作用論 (坂本・天知 他)オンデマンド型	農業気象・環境学特論 (松岡・後藤・彦坂)対面型・オンデマンド型	
	環境教育学特論 (三島)対面型 D112			ランドスケープ設計特論 (武田・章・萩野)オンデマンド型・対面型 D112		
金	葉根菜栽培論特論 (淨閑)オンデマンド型	植物地理学 (百原・渡辺洋・上原)対面型・オンデマンド型		食品産業組織論特論 (石田)対面型 合同講義室	食品マーケティング論特論 (櫻井)対面型 合同講義室	
	生物理工学特論 (小川)オンデマンド型・同時双方向型	応用昆虫学特論 (野村)対面型・オンデマンド型				
		養液栽培論特論 (塚越)オンデマンド型				
		風景環境計画学 (古谷・霜田)オンデマンド型・同時双方向型				
		庭園空間デザイン学 (武田・章)対面型				

T4-T6 集中	応用生命化学特論C (児玉・宮本・土肥・宮原)オンデマンド型	ファイトケミカル・サイエンステクノロジー論 (小堀・江頭)オンデマンド型	細胞微細構造論 (松浦・石川・坂倉)オンデマンド型	応用生命科学特論 (西田・渡辺正・児玉 他) 対面型・オンデマンド型	遺伝子科学コミュニケーション (矢野・佐藤)対面型
	施設園芸プロジェクト演習・実習Ⅰ (高垣・塚越)	施設園芸プロジェクト演習・実習Ⅱ (高垣・塚越)	生息工学 (田和・佐川・梅木) 対面型・オンデマンド型・同時双方向型	プロジェクトマネジメント概論 (藤家・八島)	園芸学専門日本語A (八島・高垣)オンデマンド型
	肥科学特論 (八島)オンデマンド型				

環境園芸学専攻(博士前期)

通年 集中	環境園芸技術マネジメント (櫻井・石田・藤井)	分子生物学特論 (遠藤・小笠原)オンデマンド型	施設園芸プロジェクト演習・実習Ⅲ (高垣・塚越)	施設園芸プロジェクト演習・実習Ⅳ (高垣・塚越)	園芸グローバルセミナー (華岡・菊池・加藤) 対面型・同時双方向型
	インターンシップ (大川・三島)	国際インターンシップA (高垣・霜田)	国際インターンシップB (高垣・霜田)	国際インターンシップC (高垣・霜田)	国際共同ランドスケーププロジェクト演習 (霜田・武田・章)
	園芸コンサルティング演習 (大川・久枝)対面型	園芸産学官セミナー (宮内・天知・高木) 対面型・オンデマンド型			

今年 度開 講しな い	植物環境応答制御学 (児玉・宮原・木下・笠原)	難培養微生物論 (鎌形・天知)	菌類生理生態学特論 (大和・坂本)	作物リスク管理学 (石川・坂本)	

Division of Environment and Horticulture(Master's program)

Term 4

	I 8:50~10:20	II 10:30~12:00	III 12:50~14:20	IV 14:30~16:00	V 16:10~17:40
Mon	Advanced Lecture on Plant Molecular Biology Nakamura, ㊦, E307 Advanced Biochemical Plant Pathology Usami, ㊦, ㊵, E310 Landscape Ecology Kobayashi・Umeki, ㊦, ㊵	Advanced Micrometeorology Matsuoka, ㊦, D112 Advanced Lecture on Evergreen Fruit Tree Cultivation, ㊵, Ohara Theory of Town and Country Space Planning Saito・Karasaki, ㊦	Theory of Care Design Iwasaki, ㊦, ㊵, ㊦, E307	Landscape Project Studio – B Shimoda・Yanai・Akita・Omi	Landscape Project Studio – B Shimoda・Yanai・Akita・Omi
Tue	Advanced Theory of Urban Green Space Planning and Design, Ikebe, E206	Advanced Theory of Urban Green Space Planning and Design, Ikebe, E206 Theory of Landscape Management Yanai・Akita, ㊦, ㊦, ㊵, E205	Horticultural Crop Management Ogawa, ㊦, ㊦	Scientific Approaches and Ethics for Researchers, Shishido・Matsuoka・Umeki, ㊵	Special Seminar Momohara・Furuya・Iwasaki, ㊦, ㊵, ㊦ ※Some classes: Irregular
Wed			Entrepreneurship for Horticulture Nomura, ㊵, ㊦, ㊦, E103		International Environmental Horticulture Takagaki・Jokan, ㊵
Thu	Advanced Lecture on Plant Molecular Biology Nakamura, ㊦, E307 Advanced Biochemical Plant Pathology Usami, ㊦, ㊵, E310 Landscape Ecology Kobayashi・Umeki, ㊦, ㊵	Advanced Micrometeorology Matsuoka, ㊦, D112 Advanced Lecture on Evergreen Fruit Tree Cultivation, ㊵, Ohara	Advanced Theory of Landscape Design Takeda・Zhang・Hagino, D112	Advanced Lecture on Agricultural Meteorology and Environmental Studies, Matsuoka・Goto・Hikosaka, ㊦, ㊵	
Fri		Theory of Landscape Management Yanai・Akita, ㊦, ㊦, ㊵, E205 Theory of Town and Country Space Planning Saito・Karasaki, ㊦		Scientific Approaches and Ethics for Researchers, Shishido・Matsuoka・Umeki, ㊵	

Division of Environment and Horticulture(Master's program)

Term 5

	I 8:50~10:20	II 10:30~12:00	III 12:50~14:20	IV 14:30~16:00	V 16:10~17:40
Mon	Advanced Lecture on Cultivar Groups of Ornamental Crops・Kokubun, ㊦, E102 Advanced Environmental Education Mishima, ㊦ D112		Theory of Care Design Iwasaki, ㊦, ㊵, ㊦, E307 Holistic Interactions in Biosphere Sakamoto・Amachi, ㊦ E102	Landscape Project Studio – B Shimoda・Yanai・Akita・Omi	Landscape Project Studio – B Shimoda・Yanai・Akita・Omi
Tue	Advanced Lecture on Leaf and Root Vegetable Cultivation, Yokan ㊵ Fundamentals of Engineering Ogawa, ㊵, ㊦	Plant Biogeography Momohara・Watanabe・Uehara, ㊦, ㊵ Advanced Lecture on Applied Entomology Nomura, ㊦, ㊵ Advanced Lecture on Soilless Culture Tsukagoshi, ㊵ Garden and Landscape Design Theory Takeda・Zhang, ㊦	Advanced Food Industrial Organization Ishida, ㊦, E-2F Godo Hall Advanced Theory of Horticultural Therapy Iwasaki, ㊦, ㊵ D112 Horticultural Crop Management Ogawa, ㊵, ㊦	Advanced Food Marketing Sakurai, ㊦, E-2F Godo Hall Advanced Theory of Horticultural Therapy Iwasaki, ㊦, ㊵ D112	Special Seminar Momohara・Furuya・Iwasaki, ㊦, ㊵, ㊦ ※Some classes: Irregular
Wed			Entrepreneurship for Horticulture Isoda・Nomura, ㊵, ㊦, ㊦, E103		International Environmental Horticulture Takagaki・Jokan, ㊵
Thu	Advanced Lecture on Cultivar Groups of Ornamental Crops・Kokubun, ㊦, E102 Advanced Environmental Education Mishima, ㊦ D112	Theory of Natural and Cultural Landscape Planning, Furuya・Shimoda, ㊵, ㊦	Holistic Interactions in Biosphere Sakamoto・Amachi, ㊦ Advanced Theory of Landscape Design Takeda・Zhang・Hagino, ㊵, ㊦, D112	Advanced Lecture on Agricultural Meteorology and Environmental Studies, Matsuoka・Goto・Hikosaka, ㊦, ㊵	
Fri	Advanced Lecture on Leaf and Root Vegetable Cultivation, Yokan ㊵ Fundamentals of Engineering Ogawa, ㊵, ㊦	Plant Biogeography Momohara・Watanabe・Uehara, ㊦, ㊵ Advanced Lecture on Applied Entomology Nomura, ㊦, ㊵ Advanced Lecture on Soilless Culture Tsukagoshi, ㊵ Theory of Natural and Cultural Landscape Planning, Furuya・Shimoda, ㊵, ㊦ Garden and Landscape Design Theory Takeda・Zhang, ㊦	Advanced Food Industrial Organization Ishida, ㊦, E-2F Godo Hall	Advanced Food Marketing Sakurai, ㊦, E-2F Godo Hall	

T4-T6 Intensive	Advanced Lectures on Applied Biological Chemistry C Kodama・Miyamoto・Dohi・Miyahara, ㊵ Protected Horticulture Seminar and Practice I, Takagaki・Tsukagoshi Advanced Lecture on Fertilizer Science Yashima, ㊵	Science for Phytochemical Technology Kobori(Egashira), ㊵ Protected Horticulture Seminar and Practice II, Takagaki・Tsukagoshi	Advanced Lecture on Cell biology 【Matsuura】・【Ishikawa】・【Itakura】, ㊵ Ecological Engineering Tawa・Sagawa(Umeki), ㊦, ㊵, ㊦	Advanced Lectures on Applied Biological Science, Nishida・Watanabe・Kodama・Egashira, ㊦, ㊵ Project Management Fujie(Yashima)	Genetic Science Communication Yano・Sato(Yano), ㊦ Special Japanese for Horticultural Science A Yashima・Takagaki, ㊵
--------------------	---	---	---	---	--

Division of Environment and Horticulture(Master's program)

Full

Intensive	Technology Management of Environmental Horticulture, Sakurai・Ishida・Fujiishida Internship Ohkawa・Mishima Practice on Horticultural Consulting Ohkawa・Hisaeda(Ohkawa), ㊦	Advanced Lecture on Molecular Biology 【Endo】・【Ogasawara】, ㊵ International Internship A Takagaki・Shimoda Seminar for Multidisciplinary Industrial Sciences, Miyachi(Amachi)・Takagi(Amachi), ㊦, ㊵	Protected Horticulture Seminar and Practice III, Takagaki・Tsukagoshi International Internship B Takagaki・Shimoda	Protected Horticulture Seminar and Practice IV, Takagaki・Tsukagoshi International Internship C Takagaki・Shimoda	Global Seminar on Horticulture Hanaoka・Kikuchi・Kato, ㊦, ㊦ International Landscape Project Studio Shimoda・Takeda・Zhang
-----------	--	---	---	--	--

No Class in 2022	Environmental Plant Physiology and Engineering Kodama・Miyahara・Kinoshita・Kasahara	Uncultured Microbiology Kamagata (Amachi)	Physiological Ecology of Fungi Yamato (Sakamoto)	Crop Risk Management Ishikawa・Sakamoto	
---------------------	--	--	---	---	--

㊦: Both Synchronous Learning, ㊦: Face-To-Face Learning, ㊵: Video on Demand Learning

環境園芸学専攻(博士後期)

第1ターム

	I	II	III	IV	V
	8:50～10:20	10:30～12:00	12:50～14:20	14:30～16:00	16:10～17:40
月					
火	リモートセンシング空間解析学 (本條・加藤・楊)対面型	園芸ゲノム育種学II (佐々・菊池) オンデマンド型・対面型			
		リモートセンシング空間解析学 (本條・加藤・楊)対面型			
水					
木					
金		エコデザイン論 II (木下・上田) 対面型・オンデマンド型・ 同時双方向型 西千葉			

環境園芸学専攻(博士後期)

第2ターム

	I	II	III	IV	V
	8:50～10:20	10:30～12:00	12:50～14:20	14:30～16:00	16:10～17:40
月		園芸産業論 (櫻井・渡辺均・塚越 他)オンデマンド型		応用生命化学特論A (西田・天知・江頭 他) 対面型・オンデマンド型	
		フードサイエンス (小川・平井・椎名・江頭) オンデマンド型			
		緑地基盤工学 (唐・高橋)対面型・オンデマンド型			
		環境健康学 (岩崎・三島・野田)オンデマンド型・対面			
火		園芸ゲノム育種学II (佐々・菊池) オンデマンド型・対面型			都市緑地デザイン学 (池邊・木下) オンデマンド型・同時双方向型
水	環境植栽学特論 (竹内・近江) 対面型・オンデマンド型	環境植栽学特論 (竹内・近江) 対面型・オンデマンド型			
木		園芸産業論 (櫻井・渡辺均・塚越 他) オンデマンド型			
		フードサイエンス (小川・平井・椎名・江頭) オンデマンド型			
		緑地基盤工学 (唐・高橋)対面型・オンデマンド型			
		環境健康学 (岩崎・三島・野田)オンデマンド型・対面			
金		エコデザイン論 II (木下・上田) 対面型・オンデマンド型 ・同時双方向型 西千葉		応用生命化学特論A (西田・天知・江頭 他) 対面型・オンデマンド型	都市緑地デザイン学 (池邊・木下) オンデマンド型・同時双方向型

T1-T3 集中	応用生命化学特論B (華岡・渡辺正・加川・島田)対面型・ オンデマンド型 西千葉 学際研究 棟214 農業・開発政策論 (小林(弘)・藤家・杉野) オンデマンド型	経済統計学 (栗原・丸山) 対面型 情報処理演習室 園芸植物遺伝資源保全利用 (未定)	アカデミックライティング (三吉・菊池・八島 他)対面型	生体分子計測学特論 (浦・伊藤・寺崎)	園芸学専門日本語D (八島・高垣)対面型
-------------	---	---	---------------------------------	------------------------	-------------------------

Division of Environment and Horticulture (Doctoral program)

Term 1

	I	II	III	IV	V
	8:50~10:20	10:30~12:00	12:50~14:20	14:30~16:00	16:10~17:40
Mon.					
Tue.	Remote Sensing for Spatial Analysis Honjo・Kato・【Wei】 ㊦, ㊧	Horticultural Plant Genome Breeding II Sassa・Kikuchi, ㊦, ㊧			
		Remote Sensing for Spatial Analysis Honjo・Kato・【Wei】 ㊦, ㊧			
Wed.			Entrepreneurship for Horticulture Nomura, ㊦, ㊧, ㊨, E103		
Thur.					
Fri.		Ecodesign II Kinoshita・【Ueda】 ㊦, ㊧, ㊨ Nishi-Chiba			

Division of Environment and Horticulture (Doctoral program)

Term 2

	I	II	III	IV	V
	8:50~10:20	10:30~12:00	12:50~14:20	14:30~16:00	16:10~17:40
Mon.		Horticulture Industry Sakurai・Watanabe・Tsukagoshi, ㊦		Advanced Lectures on Applied Biological Chemistry A Nishida・Amachi・Egashira, ㊦, ㊧	
		Food Science Ogawa・Hirai・Shiina・Egashira, ㊦			
		Foundation Engineering of Landscape Tang・Takahashi, ㊦, ㊧			
		Environment and Health Science Iwasaki・Mishima・Noda, ㊦, ㊧			
Tue.		Horticultural Plant Genome Breeding II Sassa・Kikuchi, ㊦, ㊧			Urban Landscape and Green Space Design Ikebe・Kinoshita, ㊦, ㊧
Wed.	Environmental landscape planting Takeuchi・Omi, ㊦, ㊧	Environmental landscape planting Takeuchi・Omi, ㊦, ㊧	Entrepreneurship for Horticulture Nomura, ㊦, ㊧, ㊨, E103		
Thur.		Horticulture Industry Sakurai・Watanabe・Tsukagoshi, ㊦			
		Food Science Ogawa・Hirai・Shiina・Egashira, ㊦			
		Foundation Engineering of Landscape Tang・Takahashi, ㊦, ㊧			
		Environment and Health Science Iwasaki・Mishima・Noda, ㊦, ㊧			
Fri.		Ecodesign II Kinoshita・【Ueda】 ㊦, ㊧, ㊨ Nishi-Chiba		Advanced Lectures on Applied Biological Chemistry A Nishida・Amachi・Egashira, ㊦, ㊧	Urban Landscape and Green Space Design Ikebe・Kinoshita, ㊦, ㊧

T1-T3 Intensive	Advanced Lectures on Applied Biological Chemistry B Hanaoka・Watanabe・Kagawa・Shimada, ㊦, ㊧ Nishi-Chiba, Gakusai-Kenkyu build.214	Statistics for Economics Kurihara・Maruyama, ㊦, D201	Academic Writing Miyoshi・Kikuchi・Yashima, ㊦	Advanced Lecture on Biomolecule Observation 【Ura】・【Ito】・【Terasaki】	Special Japanese for Horticultural Science D Yashima・Takagaki, ㊦
	Issues on Agricultural and Development Policy Kobayashi・Fujie・Sugino (Kobayashi), ㊦	Usage and conservation of plant resources for horticultural plants TBD			

㊦: Both Synchronous Learning, ㊧: Face-To-Face Learning, ㊨: Video on Demand Learning

環境園芸学専攻(博士後期)

第4ターム

	I	II	III	IV	V
	8:50～10:20	10:30～12:00	12:50～14:20	14:30～16:00	16:10～17:40
月	景観生態学 (小林達・梅木) 対面型・オンデマンド型	地域空間計画学 (斎藤雪)対面型	ケアデザイン論 (岩崎・下村)対面型・オンデマンド型・同時双方向型 E307		
火		緑地マネジメント学 (柳井・秋田)対面型・オンデマンド型・同時双方向型 E205	Horticultural Crop Management (小川 他) オンデマンド型・同時双方向型		ランドスケープ産学官セミナー (百原・古谷・岩崎 他) 対面型・オンデマンド型 ※一部不定時限開講
水			環境園芸アントレプレナーシップ (野村) 対面型・オンデマンド型・同時双方向型 E103		国際環境園芸学 (高垣・浄閑 他)オンデマンド型
木	景観生態学 (小林達・梅木) 対面型・オンデマンド型			農業気象・環境学特論 (松岡・後藤・彦坂) 対面型・オンデマンド型	
金		緑地マネジメント学 (柳井・秋田)対面型・オンデマンド型・同時双方向型 E205			
		地域空間計画学 (斎藤雪)対面型			

環境園芸学専攻(博士後期)

第5ターム

	I	II	III	IV	V
	8:50～10:20	10:30～12:00	12:50～14:20	14:30～16:00	16:10～17:40
月			ケアデザイン論 (岩崎・下村)対面型・オンデマンド型・同時双方向型 E307		
			生物圏相互作用論 (坂本・天知 他)対面型 E102		
火		庭園空間デザイン学 (武田・章)対面型	Horticultural Crop Management (小川 他) オンデマンド型・同時双方向型		ランドスケープ産学官セミナー (百原・古谷・岩崎 他) 対面型・オンデマンド型 ※一部不定時限開講
		植物地理学 (百原・渡辺洋・上原) 対面型・オンデマンド型			
水			環境園芸アントレプレナーシップ (野村) 対面型・オンデマンド型・同時双方向型 E103		国際環境園芸学 (高垣・浄閑 他)オンデマンド型
木		風景環境計画学 (古谷・霜田)オンデマンド型	生物圏相互作用論 (坂本・天知 他)オンデマンド型	農業気象・環境学特論 (松岡・後藤・彦坂) 対面型・オンデマンド型	
金		植物地理学 (百原・渡辺洋・上原) 対面型・オンデマンド型			
		風景環境計画学 (古谷・霜田)オンデマンド型			
		庭園空間デザイン学 (武田・章)対面型			

T4～T6 集中	応用生命化学特論C (児玉・宮本・土肥・宮原) オンデマンド型	ファイトケミカル・サイエンステクノロジー論 (小堀・江頭) オンデマンド型	細胞微細構造論 (松浦・石川・板倉) オンデマンド型	応用生命科学特論 (西田・渡辺正・児玉 他) 対面型・オンデマンド型	遺伝子科学コミュニケーション (矢野・佐藤) 対面型
	プロジェクトマネジメント概論 (八島・藤家)	園芸学専門日本語C (八島・高垣)			

環境園芸学専攻(博士後期)

通年

通期 集中	環境園芸技術マネジメント (藤井・石田・櫻井)対面型	園芸グローバルセミナー (華園・菊池・加藤) 対面型・同時双方向型	国際インターンシップA (高垣・霜田)	国際インターンシップB (高垣・霜田)	国際インターンシップC (高垣・霜田)
	園芸産学官セミナー (宮内・高木・天知)対面型・オンデマンド型	園芸コンサルティング演習 (大川・久枝)対面型	分子生物学特論 (遠藤・小笠原)オンデマンド型	国際園芸学演習・実習Ⅰ (高垣・塚越)	国際園芸学演習・実習Ⅱ (高垣・塚越)
	国際園芸学演習・実習Ⅲ (高垣・塚越)	環境分析化学 (渡邊未・八島)			

今年度 開講し ない	難培養微生物論 (鎌形・天知)	植物環境応答制御学 (児玉・宮原・木下・笠原)	菌類生理生態学特論 (大和・坂本)対面型	作物リスク管理学 (石川・坂本)対面型	
------------------	--------------------	----------------------------	-------------------------	------------------------	--

Division of Environment and Horticulture (Doctoral program)
Term 4

	I	II	III	IV	V
	8:50~10:20	10:30~12:00	12:50~14:20	14:30~16:00	16:10~17:40
Mon.	Landscape Ecology Kobayashi・Umeki, ㊦, ㊵	Theory of Town and Country Space Planning Saito・Karasaki, ㊦	Theory of Care Design Iwasaki, ㊦, ㊵, ㊦ E307		
Tue.		Theory of Landscape Management Yanai・Akita, ㊦, ㊦, ㊵, E205	Horticultural Crop Management Ogawa, ㊦, ㊵		Special Seminar Momohara・Furuya・Iwasaki, ㊦, ㊵, ㊦ ※Some classes: irregular
Wed.			Entrepreneurship for Horticulture Nomura, ㊵, ㊦, ㊦, E103		International Environmental Horticulture Takagaki・Jokan, ㊵
Thur.	Landscape Ecology Kobayashi・Umeki, ㊦, ㊵			Advanced lecture on Agriculture (Meteorology and Environmental Studies Matsuoka・Goto・Hikosaka, ㊦, ㊵	
Fri.		Theory of Landscape Management Yanai・Akita, ㊦, ㊦, ㊵, E205			
		Theory of Town and Country Space Planning Saito・Karasaki, ㊦			

Division of Environment and Horticulture (Doctoral program)
Term 5

	I	II	III	IV	V
	8:50~10:20	10:30~12:00	12:50~14:20	14:30~16:00	16:10~17:40
Mon.			Theory of Care Design Iwasaki, ㊦, ㊵, ㊦ E307		
			Holistic Interactions in Biosphere Sakamoto・Amachi, ㊦ E102		
Tue.		Garden and Landscape Design Theory Takeda・Zhang, ㊦	Horticultural Crop Management Ogawa, ㊦, ㊵		Special Seminar Momohara・Furuya・Iwasaki, ㊦, ㊵, ㊦ ※Some classes: irregular
		Plant Biogeography Momohara・Watanabe・Uehara, ㊵, ㊦			
Wed.			Entrepreneurship for Horticulture Nomura, ㊵, ㊦, ㊦, E103		International Environmental Horticulture Takagaki・Jokan, ㊵
Thur.		Theory of Natural and Cultural Landscape Planning, Furuya・Shimoda, ㊵, ㊦	Holistic Interactions in Biosphere Sakamoto・Amachi, ㊵	Advanced lecture on Agriculture (Meteorology and Environmental Studies Matsuoka・Goto・Hikosaka, ㊦, ㊵	
Fri.		Plant Biogeography Momohara・Watanabe・Uehara, ㊵, ㊦			
		Theory of Natural and Cultural Landscape Planning, Furuya・Shimoda, ㊵, ㊦			
		Garden and Landscape Design Theory Takeda・Zhang, ㊦			

T4-T6 Intensive	Advanced Lectures on Applied Biological Chemistry C Kodama・Miyamoto(Kodama)・Dohi・Miyahara, ㊵	Science for Phytochemical Technology Kobori(Egashira), ㊵	Advanced Lecture on Cell biology [Matsuura]・[Ishikawa]・[Itakura] ㊵	Advanced Lectures on Applied Biological Science Nishida・Watanabe・Kodama・Egashira, ㊦, ㊵	Genetic Science Communication Yano・Sato(Yano) ㊦
	Project Management Fujie (Yashima)	Special Japanese for Horticultural Science C Yashima・Takagaki			

Division of Environment and Horticulture (Doctoral program)
Full

Intensive	Technology Management of Environmental Horticulture Sakurai・Ishida・Fujii (Ishida), ㊦	Global Seminar on Horticulture Hanaoka・Kikuchi・Kato, ㊦, ㊦	International Internship A Takagaki・Shimoda	International Internship B Takagaki・Shimoda	International Internship C Takagaki・Shimoda
	Seminar for Multidisciplinary Industrial Sciences Miyauchi・Takagi (Amachi), ㊦, ㊵	Practice on Horticultural Consulting Ohkawa・Hisaeda (Ohkawa) ㊦	Advanced Lecture on Molecular Biology [Endo]・[Ogasawara] ㊵	International Horticulture Seminar and Practice I Takagaki・Tsukagoshi	International Horticulture Seminar and Practice II Takagaki・Tsukagoshi
	International Horticulture Seminar and Practice III Takagaki・Tsukagoshi	Environmental Analytical Chemistry Mirai Watanabe (Yashima)			

No. Class in 2022	Uncultured Microbiology Kamagata (Amachi)	Environmental Plant Physiology and Engineering Kodama・Miyahara・Kinoshita・Kasahara	Physiological Ecology of Fungi Yamato (Sakamoto)	Crop Risk Management Ishikawa・Sakamoto,	
----------------------	--	--	---	--	--

㊦: Both Synchronous Learning, ㊦: Face-To-Face Learning, ㊵: Video on Demand Learning

4. 園芸学研究科学位論文審査の手続き

学位（修士）論文及び研究成果の審査の手順と手続き

修士の学位論文及び研究成果（以下、学位論文等とする）の審査は、園芸学研究科学位授与の方針、園芸学研究科博士前期課程学位審査基準に基づき、次の手続きにより行われます。

なお、具体的な日程は年度によって多少の変更があるので、その年度の日程を参照してください。

日程は園芸学研究科ホームページに掲載されます。

1) 主任研究指導教員との協議

学位（修士）論文等の審査を申請するに当たっては、主任研究指導教員と協議し、その承認を受けてください。

なお、本研究科で授与する学位の専攻分野の名称は、園芸科学コースは修士（農学）または修士（学術）、ランドスケープ学コースは修士（ランドスケープ学）または修士（学術）です。

2) 審査申請用紙交付

学位（修士）論文等審査申請書はホームページからダウンロードできます。

3) 学位論文等審査の申請（3月修了は11月、9月修了は5月）

学位（修士）論文等審査申請書を、学務係に提出してください

申請に必要な書類については、「1. 提出書類」を参照してください。

4) 学位論文等の作成と審査

- ① 提出された論文等ごとに審査委員会が設置され、3名以上の審査委員が審査に当たります。
- ② 審査委員会は、公開の論文等発表会を2月中旬（9月修了では7月下旬から8月上旬）に開催し、論文等審査及び最終試験を行います。
- ③ 審査委員会は論文等が学位に値するか否かを審査します。また、学位に付記する専攻分野の名称を判定します。
- ④ 論文等は書類作成要領に基づいて作成してください。論文等の審査は1月上旬から2月上旬（9月修了では6月下旬から7月下旬）に行われます。1月上旬（9月修了では6月下旬）に論文等（審査用）を審査委員へ提出してください。審査委員への提出時期等は主任研究指導教員の指示に従ってください。また、コースや領域によっては中間発表会を行うことがあります。
- ⑤ 論文等申請者は、審査委員の指摘に基づいて論文等を修正して、論文データ等を作成してください。
- ⑥ 指定の期日までに最終論文等の提出がなかったものについては、原則として不合格として学位記を授与しません。

4 . Procedures for Master's/Doctoral Thesis Review

Steps and Procedures for Master's Thesis Review

Reviews of Master's theses and research outcomes (hereinafter referred to as "Thesis.") are conducted in accordance with the following procedures based on the Graduate School of Horticulture's Policy for the Conferment Degrees and the Degree Review Criteria for Master's program. The schedules may vary from year to year, so please refer to the schedule for the academic year in question. The schedule is posted on the Website of Graduate School of Horticulture.

1) Discussion with your Main Academic Advisor

Please discuss about your application for a review of your Master's Thesis with your main academic advisor and get his/her approval.

The conferred academic degrees are, Master of Agriculture or Master of Philosophy in Horticultural Science Course, and Master of Landscape Architecture or Master of Philosophy in Landscape Course.

2) Provision of Applications for a Review

Application forms for a Review of a Master's Thesis can be downloaded from our website.

3) Applications for a Review of a Thesis. (In November for completion in March. In May for completion in September.)

Please submit your "Application for Review of a Master's Thesis", etc. to the Academic Affairs Group.

Please refer to "1. Documents for Submission" for information on documents required for an application.

4) Preparation of Theses and Reviews

- ① A review committee is established every application; these are reviewed by three or more committee members.
- ② The review committee holds an open meeting for presentation of the thesis in mid-February (between late July and early August for completion in September), and conducts a thesis review and a final examination.
- ③ The review committee reviews the thesis to determine whether it is worthy of an academic degree or not. It also determines the nomenclature of the academic degree.
- ④ Please prepare your thesis in accordance with the "the Guidelines on the Preparation of Documents" on t. Reviews of thesis are conducted between early January and early February (between late June and late July for completion in September). The thesis (for review) must be submitted to the review committee by early January (late June for completion in September). Follow your main academic advisor's guidance regarding the timing, etc. of submissions to the review committee. Also, depending on the program or course, interim presentations may be held.
- ⑤ Applicants shall amend their theses in accordance with the review committee's instruction.
- ⑥ As a rule, the theses that are not submitted by the designated date shall be regarded as having failed, and no academic degree shall be conferred.

5) 合否判定

修士論文等審査後にコース内で合否判定を行います。

6) 修了判定

コースでの判定に基づいて教授会で修了の判定を行います。

7) 学位の授与

修了者に対する学位の授与は原則として3月と9月に行います。

8) 学位論文の閲覧・印字・引用等

学位論文は、学生本人の同意を得た上で、閲覧・印字・引用等がなされることがあります。

1. 提出書類

1. 1 学位（修士）審査の申請（（1）を学務係へ、（2）を審査委員へそれぞれ提出）

提出書類	部数	作成要領	摘要
（1）学位論文等審査申請書	1	2. 1	
（2）学位論文等（審査用）	3	2. 2	ファイル綴じでも可 ※提出媒体は審査委員に確認してください

1. 2 学位論文等の提出

提出物	部数	作成要領	摘要
学位論文等	—	2. 3	電子データにて指導教員へ提出

2. 書類作成要領

書類等の作成にはパソコンの文書作成ソフトを使用してください。

2. 1 学位論文等審査申請書（別紙様式1）

所定の用紙を使用します。ホームページよりダウンロード可能です。

主任研究指導教員（届出してある教員）の承認印を必要とします。

2. 2 学位論文等

- ① 提出する学位論文等は和文又は英文で作成することを原則とします。特別の事情によりこれによることが困難な場合は、あらかじめ主任研究指導教員より領域長、コース長を経て、研究科長の承認を得てください。
- ② 提出する学位論文等は原則としてA4版（210×297mm）に黒インクを使用し、縦位置左横書きとします。
- ③ 論文等の表紙には、論文等の題名、氏名、論文等の提出年月等を記載してください。（見本の

5) Pass/Fail Judgment

The decision on whether an applicant has passed or failed shall be determined within the course subsequent to review of the Thesis.

6) Determination of Completion

The faculty council shall determine completion of a course of study on the basis of the decision made within the course.

7) Conferment of Degree

As a rule, students completing courses of study will be awarded academic degrees in March and September.

8) Reading, Printing and Quoting

After obtaining the consent of the student who wrote the Thesis, it may be read, printed and quoted etc. by others.

1. Documents for Submission

1. 1 Applications for (Master's) reviews (to be submitted to (1)the Academic Affairs Group, (2) committee members)

Documents for Submission	No. of Copies	Preparation Guidelines	Notes
(1)Application for Review of a Thesis	1	2. 1	
(2)Thesis (for Review)	3	2. 2	Can be submitted in a file ※ Please ask the committee members if you submit (2) 's data or hard copy.

1. 2 Submission of Thesis

Submission	No. of Copies	Preparation Guidelines	Notes
Thesis	—	2. 3	To main academic advisor by electronic data

2. Guidelines on the Preparation of Documents

Please use a document preparation software on a computer to prepare documents, etc. If they are to be written by hand, please write neatly using standard style characters for Japanese text and block letters for alphanumeric text.

2. 1 Application for Review of a Thesis (Attached Form 1)

Use the designated form (This can be downloaded from our website.)

This form requires your main academic advisor's (registered faculty) seal of approval.

2. 2 Thesis

- ① As a rule, Theses must be prepared in either Japanese or English. In cases where this proves difficult due to extraordinary circumstances, please get the dean's approval beforehand via your main academic advisor, the program director and the course director.
- ② As a rule, Theses for submission shall be printed in black ink on A4 (210 x 297mm) portrait paper with

図を参照してください)。

- ④ 表紙の次には目次を付し、ページを付けてください。
- ⑤ 論文等は白色上質紙に文書作成ソフトで印字することが望まれます。
- ⑥ 論文等の構成は、1 頁目に表紙と同じもの（コースによっては提出日とコースの間に指導教員名を入れる）・論文要旨（または論文概要）1～2 頁・目次・本文などの形式とし、総 30 頁以上を目標とします。なお、片面コピーでも可とします。
- ⑦ 本文内容例としては、緒言（序論・はじめに・まえがき）、材料と方法（実験・解析）、結果（実験・解析・試作・分析）、考察（討論・検討）、結言（結論・おわりに・まとめ）、今後の課題と展望、参考文献、後付（謝辞、資料または付録等）が一般的です。

※論文内に、個人情報（戸籍・生年月日・学生証番号等）を記載しないよう願います。
（特に謝辞において、家族や友人の個人情報を記載しないでください）

○ 表紙の見本

千葉大学大学院園芸学研究科 修 士 論 文 論 文 題 名 2 0 XX 年 2 月 提 出 環境園芸学専攻 コース名 氏 名

horizontal writing.

- ③ Please write the title of the Thesis, your name and the month and year of submission on the cover of the Thesis. (please refer to the illustrated sample).
- ④ The front cover should be followed by the table of contents; please use pagination.
- ⑤ It is desirable for the Thesis to be printed on superior quality white paper using document preparation software.
- ⑥ With regard to composition and format of the Thesis, the first page should be the same as the cover (depending on the course, you may be required to include names of your academic advisors between the date of submission and the name of your course). This should be followed by 1-2 pages with the thesis summary (or abstract), the table of contents and the body of the text. The thesis should be 30 or more pages in total. Single-sided printing is acceptable.
- ⑦ As an example for thesis content, it is normal to include the following sections: an introduction or preface; materials and methods (experiments; analysis); results (experiments; mathematical analysis; trial models; analysis); discussion; conclusions and final comments; future issues for research; references; and reference materials (acknowledgements, supplementary materials or appendices).

*Please don't include any personal information (family register, date of birth, student ID number, etc.) in your paper. (Please don't include personal information about family members or friends, especially in the acknowledgments.)

○ Sample of a cover

<p>Graduate School of Horticulture Chiba University</p> <p>Master's Thesis</p> <p>Title</p> <p>February 20xx</p> <p>Division of Environment and Horticulture</p> <p>Course</p> <p>Name</p>
--

2. 3 学位論文データ等

最終学位論文等は電子データにて、指導教員へ提出してください。

- 1) PDF (PDF/A (ISO-19005)) で提出してください。
- 2) 本文電子ファイルは、表紙・目次や図表なども結合した 1 ファイルの形で提出してください。
- 3) PDF ファイルの設定について

長期的な可読性、保存、アクセシビリティ確保の観点から、以下の点を確認してください。

- ・機種あるいはベンダー依存の形式でないこと
- ・外部情報源（外部フォント等）を参照していないこと
- ・暗号化、パスワードの設定、印刷制限等を行わないこと

- 4) ファイル名について

「HA+_（アンダーバー）学生証番号」とファイル名を設定してください。

（例：HA_20HM0000）

2. 3 About the Format of the Electronic File

- 1) The dissertation will be published in PDF format, so please submit it in PDF (PDF/A (ISO-19005)).
- 2) Please submit the text in the form of a single electronic file that includes a cover page, table of contents, diagrams, etc.
- 3) About the settings for the PDF file

To ensure long-term readability, storability and accessibility, please make sure of the following.

- The font format is not dependent on a particular computer model.
(Please do not use the original font which is made by the maker and is not based official standard.)
- The file does not refer to an external information source (external font, etc.).
- No encryption, password, or printing restrictions, etc. have been set.

4) About the File Name

Please create the file name as follows.

- HA + _ (underbar) + student ID number
(Examples of file names : HA_20HM0000)

(別紙様式 1)
(Attached Form 1)

Date: 年 月 日

学位（修士）論文等審査申請書 Application for Review of Master's Thesis

千葉大学大学院園芸学研究科長 殿
To: The Dean of Chiba University Graduate School of Horticulture

千葉大学大学院園芸学研究科の博士前期課程学位（修士）に関する細則に基づき、下記学位論文等の審査及び最終試験を受けたいので申請します。

In accordance with Chiba University Graduate School of Horticulture Regulations for Master's Degrees, I hereby request a review and final examination of the thesis described below.

1. 申請者 環境園芸学専攻 _____ コース
Applicant Division of Environment and Horticulture Course: _____

(ふりがな)

____ 年度入学 学生証番号 _____ 氏名 _____ 印
Year of Enrollment Student ID No. Name Seal

2. 題名（外国語の場合は、その和訳を併記）
Title of Thesis (foreign language titles must be accompanied by a Japanese translation)

3. 概要（600字程度）
Abstract (Approx. 300 words)

4. 学位の専攻分野の名称 修士（ ）
Degree name Master of

主任研究指導教員氏名 _____ 印
Name of Main Academic Advisor Seal

学位（博士）論文審査の手順と手続き

博士の学位論文審査は、園芸学研究科学位授与の方針、園芸学研究科博士後期課程学位審査基準に基づき、次の手続きにより行われます。

なお、具体的な日程は年度によって多少の変更があるので、その年度の日程を参照してください。

日程および各種様式は園芸学研究科ホームページに掲載されます。

1) 主任研究指導教員との協議

学位論文の予備審査を申請するに当たっては、主任研究指導教員と協議し、その承認を受けてください。

なお、本研究科で授与する学位の専攻分野の名称は、園芸科学コースは博士（農学）または博士（学術）、ランドスケープ学コースは博士（ランドスケープ学）または博士（学術）です。

2) 学位論文予備審査の申請

予備審査の申請書類等は、学務係に提出してください。申請に必要な書類については、「1. 提出書類」を参照してください。

3) 学位論文予備審査

論文が学位審査に値するか否かをあらかじめ審査します。主任研究指導教員を含む4名以上の教員が審査に当たります。論文等の内容について、論文発表会を開催します。学位審査に値すると判断されたときに学位論文審査に進みます。

4) 学位論文審査の申請

学位論文審査の申請書類等は、主任研究指導教員の承認を得た後、学務係に提出してください。

申請に必要な書類等については、「1. 提出書類」を参照してください。

5) 学位論文審査

論文が学位に値するか否かを審査します。また、学位に付記する専攻分野の名称を判定します。提出された論文ごとに審査委員会が設置され、4名以上の審査委員が審査に当たります。審査委員会は、論文審査および最終試験を行い、公開の論文発表会を開催します。

6) 審査委員会の報告に基づいてコース内で合否の判定を行います。

7) 最終論文の提出

学位授与後、論文の全文を千葉大学学術成果リポジトリの利用により公表するため、学位論文の全文データ等を学務係に提出してください。詳細は、「4. 書類作成要領（最終論文提出用）」を参照してください。

Steps and Procedures for Doctoral Thesis Review

Reviews of doctoral theses are conducted in accordance with the following procedures based on the Graduate School of Horticulture's Policy for the Conferment Degrees and the Degree Review Criteria for Doctoral programs (For a degree earned by completing a doctoral program).

Schedules may differ from year to year, so please refer to the schedule for the academic year in question.

The schedule and necessary forms are posted on the Graduate School of Horticulture website.

1) Discussion with your Main Academic Advisor

Please discuss your application for a preliminary review of your thesis with your main academic advisor, and get his/her approval. The academic degree conferred are, Doctor of Philosophy(Agriculture) or Doctor of Philosophy(Philosophy) in Horticultural Science Course, and Doctor of Philosophy(Landscape Architecture) or Doctor of Philosophy(Philosophy) in Landscape Course.

2) Applications for Preliminary Thesis Review

Please submit application documents, etc. for preliminary reviews to the Academic Affairs Desk.

Refer to [1. Documents for Submission] for information on documents required for an application.

3) Preliminary Thesis Reviews

Theses are reviewed beforehand to determine whether or not they are worthy of a degree review.

Theses are reviewed by four or more faculty members, including your main academic advisor.

Meetings are held for, the presentation of the Thesis contents.

You will proceed to a thesis review once your thesis has been judged worthy of a degree review.

4) Applications for Thesis Review (January for March completion; July for September completion)

Please submit application documents, etc. for a thesis review to the Academic Affairs Desk after receiving approval from your main academic advisor.

Refer to [1. Documents for Submission] for information on documents required for an application.

5) Thesis Reviews

Theses are reviewed to determine whether or not they are worthy of a degree. The degree to be conferred is decided. A review committee is established each time a thesis is submitted, and theses are reviewed by four or more committee members. The review committee conducts the thesis review and holds an open meeting for the thesis presentation.

6) Whether or not a student passes is determined within their course based on the review committee's recommendation.

7) Submission of final thesis

Following conferment of your degree, publication will be carried out using CURATOR (Chiba University Repository for Access to Outcomes from Research). Please therefore submit the data for the entire text of your thesis to the Academic Affairs Desk. For further details please refer to "4. Guidelines on the Preparation of Documents (for Submission of Final Thesis)."

8) 教授会で修了判定を行います。

9) 修了者に対する学位の授与

学位の授与は原則として3月と9月に行います。

1. 提出書類

1. 1 予備審査の申請（各書類の1部を学務係へ、その他を主任研究指導教員へ提出）

提出書類	部数（審査委員4名の場合）	作成要領
学位論文予備審査願	1	2. 1
学位論文（予備審査用）	1 + 4	2. 2
論文目録（予備審査用）	1 + 4	2. 3
論文内容の要旨	1 + 4	2. 4
既公表論文、その他参考論文等	1 + 4	2. 5

1. 2 学位論文審査の申請（各書類の1部を学務係へ、その他を主任研究指導教員へ提出）

提出書類	部数（審査委員4名の場合）	作成要領
学位論文審査願	1	3. 1
学位論文	1 + 4	3. 2
論文目録	1 + 4	3. 3
論文内容の要旨	1 + 4	3. 4
履歴書	1 + 4	3. 5
既公表論文、その他参考論文等	1 + 4	3. 6
承諾書	1 報につき 1 部	3. 7

1. 3 最終論文の提出（学務係へ提出）

提出物	部数	作成要領
博士学位論文全文のデータ （学位論文全文を公表できない場合には、 博士学位論文要約のデータ）	CD-R 1 枚	4
博士論文のインターネット公表確認書	1 部	4

1. 4 申請に当たっての注意

提出された書類等の変更は認めません。また、提出された書類等は、原則として返却しません。
ただし、あらかじめ申出のあったときは、標本などを返却することがあります。

2. 書類作成要領（予備審査申請用）

書類等の作成にはパソコンの文書作成ソフトを使用してください。

8) Decisions on completion are made by the Faculty Council.

9) Conferment of Degrees on Students Successfully Completing their Studies.

As a rule, degrees are conferred in March and September.

1. Documents for Submission

1. 1 Applications for a preliminary review (submit 1 to the Academic Affairs Group, others to your main academic advisor)

Documents for Submission	No. of Copies (where there are four reviewers)	Preparation Guidelines #
Application for a Preliminary Thesis Review	1	2. 1
Thesis (for preliminary review)	1 + 4	2. 2
List of Papers (for preliminary review)	1 + 4	2. 3
Summary of Thesis Contents	1 + 4	2. 4
Publications and Reference Papers	1 + 4	2. 5

1. 2 Application for a thesis review (submit 1 to the Academic Affairs Group, others to your main academic advisor)

Documents for Submission	No. of Copies (where there are four reviewers)	Preparation Guidelines #
Application for a Thesis Review	1	3. 1
Thesis	1 + 4	3. 2
List of Papers	1 + 4	3. 3
Summary of Thesis Contents	1 + 4	3. 4
Curriculum Vitae	1 + 4	3. 5
Publications and Reference Papers	1 + 4	3. 6
Letter of Consent	1 copy of each	3. 7

1. 3 Submission of final thesis (submission of data to the Academic Affairs Desk)

To be submitted	Quantity	Preparation Guidelines #
The data for the entire text of the doctoral thesis (If it is not possible to publish the entire text of the thesis, submit the data for an abstract)	One CD-ROM	4
Confirmation of Internet Publication of Doctoral Dissertation	1	4

1. 4 Cautions regarding applications

Once submitted, documents, etc. cannot be changed. Moreover, as a rule, submitted documents are not returned. However, specimens, etc. may be returned provided a request is submitted beforehand.

2. Guidelines on the Preparation of Documents (applications for preliminary review)

Please use a document preparation software on a computer to prepare documents.

2. 1 学位論文予備審査願（別紙様式ー予1）

所定の用紙をホームページからダウンロードして使用します。

2. 2 学位論文（予備審査用）

- 1) 提出する学位論文（予備審査用）は和文または英文で作成することを原則とします。特別の事情によりこれによりがたい場合は、あらかじめ主任研究指導教員より領域長、コース長を経て、研究科長の承認を得てください。
- 2) 提出する学位論文は原則としてA4版（210×297mm）に黒インクを使用し、縦位置左横書きとします。
- 3) 論文は左綴じとし、表紙及び裏表紙を用いて綴じてください。ただし、予備審査用に限りファイルを綴じなくても差し支えありません。
- 4) 論文の表紙には、論文題名、氏名等を記載してください（見本の図を参照してください）。
- 5) 表紙の次には目次を付し、ページを付けてください。
- 6) 論文は白色上質紙に文書作成ソフトで印字することが望まれます。
- 7) 既公表論文は、別紙、投稿原稿または校正刷（これらのコピーでもよい）を綴じて、表紙に既公表論文である旨の表示と氏名を掲載して提出してください。印刷公表はされていないが、学会等によって掲載が決定しているものは、その通知または証明書（コピーでもよい）を、投稿原稿または校正刷のコピーの第1面に貼付してください。

<博士論文表紙・内扉の見本>

- ・内扉の上段には必ず“（千葉大学審査学位論文）”と記入
- ・提出年月は、春期修了者は7月（July）、秋期修了者は1月（January）とする。

※論文内に、個人情報（戸籍・生年月日・学生証番号等）を記載しないよう願います。

（特に謝辞において、家族や友人の個人情報を記載しないでください）

（論文表紙）

論文題名
20xx 年 1 月
※↑提出年月
千葉大学大学院園芸学研究科
環境園芸学専攻〇〇コース
氏 名

内扉（論文の最初の頁）

（千葉大学審査学位論文）
論文題名
20xx 年 1 月
※↑提出年月
千葉大学大学院園芸学研究科
環境園芸学専攻〇〇コース
氏 名

2. 1 Application for Thesis Reviews (Preliminary Form 1)

Use the designated form (this can be downloaded from our website).

2. 2 Thesis (for preliminary review)

- 1) As a rule, theses for submission (for preliminary review) must be written in Japanese or English. In cases where this proves difficult due to extraordinary circumstances, please receive the dean's approval via your main academic advisor, the program director and the course director.
- 2) As a rule, theses for submission should be printed in black ink on A4 (210 x 297mm) portrait paper with horizontal writing.
- 3) Theses should be bound on the left with a front and back cover. However, a file may be used for theses for preliminary review.
- 4) Please print the thesis title, your name, etc. on the front cover (please refer to the illustrated example).
- 5) The front cover should be followed by the table of contents; include pagination.
- 6) It is desirable for theses to be printed on superior quality white paper using document preparation software.
- 7) Bind reprints, manuscripts for submission or manuscripts for copyediting (or copies), and write your name and the fact that they are publications on the front cover and submit them. For papers that have not been published but have been accepted for publication by an academic society, etc., please affix the relevant notification or certifying document (or copy) to the first page of a copy of the manuscript for submission or the manuscripts for copyediting.

<Samples of the Front Cover and Title Page for a Doctoral Thesis>

- Always write “(Dissertation for Review by Chiba University)” on the top line on the title page (see below).
- The month of submission for students completing their studies in the Spring Semester is July and for those completing in the Fall Semester is January.

*Please don't include any personal information (family register, date of birth, student ID number, etc.) in your paper.
(Please don't include personal information about family members or friends, especially in the acknowledgments.)

(Thesis Cover)

T I T L E
January 20xx
※ ↑ Month/Year of Submission
 N A M E
 Graduate School of Horticulture
CHIBA UNIVERSITY

Title Page (First Page of the Thesis)

(千葉大学審査学位論文) ※←Japanese
T I T L E
January 20xx
※ ↑ Month/Year of Submission
 N A M E
 Graduate School of Horticulture
CHIBA UNIVERSITY

2. 3 論文目録（予備審査用）（別紙様式－2）

所定の用紙をホームページからダウンロードして使用します。

報告番号欄には、記入しないでください。

1) 学位論文の題名

提出する学位論文（予備審査用）の題名と一致していることを確認してください。

副題があるものは、それも記載してください。外国語の題名は、和訳を記載してください。

2) 既公表論文

学位論文のテーマに即した範囲内の既公表論文（審査機関のあるものに印刷公表）を記入してください。投稿した論文が、審査を受けて、「掲載可」の通知を受けたものは、既公表論文と同等と認めますが、単に受け付けられただけのものは認められません。記入した論文については、別刷を提出してください。

3) 未公表部分の公表方法及び時期

学位論文は全体が公表されることが前提です。学位論文の中で、既公表論文に掲載した内容を外に公表していない部分が残っていれば、その公表方法と時期を示してください。この場合既公表部分と合わせて公表あるいは学位論文全体を公表する方法でも差し支えありません。

4) その他参考論文

論文提出者の判断に基づき、学位論文（既公表論文を含む）以外の論文を記入してください。記入した論文については、別刷を提出してください。学位論文に副論文がある場合には、「副論文」と明記して論文題名を示してください。標本等を提出する場合には、この欄に記載の上、返却の希望の有無を記入してください。

2. 4 論文内容の要旨（予備審査用）（別紙様式－3）

所定の用紙をホームページからダウンロードして使用します。

論文要旨は和文横書で 600 字（英語の場合は 300 字）程度にまとめてください。

2. 5 その他参考論文等

1) 参考論文の別刷、投稿原稿または校正刷をまとめ、参考論文である旨の表示をして提出してください（コピー可）。内容が 2 編以上の場合には、綴じて提出してください。

2) 学位論文と別系統の研究に関する論文を、審査の参考として提出することができます。このような論文を副論文といいます。副論文は、学位論文（予備審査用）に準じて作成し、別綴にしますが、印刷公表された論文の別刷またはコピーを提出しても差し支えありません。副論文には表紙を付け、副論文題名、申請者の所属、氏名を記載してください。なお、印刷公表した論文については、その論文が掲載された雑誌名、巻、号、頁、発行年および著者名（共著者を含む）を表紙に記載してください。

2. 3 List of Papers (for Preliminary Review) (Attached Form 2)

Use the designated form (this can be downloaded from our website).

Do not write anything in the space provided for “Report No.”.

1) Thesis Title

Ensure this is the same as the title of the thesis for submission (for preliminary review).

Write the subtitle, if there is one. Foreign language titles should be accompanied by a Japanese translation.

2) Publications

List publications relevant to the theme of the thesis (papers published in refereed journals). Papers that have been submitted and accepted for publication subsequent to review are recognized as equivalent to publications, but papers that have simply been accepted as a submission are not eligible. Please submit reprints for papers listed.

3) Method and Date of Publication for Unpublished Work

It is assumed that theses will be published in their entirety. If undisclosed content remains after the content of previous publications is accounted for, please indicate the method and date of its publication. The undisclosed content can be published in the future together with previously published content.

4) Other Reference Papers

Papers other than the thesis (including publications) should be listed as such at the discretion of the applicant submitting them. Please submit reprints for listed papers.

When submitting supporting papers for your thesis, please write the title of the paper and ensure it is clearly marked “Supporting Paper”.

When submitting specimens, etc., in addition to filling in this space, please indicate whether you wish to have them returned or not.

2. 4 Summary of Thesis Contents (for Preliminary Review) (Attached Form 3)

Use the designated form (this can be downloaded from our website).

Please summarize your thesis in approximately 300 words.

2. 5 Other Reference Papers, Etc.

1) Assemble reprints, manuscripts for submission or manuscripts for copyediting of reference papers and submit them in a manner that indicates they are reference papers (copies are acceptable). When the content is divided between two or more papers, please fasten them together for submission.

2) Papers pertaining to a different line of research than the thesis may be submitted as a reference for the review. Such papers are referred to as supporting papers. Supporting papers should be prepared in the same way as theses (for preliminary review) and bound separately, published material are acceptable. Supporting papers should have a front cover with the paper’s title, and the applicant’s name and affiliation written on it. The front cover for papers that have been published should also include the name, volume, number, page and date of publication of the journal in which it was published and the name of the author (including co-authors).

- 3) 標本等の提出数は規定しませんが、提出に当たっては、あらかじめ学務係に照会し、承認を得てください。なお、提出の際には、できるだけ詳細な目録を添付してください。

3. 書類作成要領（学位論文審査申請用）

書類作成に当たっての一般的な注意は、2.書類作成要領（予備審査申請用）と同じです。

3. 1 学位論文審査願（別紙様式－1）

所定の用紙をホームページからダウンロードして使用します。

主任研究指導教員（届出してある教員）の承認印を必要とします。

3. 2 学位論文

- 1) 提出する学位論文は和文または英文で作成することを原則とします。特別の事情によりこれ以外で作成する場合は、予備審査申請以前に研究科長の承認を得たものに限りします。
- 2) 提出する学位論文は原則として、A 4 版（210×297mm）に黒インクを使用し、縦位置左横書きとします。
- 3) 論文は左綴じとし、簡易製本により製本してください。
- 4) 表紙の次には内扉と目次を付し、ページを付けてください。
- 5) 論文は白色上質紙に文書作成ソフトで印字することが望まれます。
- 6) 既公表論文の提出は、予備審査時の提出方法に準じます。

3. 3 論文目録（別紙様式－2）

予備審査用の論文目録（2.3）の要領に同じです。

なお、予備審査申請後に変更があった事項については変更後のものを記載してください。

3. 4 論文内容の要旨（別紙様式－3）

予備審査用の論文内容の要旨（2.4）の要領に同じです。

3. 5 履歴書（別紙様式－4）

- 1) 所定の用紙をホームページからダウンロードして使用します。
- 2) 氏名は、戸籍に記載されているところに従い記入し、ふりがなを付し、押印またはサインをしてください。
- 3) 外国人は、本籍欄に国名を略さずに記入してください。
- 4) 生年月日は、日本人の場合は元号で、外国人の場合は西暦で記入してください。
- 5) 現住所は、アパート名・室番まで詳しく記載してください。
- 6) 履歴事項には、学歴と職歴を区分し、年次を追って記載してください。
- 7) 学歴は、高等学校卒業から本研究科修了見込みまで、学部・学科・研究科と、その入学、卒業、修了等の時期が明らかになるように記載してください。
- 8) 職歴は、勤務先、配属先、職種等を記載し、現職については、行末に「（現在に至る）」と付記してください。
- 9) 記載事項が多く、枠内に入りきらない場合には、その部分を別紙に記載し、合わせて綴じてください。

- 3) There are no rules on the number of specimens, etc. to be submitted, but please consult the Academic Affairs Desk about what you will submit beforehand and get their approval. Please attach a very detailed list of what you are submitting.

3. Guidelines on the Preparation of Documents (for applications for thesis review)

General cautions regarding the preparation of documents are the same as for 2. Guidelines on the Preparation of Documents (for applications for preliminary review)

3. 1 Application for a Thesis Review (Attached Form 1)

Use the designated form (this can be downloaded from our website).

This form requires your main academic advisor's (registered faculty) seal of approval.

3. 2 Thesis

- 1) As a rule, theses must be prepared in either Japanese or English. Applicants wishing to prepare their thesis in another language due to extraordinary circumstances may only do so if they have received the dean's approval prior to applying for preliminary review.
- 2) As a rule, theses for submission shall be printed in black ink on A4 (210 x 297mm) portrait paper with horizontal writing.
- 3) Theses should be bound on the left together with a soft cover.
- 4) The front cover should be followed by the title page and the table of contents; including pagination.
- 5) It is desirable for theses to be printed typed on superior quality white paper.
- 6) Submission of publications is the same as for preliminary review.

3. 3 List of Papers (Attached Form 2)

The same guidelines as those for the list of papers for preliminary review (2.3) apply.

If anything was changed after applying for preliminary review, please specify.

3. 4 Summary of the Thesis Contents (Attached Form 3)

The same guidelines as those for preliminary review (2.4) apply.

3. 5 Curriculum Vitae (Attached Form 4)

- 1) Used the designated form (this can be downloaded from our website).
- 2) Write your name as it appears on your family register, write the furigana reading for it, and either sign or set your seal on it.
- 3) Foreign citizens should write their country name in full in the space provided for domicile.
- 4) For the date of birth, Japanese citizens should use the era name and foreign citizens should use the western calendar.
- 5) Write your current address in full (e.g. include your apartment name and number).
- 6) Divide your personal history into two sections: academic history and work history, and list chronologically.
- 7) When writing your academic history, please list your academic history starting with high school. Specify enrollment date, graduation date, including faculty department and graduate school.

い。

- 10) 履歴書は正本1部（押印をする）と、副本4部の提出を要しますが、副本は、正本を同じ大きさの白色上質紙にコピーしたものでも差し支えありません。

3. 6 その他参考論文

参考論文および副論文の作成は、予備審査用のものに準じます。

標本等の提出数は規定しませんが、提出に当たっては、あらかじめ学務係に照会し承認を得てください。提出の際にはできるだけ詳細な目録を添付してください。

3. 7 承諾書（別紙様式－5）

所定の用紙をホームページからダウンロードして使用します。

学位論文の基礎となっている既公表論文（印刷公表が確実になっているものを含む）の著者が複数の場合には、その論文を学位申請者の提出論文の一部または全部として使用することについて、他の著者の承諾を得ることが必要です。この場合は、共著者全員の署名押印を得た承諾書を提出してください。承諾書は、論文1報ごとに（1題目で複数の報告がある場合はそれぞれの報告ごとに）1部を必要とします。

4. 書類作成要領（最終論文提出用）

学位規則（昭和二十八年四月一日文部省令第九号）では、博士の学位を授与された者は、博士の学位を授与した大学（または独立行政法人・学位授与機構）の協力を得て、当該博士の学位の授与に係る論文の全文をインターネットの利用により公表することが義務付けられています。

本学においては、千葉大学学術成果リポジトリの利用により公表いたしますので、「博士論文のインターネット公表確認書（様式1）」に必要事項を記入のうえ、「学位論文の全文のデータ」とともに各研究科（学府）の学務担当に提出してください。

また、博士の学位を授与された日から1年を超えて論文の全文の公表が出来ないやむを得ない事由があり、所属研究科（学府）において承認を受けた者は、学位論文の全文に代えて要約を公表することが出来ます。やむを得ない事由については、千葉大学HP上にてご案内しています。

公表開始日を「未定」として要約を公表した場合、やむを得ない事由が解消したら速やかに「博士論文のインターネット公表に係る報告書（様式2）」を学位の審査を受けた研究科（学府）に提出してください。

なお、インターネット公表に際し必要な権利確認等は、学位授与申請者自身で行っていただきます。

4. 1 博士学位論文全文のデータ作成

- 1) PDF形式で公開しますので、PDF（PDF/A（ISO-19005））で提出してください。
- 2) 本文電子ファイルは、表紙・目次や図表なども結合した1ファイルの形で提出してください。
- 3) PDFファイルの設定について

長期的な可読性、保存、アクセシビリティ確保の観点から、以下の点を確認してください。

- ・機種あるいはベンダー依存の形式でないこと
- ・外部情報源（外部フォント等）を参照していないこと
- ・暗号化、パスワードの設定、印刷制限等を行わないこと

- 8) For work history, please write your employer, where you worked, your job title, etc., and write “(to date)” at the end of the line for your current job.
- 9) If all of your information cannot fit on the designated form, please write the remaining information on a separate piece of paper and fasten them together.
- 10) One original (with your seal) and four duplicates of your curriculum vitae are required. The duplicate can be a copy of the original made on superior quality white paper of the same size.

3. 6 Other Reference Papers

Preparation of reference papers and supporting papers shall be the same as for preliminary reviews.

There are no rules on the number of specimens, etc. to be submitted, but please consult the Academic Affairs Desk about what you will submit beforehand and get their approval.

Please attach a very detailed list of what you are submitting.

3. 7 Letter of Consent (Attached Form 5)

Use the designated form (this can be downloaded from our website).

When a publication forming the basis of the thesis (including papers that have been accepted for publication) has multiple authors, you need the consent of the authors if it is to be used in (partial) fulfillment of your Doctoral Thesis. In such cases, please submit a Letter of Consent with the names and seals of all co-authors.

A Letter of Consent is needed for each paper (when a number of reports have the same title, a Letter of Consent is needed for each report).

4. Guidelines on the Preparation of Documents (for Submission of Final Thesis)

The Academic Degree Regulations (Ministry of Education Ordinance No. 9 of April 1, 1953) allow for individuals who have received a doctoral degree to obtain the cooperation of a university (or the National Institution for Academic Degrees and University Evaluation) and publish the entire text of the dissertation related to the degree by using the Internet.

At this university, publication is carried out using CURATOR (Chiba University Repository for Access to Outcomes from Research). Therefore, please fill in the necessary information on **Confirmation of Internet Publication of Doctoral Dissertation (Form 1)** and then submit this form, together with the data for the entire text of the doctoral dissertation, to the student affairs desk of the relevant graduate school.

Moreover, if there is a reason that makes it impossible to publish the entire text of the dissertation within one year from the day the degree was granted, the individual may, upon receiving approval from the graduate school to which he or she belongs, publish an abstract of the dissertation rather than the entire text. Information about such reasons is available on the Chiba University website.

If you designate the start date for publication as “Undetermined” and publish an abstract, then, when the reason that made publishing the entire text impossible ceases to exist, please promptly submit **Report Related to Internet Publication of Doctoral Dissertation (Form 2)** to the graduate school in which the dissertation was reviewed.

Moreover, applicants for a degree will be responsible for checking on rights and taking the other steps necessary at the time of Internet publication.

4) ファイル名について

「HA+_（アンダーバー）学生証番号」とファイル名を設定してください。

例) HA_20HD1234

※要約の公表を希望する場合、要約のファイル名の末尾に「_（アンダーバー）+Y」を記入してください。

例) HA_20HD1234_Y

4. 2 その他

千葉大学HPに、千葉大学学術成果リポジトリへの学位論文登録する際のQ & Aなどの情報が掲載されています。http://www.chiba-u.ac.jp/education_research/index.html

4. 3 CD-R 盤面の記入例



※論文内に、個人情報（戸籍・生年月日・学生証番号等）を記載しないよう願います。

（特に謝辞において、家族や友人の個人情報を記載しないでください）

4. 1 About the Format of the Electronic File

- 1) The dissertation will be published in PDF format, so please submit it in PDF (PDF/A (ISO-19005)).
- 2) Please submit the text in the form of a single electronic file that includes a cover page, table of contents, diagrams, etc.
- 3) About the settings for the PDF file

To ensure long-term readability, storability and accessibility, please make sure of the following.

- The font format is not dependent on a particular computer model.
(Please do not use the original font which is made by the maker and is not based official standard.)
- The file does not refer to an external information source (external font, etc.).
- No encryption, password, or printing restrictions, etc. have been set.

4) About the File Name

Please create the file name as follows.

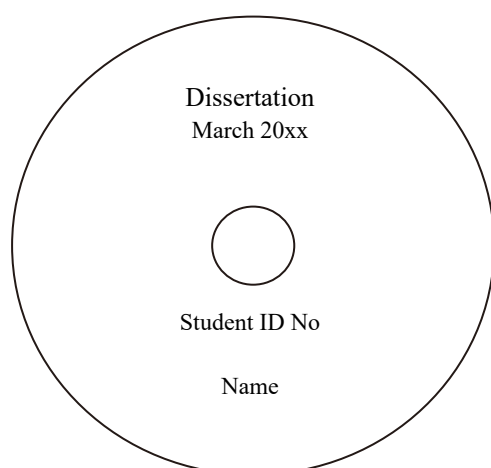
- HA + _ (underbar) + student ID number
(Examples of file names : HA_20HD1234)

- * If you wish to publish an abstract, at the end of the file name enter _ (underbar) + Y.
(Examples of file names : HA_20HD1234_Y)

4. 2 Miscellaneous

FAQs and other information useful when registering your dissertation in CURATOR are provided on the Chiba University website. (http://www.chiba-u.ac.jp/education_research/index.html)

4.. 3 Example of entries on a CD-R



※Please do not describe personal information (family register, birthday, student ID number) in your thesis.
(In particular, please do not describe your family and friends personal information in acknowledgments.)

(別紙様式一予1)
(Preliminary Form 1)

年 月 日
Date : _____

大学院園芸学研究科

To: The Main Academic Advisor,

主任研究指導教員 殿

The Graduate School of Horticulture,

大学院園芸学研究科

The Graduate School of Horticulture

環境園芸学専攻 コース

Division of Environment and Horticulture
Course: _____

氏名 印

Name

学位論文予備審査願 Application for Preliminary Review of a Thesis

学位申請論文の予備審査のため、下記の論文及び関係書類を添えて提出しますので、予備審査をお願いします。

I hereby submit the following thesis, together with related documents, and request a preliminary review.

記

学位論文予備審査願	1 部
Application for Preliminary Review of a Thesis	1 Copy
学位論文（予備審査用）	4 部
Thesis (for preliminary review)	4 Copies
論文目録（予備審査用）	4 部
List of Papers (for preliminary review)	4 Copies
論文内容の要旨	4 部
Summary of Thesis	4 Copies
その他参考論文等	4 部
Other Reference Papers	4 Copies

(別紙様式－１)
(Attached Form 1)

年 月 日
Date: _____

大学院園芸学研究科長 殿
To: The Dean of the Graduate School of Horticulture

大学院園芸学研究科
The Graduate School of Horticulture
環境園芸学専攻 コース
Division of Environment and Horticulture
Course: _____
氏名 印
Name

学 位 論 文 審 査 願
Application for a Thesis Review

千葉大学大学院園芸学研究科の博士後期課程学位（博士）に関する細則第２条の規定に基づき、下記の論文及び関係書類を添えて提出しますので、博士（ ）の審査をお願いします。
In accordance with Article 2 of the Chiba University Graduate School of Horticulture Regulations for Doctor's Degrees, I hereby submit the following thesis, together with related documents, and request a review for the degree of Doctor of ().

記

学位論文	5 部
Thesis	5 Copies
論文目録	5 部
List of Papers	5 Copies
論文内容の要旨	5 部
Summary of Thesis	5 Copies
履歴書	5 部
Curriculum Vitae	5 Copies
その他参考論文等	各 5 部
Other Reference Papers, Etc.	5 Copies of Each
承諾書	1 報につき 1 部
Letter of Consent	1 Copy of Each

主任研究指導教員承諾印
Main Academic Advisor's Seal of Consent
氏名 印
Name Seal

(別紙様式－ 2)

(Attached Form 2)

論文目録

List of Papers

No. 1

報告番号 Report No.	千大院園博甲第 Chiba University Graduate School Doctoral Thesis No.	氏 名 Name	
<p>1. 学位論文 Thesis</p> <p>1) 題名 Title</p> <p>2) 既公表論文（著者名：論文名，発表誌，巻，号，頁，発表年月） Publications (Author(s): Title, Journal, Volume, Number, Page, Month/Year of Publication)</p> <p>3) 未公表部分の公開方法及び時期 Method and date of future publications of unpublished parts. 方法 Method 時期 Date</p> <p>2. 参考論文（著者名：論文名，発表誌，巻，号，頁，発表年月） Reference Papers (Author(s): Title, Journal, Volume, Number, Page, Month/Year of Publication)</p>			

(別紙様式－３)
(Attached Form 3)

年 月 日
Date: _____

学位（博士）論文内容の要旨 Summary of Thesis

1. 論文申請者 環境園芸学専攻 _____ コース
Thesis Applicant Division of Environment and Horticulture Course : _____
(ふりがな)
_____ 年度入学 学生証番号 _____ 氏 名 _____
Year of Enrollment Student ID No. Name
2. 論文題名（外国語の場合は、その和訳を併記）
Title of Thesis (foreign language titles must be accompanied by a Japanese translation)
3. 論文概要（６００字程度）
Abstract (Approx. 300 words)

4. 学位に付記する専攻分野の名称 博士（ ）
Degree Name Doctor of

主任研究指導教員氏名 _____
Name of Main Academic Advisor

(別紙様式－４)
(Attached Form 4)

履 歴 書
Curriculum Vitae

ふりがな 氏 名 Name		印 Seal	男 Male ・ 女 Female	本 籍 (都道府県名のみ記入) (外国籍の場合は国籍) Domicile (Nationality for foreign citizens)	
年 月 日生 (満 歳) Date of Birth: (Age:)					
現住所 Current Address	〒 Tel E-Mail @				
	年 Year	月 Month	事項 (学歴と職歴を区分して記入) Divide your personal history into two sections: academic history and work history		

(別紙様式－５)
(Attached Form 5)

承 諾 書
Letter of Consent

論文題名
Title of Thesis

発表の方法及び時期
Date & Method of Publication

発表年月日 年 月 日
Date of Publication (Month / Day / Year)

発表誌名
Journal Name

巻、号 第 巻 第 号
Volume and Number Volume: Number:

頁 頁～ 頁掲載
Pages From Page ~ Page

著者名
Author's Name(s)

上記の論文を_____の学位申請の主論文として提出することに異議は
ありません。

I have no objection to submission of the abovementioned paper as the main thesis for the degree
application to be submitted by _____.

年 月 日
Date

氏名
Name

印
Seal/Signature

印

印

印

印

5. 各種手続き等について

「園芸学研究科」の各種手続きは「松戸地区事務部（園芸学部）学務係」が取り扱います。

諸手続きには、規定等で定められているものとその都度掲示により指示するものがあります。

主な諸手続きは以下の通りです。

1) 授業料の納入について

本学の授業料納入は、「口座振替（代行納付）制度」（銀行口座からの引き落とし）を実施しています。

2) 諸証明書の発行について（学務係）

証明書は、オンラインで申請する証明書発行サービスを利用し、学内発行（無料）・学外発行（有料）ができます。修了見込証明書は最終年次のみ発行可能です。

詳細は学生ポータル→証明書発行をご覧ください。<https://cert.gs.chiba-u.jp/student>

証明書発行サービスにて申請できない特別証明書については学務係にご相談ください。

https://www.h.chiba-u.jp/campus_life/class_course/syllabus/index.html

3) 各種届出及び願出について

学生カード	}	4月の指定日（10月入学の場合は10月の指定日）までにすみやかに
研究指導計画書・履修計画書		
入学前の既修得単位認定申請書		
他大学院における研究指導願	}	学務係 (随時受付)
休学願		
休学期間延長願		
復学願		
退学願		
本人現住所・保証人現住所・本籍・改姓・保証人変更届	}	学生支援・国際係担当 (随時受付)
学生証再発行願		
学校学生生徒旅客運賃割引証	}	証明書発行サービスにて学内発行

5 . Administrative Procedures

The “Faculty of Horticulture Academic Affairs Group” handles administrative procedures for the Graduate School of Horticulture.

Administrative procedures comprise those provided for in regulations, etc. and those that are specified by posting a notice as needed.

The main academic procedures are as below:

1) Payment of Tuition

University tuition is paid via a “Bank Transfer (proxy payment) System” (automatic bank account debit).

2) Issuance of various certificates (Academic Affairs Group)

Students have to apply for the necessary certificate online and output from an issuing machine on campus (free) or output from convenience stores (charged). For the details, please refer to <https://cert.gs.chiba-u.jp/>

“Certificate of Expected Completion” can be issued only in the final grade.

For further assistance, please ask Academic Affairs Group.

3) Notifications and Requests

Report on Student Information	}	by designated day in April (in October for enrollment in October). Promptly.
Research Guidance Plan and Research plan		
Application for Recognition of Credits Earned Prior to Enrollment		
Request for Research Guidance at another Graduate School	}	Apply to Academic Affairs Group (Accepted in weekdays)
Request for a Leave of Absence		
Request for Extension of Leave of Absence		
Request for Permission to Resume Studies		
Request to Withdraw from the Graduate School		
Notification of Changes in a Student’s Current Address/ Guarantor’s Current Address/Domicile/Family Name/Guarantor	}	Student Affairs (Accepted in weekdays)
Request for a Reissue of a Student ID Card		
Student Discount Travel Card		Automatic Issuing Machine

休学

病気その他の事由により2ヶ月以上修学することができない場合は、学長に願い出て、その許可を受けて休学することができます（事由が病気である場合には、医師の診断書を付してください）。

休学の期間は、通算して、博士前期課程は2年を、博士後期課程は3年を超えることができません。

休学の期間は、最長在学年限に算入しません。

休学期間が満了し、又は休学期間中にその事由が消滅したことにより復学しようとする学生は、学長の許可を受けて復学することができます（事由が病気である場合には、治癒した旨の医師の診断書が必要です）。

休学をしようとする場合には、できるだけ早めに学務係及び指導教員に相談してください。

退学

退学しようとする者は学長に願い出て、その許可を受けなければなりません。退学しなければならないことになった場合は、指導教員と相談のうえ、できるだけ早く学務係に申し出てください。なお、退学を願い出た学期の授業料は納付済みでなければなりませんので、学期の始まる前に願い出をするよう、早めに学務係に相談してください。

4) 早期修了制度

優れた業績をあげた者で、所定の条件を満たしている場合には、1年以上の在学をもって本研究科博士前期課程又は博士後期課程を早期修了することができます。早期修了を希望する者は、指導教員に相談してください。

5) 長期履修学生制度

職業を有している等の事情で、通常の学生よりも1年間又は1学期間に修得可能な単位数や研究指導を受ける時間が制限されるため、大学院博士前期課程の標準修業年限である2年間又は大学院博士後期課程の標準修業年限である3年間を超えた在学をしなければ課程を修了することができないと考える者は、長期履修学生の申請をし、その審査を受けることができます。長期履修を希望する者は、指導教員に相談してください。

6) 昼夜開講制

本研究科では、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間に、授業又は研究指導を行い、単位の修得を認めることがあります。昼夜開講制を希望する場合は、指導教員、授業担当教員と相談の上、学務係に申し出てください。

7) 園芸学分野の単位互換について

在学中に単位互換協定を締結している他の大学の大学院において修得した単位については、本研究科の単位として申請することができます。

8) 6大学大学院間の単位互換について

教育・研究等の特色を尊重し、相互の交流と協力を推進することにより、教育課程の充実を図ることを目的として、下記の6大学大学院間の単位互換協定が結ばれています。この協定に基づいて、他の大学院の授業科目を履修し、単位の修得を希望するときは、受入大学院の研究科長は当該学生を受入れることができま

Leave of Absence

Students who are unable to engage in study for a period of two months or more due to illness or some other reason can submit a request to the University President and may receive permission for a leave of absence (please attach a medical certificate when the reason is illness).

The total period of leaves of absence cannot exceed two years for a Master's Course or three years for a Doctoral Course.

The period of leaves of absence is not included in the maximum period of enrollment.

Students wishing to resume their studies upon completion of a leave of absence, or during a leave of absence when the reason for it no longer applies, may do so upon receiving permission from the University President (when the reason was illness, a medical certificate from a doctor is necessary).

When considering a leave of absence, please consult the Academic Affairs Group and your academic advisors as soon as possible.

Withdrawal from the Graduate School

Students wishing to withdraw from the Graduate School must submit a request to the University President and receive permission to do so. Please consult your academic advisors and notify the Academic Affairs Group as soon as possible before the next semester begins when you have to do it. Please note that the tuition for the last semester of your enrollment must be paid.

4) Early Completion System

Students who achieve outstanding grades and meet all specified requirements may complete their studies on a Master's Program or a Doctoral Program in the Graduate School early after a period of enrollment of one or more years. Students wishing to complete their studies early should consult their academic advisors.

5) Long-term Student System

Students with jobs or other circumstances that lead them to believe they cannot complete the necessary courses within the standard two-year limit on the period of study for a Master's Program or the standard three-year limit on the period of study for a Doctoral Program in the Graduate School may apply for the long-term student system and submit to screening. Students wishing to benefit from the long-term student system should consult their academic advisors.

6) Day and Evening Course System

The Graduate School, in cases deemed especially necessary for the purpose of education, may offer classes and research guidance in the evening or at other specified times, and recognize the attainment of credits. Students wishing to make use of the day and evening course system should consult with their academic advisors and the faculty responsible for the course, and apply to the Academic Affairs Group.

7) Credit Transfers in Horticultural Fields

Students can transfer credits from the universities which have Credit Transfer Agreement with Chiba University when you get the credits during enrollment in Chiba University.

8) About the Credit Transfer Agreement between Graduate Schools of 6 Universities

Graduate schools of the six universities mentioned below have concluded a credit transfer agreement for purposes of expanding their curricula by respecting the characteristics of each other's education and research and promoting mutual exchanges and cooperation. Based on this agreement, when a student wishes to take a course at another graduate school

す。詳細については園芸学部学務係に問い合わせてください。

千葉大学大学院園芸学研究科，千葉大学大学院融合理工学府，新潟大学大学院自然科学研究科，金沢大学大学院自然科学研究科，岡山大学大学院自然科学研究科，岡山大学大学院環境生命科学研究科，長崎大学大学院生産科学研究科，長崎大学大学院工学研究科，長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科，熊本大学大学院自然科学研究科

9) 科目等履修生制度

科目等履修生の入学時期は4月と10月の年2回となります。

本研究科学生が園芸学部の科目等履修生として入学する場合、検定料、入学料及び授業料は徴収されません。

and obtain credit, the dean of that graduate school may accept the student. For details, please contact the Academic Affairs Group.

Chiba University Graduate School of Horticulture, Chiba University Graduate School of Science and Engineering, Niigata University Graduate School of Science and Technology, Kanazawa University Graduate School of Natural Science & Technology, Okayama University Graduate School of Natural Science and Technology, Okayama University Graduate School of Environmental & Life Science, Nagasaki University Graduate School of Science and Technology, Nagasaki University Graduate School of Engineering, Nagasaki University Graduate School of Fisheries Science and Environmental Studies, Kumamoto University Graduate School of Science and Technology

9) Specially Registered Non-degree Student System

Entrance period is in April or October.

Examination, enrollment and tuition fees shall not be collected from students in the Graduate School enrolling in the Faculty of Horticulture as Specially Registered Non-degree Students.

6. 千葉大学大学院園芸学研究科規程

千葉大学大学院園芸学研究科規程

(趣旨)

第1条 この規程は、千葉大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第55条の規定に基づき、千葉大学大学院園芸学研究科（以下「本研究科」という。）に関し必要な事項を定める。

(課程)

第2条 本研究科の課程は、博士課程とする。

2 博士課程は、前期2年の課程（以下「博士前期課程」という。）及び後期3年の課程（以下「博士後期課程」という。）に区分し、博士前期課程は、これを修士課程として取り扱うものとする。

(研究科の目的)

第3条 本研究科は、園芸学に関わる研究を自立して行い、また社会の多様な課題に応えうる、広く深い学識、実践力、倫理観をもった人材の育成を目的とする。

2 博士前期課程は、専攻分野の学識を深化させ、高度の専門性を要する職業に必要とされる広範な知識と幅広い分野における応用力を伴った高い技術力、研究能力を養うことを目的とする。

3 博士後期課程は、専攻分野の更に深い学識の蓄積と、学際的・総合的視野を涵養し、研究者あるいは研究・行政等の組織統括者として自立した研究活動や組織マネジメントを行うに必要な高い能力と倫理観を兼ね備えた人材の育成を目的とする。

(専攻及び入学定員等)

第4条 本研究科に置く専攻、入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

専攻	コース	博士前期課程		博士後期課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
環境園芸学	園芸科学	105	210	18	54
	ランドスケープ学				

6 . Regulations for the Chiba University Graduate School of Horticulture

Regulations for the Chiba University Graduate School of Horticulture

Article 1 (Purpose)

These regulations, based on the provisions of Article 55 of the Rules for Chiba University Graduate Schools (hereinafter referred to as the “Rules”), stipulate necessary matters pertaining to Chiba University Graduate School of Horticulture (hereinafter referred to as the “Graduate School”).

Article 2 (Programs)

1. The Graduate School’s program shall be a 5-year graduate program.
2. The graduate program shall be divided into a first stage 2-year program (hereinafter referred to as the “Master’s Course”) and a second stage 3-year program (hereinafter referred to as the “Doctoral Course”). The Master’s Course shall be handled as an independent program.

Article 3 (Purpose of the Graduate School)

1. The Graduate School aims to foster students with a deep, wide-ranging knowledge, the ability to put things into practice and a sense of ethics who are capable of engaging in independent research pertaining to horticulture and addressing diverse social issues.
2. Master’s Courses aim to deepen knowledge in specialized fields, and nurture a high level of technical skill and the research capabilities associated with the ability to apply wide-ranging knowledge in a broad range of fields, an essential skill for jobs requiring high levels of expertise.
3. Doctoral Programs aim to impart even more specialized knowledge, to cultivate interdisciplinary and integrated perspectives, and to foster students with the advanced capabilities and ethics required to engage in institutional management or independent research activities as a researcher or administrative coordinator.

Article 4 (Divisions, Enrollment Capacities, Etc.)

The Graduate School’s divisions and enrollment capacities are as shown in the following table.

Division	Course of study	Master’s Program		Doctoral Program	
		1st-year enrollment capacity	Total enrollment capacity	1st-year enrollment capacity	Total enrollment capacity
Environment and Horticulture	Horticultural Science	1 0 5	2 1 0	1 8	5 4
	Landscape				

(転科)

第5条 千葉大学大学院に在学する者で、本研究科に転科を志願する者があるときは、選考のうえ許可することがある。

- 2 本研究科に在学する学生が、千葉大学大学院の他の研究科（学府を含む。以下同じ。）に転科を志願するときは、事由を具して研究科長に願い出て、その許可を得なければならない。

(教育課程及び履修方法)

第6条 本研究科の教育は、授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）によって行う。

- 2 授業科目、単位数及び履修方法等については、千葉大学大学院園芸学研究科履修要項の定めるところによる。
- 3 前項に規定する千葉大学大学院園芸学研究科履修要項は、各年度ごとに作成し、原則として、当該年度に入学する者に適用するものとする。
- 4 教授会は、学生の履修及び研究を指導するため、各学生ごとに複数の指導教員を定める。
- 5 学生は、選択科目の履修に当たっては、あらかじめ指導教員の指導を受けなければならない。
- 6 前各項に定めるもののほか、学生の履修及び研究に関し必要な事項は、別に定める。

(長期にわたる教育課程の履修)

第7条 本研究科において、大学院学則第28条の規定に基づき、学生が、職業を有している等の事情により、長期にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる。

- 2 前項の計画的な履修を希望する学生は、事由を具して研究科長に願い出て、許可を受けるものとする。

(単位の計算方法)

第8条 本研究科における授業科目の単位の計算方法については、次の基準によるものとする。

- 一 講義及び演習については、15時間の授業をもって1単位とする。
- 二 実験及び実習については、30時間の授業をもって1単位とする。
- 三 授業を前2号の方法の併用により行う場合は、その割合に応じた時間の授業をもって1単位とし、その時間は教授会の議を経て別に定める。

(教育方法の特例)

第9条 本研究科において、教育上特別の必要があると認められる場合は、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

- 2 教育方法の特例に関し必要な事項は、別に定める。

(考查及び単位認定)

第10条 本研究科の授業科目を履修した学生に対しては考查を行い、合格者に対して単位を与える。

- 2 考查は、試験又は研究報告等により行う。
- 3 病気その他の事由により正規の試験を受けることができなかった者については、願い出により追試験を行うことができる。

Article 5 (Changing Graduate School)

1. Students enrolled at Chiba University Graduate School who wish to transfer to this Graduate School may be permitted to do so following screening.
2. Students enrolled at this Graduate School who wish to transfer to another graduate school (including other academic institutions) at Chiba University Graduate School must submit an application to the dean of the Graduate School specifying reasons for the change and receive permission.

Article 6 (Educational Programs and Rules for Taking Courses)

1. Education at the Graduate School shall be conducted by providing course instruction as well as guidance in thesis preparation, etc. (hereinafter referred to as “Research Guidance”).
2. The courses, the number of credits for each course, the rules for taking courses, etc., shall be in accordance with the provisions set forth in the Chiba University Graduate School of Horticulture Syllabus.
3. The Chiba University Graduate School of Horticulture Syllabus mentioned in the previous paragraph shall be prepared new each academic year and shall apply to the students enrolling that year.
4. To guide the study and research of students, the faculty council shall assign multiple academic advisors to each student.
5. Before taking elective courses, students must obtain guidance from their academic advisors.
6. In addition to the provisions set forth in the preceding paragraphs, other provisions necessary for students’ study and research shall be established elsewhere.

Article 7 (Long-Term Educational Program)

1. When, based on the provisions of Article 28 of the Rules, students at the Graduate School provide notice that because they are employed or due to other circumstances they would like to complete a planned educational program that extends over a longer period than usual, they may be permitted to conduct such planned study.
2. Students who wish to undertake the planned study mentioned in the previous paragraph shall apply to the dean of the Graduate School, specifying the reason, and granted permission.

Article 8 (Standards for Calculating Credits)

Credits for Graduate School courses shall be calculated according to the following standards.

- (1) For lectures and seminars, students shall earn 1 credit for each 15 hours of instruction.
- (2) For laboratory work and practical training, students shall earn 1 credit for each 30 hours of instruction.
- (3) When classes are held using both of the previous two standards, students shall earn 1 credit for a number of hours of instruction corresponding to that ratio, and that number of hours shall be determined elsewhere based on a decision by the faculty council.

Article 9 (Special Systems for Teaching)

1. The Graduate School, when deemed necessary for the purpose of education, shall provide special systems for education, such as providing instruction or research guidance in the evening or at some other special time or period.
2. Provisions required for special systems for education shall be established elsewhere.

Article 10 (Testing and Awarding of Credits)

1. Students who take courses at the Graduate School shall be tested, and those who pass the tests shall be awarded credits.
2. Testing shall be conducted by means of examinations, research reports, etc.
3. Students who are unable to take a regular examination due to illness or some other reason may request a makeup examination.

(他の大学院等の授業科目の履修)

第11条 本研究科の学生が大学院学則第29条の規定に基づき、他の大学院又は千葉大学大学院の他の研究科（以下「他の大学院等」という。）の授業科目の履修を希望するときは、指導教員を経て研究科長に願い出て、許可を受けるものとする。

2 前項の規定により履修した授業科目の単位は、博士前期課程の学生にあつては15単位を、博士後期課程の学生にあつては4単位を超えない範囲で、本研究科において修得したものとみなすことができる。

(他の大学院等における研究指導)

第12条 本研究科の学生が大学院学則第30条の規定に基づき、他の大学院等又は研究所等において研究指導を受けることを希望するときは、指導教員を経て研究科長に願い出て、許可を受けるものとする。ただし、博士前期課程の学生については、当該研究指導を受ける期間は、1年を超えないものとする。

2 前項の規定により受けた研究指導は、本研究科において受けた研究指導とみなす。

(留学)

第13条 本研究科の学生が大学院学則第17条の規定に基づき、外国の大学院へ留学する場合の取扱いについては、前2条の規定を準用する。

2 前項の留学期間は、博士前期課程の学生にあつては1年を、博士後期課程の学生にあつては2年を限度とし、大学院学則第6条に規定する最長在学年限及び第15条に規定する修了要件の期間に算入する。

(入学前の既修得単位の認定)

第14条 本研究科の学生が、大学院学則第31条の規定に基づき、入学前の既修得単位の認定を希望するときは、別に定めるところにより、指導教員を経て研究科長に願い出るものとする。

2 前項の規定により修得したとみなすことのできる単位数は、転入学の場合を除き、本研究科において修得した単位以外のものについては、博士前期課程の学生にあつては15単位を超えないものとし、博士後期課程の学生にあつては4単位を超えないものとする。ただし、博士前期課程の学生については、大学院学則第29条第1項の規定により本研究科において修得したものとみなす単位数と合わせて20単位を超えないものとする。

(修了の要件)

第15条 博士前期課程の修了の要件は、当該課程に2年以上在学し、園芸科学コースにあつては30単位以上、ランドスケープ学コースにあつては34単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文又は特定の課題についての研究成果（以下「研究成果」という。）の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

2 博士課程の修了の要件は、本研究科に5年（博士前期課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）以上在学し、博士前期課程において園芸科学コースにあつては30単位以上、ランドスケープ学コースにあつては34単位以上、博士後期課

Article 11 (Taking Courses at Other Graduate Schools, Etc.)

1. When students at the Graduate School, based on the provisions of Article 29 of the Rules, wish to take courses at another university's graduate school or another Chiba University graduate school (hereinafter collectively referred to as "Other Graduate Schools"), they shall apply to the dean of the Graduate School via their academic advisors and be granted permission.
2. Students in the Master's Course may obtain up to 15 credits from courses taken based on the provisions of the previous paragraph, while students in the Doctoral Course may obtain up to 4 credits.

Article 12 (Research Guidance at other Graduate Schools)

1. When students at the Graduate School, based on the provisions of Article 30 of the Rules, wish to receive research guidance at Other Graduate Schools or other research institutes, etc., they shall apply to the dean of the Graduate School via their academic advisors and be granted permission. However, the period in which Master's Course students receive such research guidance may not exceed 1 year.
2. Research guidance received based on the provisions of the previous paragraph shall be considered equivalent to research guidance received at the Graduate School.

Article 13 (Studying Abroad)

1. When students at the Graduate School, based on the provisions of Article 17 of the Rules, attend a foreign graduate school, the provisions of the previous two articles shall apply.
2. The period for studying abroad shall be limited to 1 year for Master's Course students and 2 years for Doctoral Course students, and shall be counted as part of the maximum number of years of enrollment stipulated in Article 6 of the Rules, and as part of the period for completing requirements stipulated in Article 15 of the Rules.

Article 14 (Acceptance of Credits Obtained Prior to Matriculation)

1. When students at the Graduate School, based on the provisions of Article 31 of the Rules, wish to have credits obtained prior to enrollment at the Graduate School, they shall, based on provisions established elsewhere, apply to the dean of the Graduate School via their academic advisors.
2. Except for students transferring into the Graduate School from another graduate school, the number of credits accepted based on the provisions of the previous paragraph shall not exceed 15 for Master's Course students and 4 for Doctoral Course students. However, for students in the Master's program, the total number of credits may not exceed 20 credits, including the number of credits deemed to have been acquired in the Graduate School pursuant to the provisions of Article 29, Paragraph 1 of the Graduate School Regulations.

Article 15 (Requirements for Program Completion)

1. The requirements for completing the Master's Program are to be enrolled in the program for at least 2 years; to obtain at least 30 credits in Course of Horticultural Science or 34 Credits in Course of Landscape ; to receive the required research guidance; and to pass the review and final examination of the master's thesis or the outcome of research on a specific theme (hereinafter referred to as "Research Results"). However, students with superior grades may complete the program after being enrolled for no less than 1 year.
2. The requirements for completing the Doctoral Program are to be enrolled in the program for at least 5 years (including, for students who were enrolled in the Master's Program for at least 2 years and completed that program); to obtain at least 30 credits in Course of Horticultural Science or 34 Credits in Course of Landscape in the Master's Program and at least 14 credits in the Doctoral Program; to receive the required research guidance; and to pass the review and final examination of the doctoral thesis. However, students with superior grades may complete the Program after being enrolled in the Graduate School for at least 3

程において14単位以上をそれぞれ修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、本研究科に3年（博士前期課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）以上在学すれば足りるものとする。

- 3 第1項ただし書の規定による在学期間をもって博士前期課程を修了した者の博士課程の修了の要件については、前項中「5年（博士前期課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）」とあるのは「博士前期課程における在学期間に3年を加えた期間」と、「3年（博士前期課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）」とあるのは「3年（博士前期課程における在学期間を含む。）」と読み替えて、同項の規定を適用する。
- 4 第2項及び前項の規定にかかわらず、大学院学則第9条第2項第2号から第8号までに該当する者が、博士後期課程に入学した場合の博士課程の修了の要件は、当該課程に3年以上在学し、14単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。
- 5 前条の規定により博士前期課程に入学する前に修得した単位（大学院学則第9条第1項の規定により入学資格を有した後、修得したものに限る。）を当該課程において修得したものとみなす場合であつて、当該単位の修得により当該教育課程の一部を履修したと認めるときは、当該単位数、その修得に要した期間その他を勘案して1年を超えない範囲で当該研究科が定める期間在学したものとみなすことができる。ただし、この場合においても、当該課程に少なくとも1年以上は、実際に在学するものとする。

（学位論文等の提出資格及び提出時期等）

第16条 学位論文及び研究成果（以下「学位論文等」という。）の提出資格、提出時期及び審査時期等については、別に定める。

（学位論文等の審査及び最終試験）

第17条 学位論文等の審査及び最終試験は、千葉大学学位規程の定めるところにより、本研究科担当の専任の教授のうちから教授会が指名する3名以上の審査委員が行う。ただし、必要があるときは、教授以外の教員を審査委員に選ぶことができる。

- 2 前項に定めるもののほか、学位論文等の審査及び最終試験等に関し必要な事項は、別に定める。

（学位の授与）

第18条 本研究科の博士前期課程又は博士後期課程を修了した者には、千葉大学学位規程の定めるところにより、それぞれ修士又は博士の学位を授与する。

- 2 前項の修士又は博士の学位を授与するに当たり、付記する専攻分野の名称は、次のとおりとする。

専攻	コース	専攻分野の名称
環境園芸学専攻	園芸科学コース	農学又は学術
	ランドスケープ学コース	ランドスケープ学又は学術

years (including, for students who were enrolled in the Master's Program for at least 2 years and completed that program).

3. For students who complete the Master's Program in accordance with the provision for early completion at the end of Paragraph 1, the following changes should be made in the requirements for program completion in Paragraph 2: the phrase "5 years (including, for students who were enrolled in the Master's Program for at least 2 years and completed that program)" should be changed to "a period comprising the enrollment period in the Master's Program plus 3 years"; and the phrase "3 years (including, for students who were enrolled in the Master's Program for at least 2 years and completed that program)" should be changed to "3 years (including the enrollment period in the Master's Program)." The other provisions of Paragraph 2 shall apply as is.
4. Regardless of the provisions of Paragraph 2 and the previous paragraph, the requirements for completing the Program for individuals who correspond to Sections 2-8, Paragraph 2, Article 9 of the Rules and who enroll into the Doctoral Program is to be enrolled in the program for at least 3 years; to obtain at least 14 credits; to receive the required research guidance; and to pass the review and final examination of the doctoral thesis. However, students with superior grades may complete the program after being enrolled for no less than 1 year.
5. If a student is deemed to have acquired credits (limited to those earned after the student has been qualified for admission as stipulated in Article 9, Paragraph 1 of the Graduate School Regulations) prior to enrollment in the Master's Course pursuant to the preceding article, and is deemed to have completed part of the course, he/she may be deemed to have been enrolled in the course for up to one year based on the number of credits, the period of time required to acquire those credits, and other factors.
However, even in this case, the student must actually be enrolled in the relevant course for at least 1 year.

Article 16 (Thesis Submittal Qualifications, Submittal Periods, Etc.)

The submittal qualifications, submittal periods, review periods, etc., for thesis and Research Results (hereinafter collectively referred to as "Thesis, Etc.") shall be stipulated elsewhere.

Article 17 (Review and Final Examination of Thesis)

1. In accordance with the provisions set forth in the Chiba University Regulations for Degrees, the review and final examination of each Thesis, etc. shall be conducted by at least 3 review committee members appointed by the faculty council from among full-time professors at the Graduate School. If necessary, however, faculty other than full-time professors may be selected as committee members.
2. The other requirements of the review and the final examination shall be stipulated elsewhere.

Article 18 (Conferment of Degrees)

1. In accordance with the provisions set forth in the Chiba University Regulations for Degrees, a master's degree or a doctoral degree shall be conferred upon students who complete the Graduate School's Master's Program or Doctoral Program respectively.
2. In conferring the master's and doctoral degrees mentioned in the previous paragraph, the words "Agriculture" or "Philosophy" shall be appended to the name of the degree to indicate the academic field in which the degree is specialized.

Article 19 (Time of Enrollment for Specially Registered Non-Degree Students, Research Students, In-Service Research Students, Special Auditing Students and Special Research Students)

The specially registered non-degree students, research students, in-service research students, special auditing students, and special research students mentioned in Articles 45 through 49 of the Rules shall enroll at the beginning of either the academic year or the semester. However, enrollment in mid-semester may be allowed for special research students when there are special circumstances and if approved by the faculty council.

(科目等履修生，研究生，委託研究生，特別聴講学生及び特別研究学生の入学の時期)

第19条 大学院学則第45条から第49条までに定める科目等履修生，研究生，委託研究生，特別聴講学生及び特別研究学生の入学の時期は，学年又は学期の始めとする。ただし，特別研究学生について特別の事情があるときは，教授会の議を経て，学期の途中においても入学を認めることがある。

(教員組織)

第20条 本研究科の教員組織は，教授会の議を経て別に定める。

2 本研究科の教員は、園芸学部の研究を協力して実施するものとする。

(雑則)

第21条 この規程に定めるもののほか，本研究科に関し必要な事項は，別に定める。

附 則

1 この規程は，平成19年4月1日から施行する。

2 博士前期課程の平成19年度の学生収容定員並びに博士後期課程の平成19年度及び平成20年度の学生収容定員は，第4条の規程にかかわらず，それぞれ次のとおりとする。

専 攻	コ ー ス	博士前期課程	博士後期課程	
		平成19年度	平成19年度	平成20年度
環境園芸学	生物資源科学	105	18	36
	緑地環境学			
	食料資源経済学			

附 則

この規程は，平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は，平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は，平成30年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程は，令和2年4月1日から施行する。

2 令和2年3月31日に本研究科に在学する者については，改正後の規定にかかわらず，なお従前の例による。

3 博士前期課程の令和2年度の学生収容定員並びに博士後期課程の令和2年度及び令和3年度の学生収容定員は，第4条の規定にかかわらず，それぞれ次のとおりとする。

専 攻	コ ー ス	博士前期課程	博士後期課程	
		令和2年度	令和2年度	令和2年度
環境園芸学	園芸科学	105	18	36
	ランドスケープ学			

Article 20 (Faculty Organization)

1. Provisions for the Graduate School's faculty organization shall be stipulated elsewhere based on deliberations conducted by the faculty council.
2. The Graduate School's faculty shall cooperate in conducting education and research in the Faculty of Horticulture.

Article 21 (Miscellaneous Provisions)

Besides the regulations set forth herein, other provisions necessary for the Graduate School shall be established elsewhere.

Supplementary Provisions

1. These regulations shall go into effect on April 1, 2007.
2. Notwithstanding the provisions of Article 4, the total enrollment capacities for the Master's Course in AY2007, and for the Doctoral Course in AY2007 and AY2008, shall be as follows.

Division	Course of study	Master's Program	Doctoral Program	
		2007/2008	2007/2008	2008/2009
Environmental Horticulture	Bioresource Science	1 0 5	1 8	3 6
	Environmental Science and Landscape Architecture			
	Food and Resource Economics			

Supplementary Provision

These regulations shall go into effect on April 1, 2008.

Supplementary Provision

These regulations shall go into effect on April 1, 2015.

Supplementary Provision

These regulations shall go into effect on April 1, 2018.

Supplementary Provision

1. These regulations shall go into effect on April 1, 2020.
2. These new regulations shall not go into effect to Students enrolled on March 31, 2020.
3. Notwithstanding the provisions of Article 4, the total enrollment capacities for the Master's Course in AY2020, and for the Doctoral Course in AY2020 and AY2021, shall be as follows.

Division	Course of study	Master's Program	Doctoral Program	
		2020/2021	2020/2021	2021/2022
Environment and Horticulture	Horticultural Science	1 0 5	1 8	3 6
	Landscape			

Supplementary Provision

1. These regulations shall go into effect on April 1, 2021.
2. The provisions of Article 11, paragraph 2, Article 14, paragraph 2, and Article 15, paragraph 5 after the

附 則

- 1 この規程は、令和３年４月１日から施行する。
- 2 改正後の第１１条第２項、第１４条第２項、第１５条第５項の規定は、令和３年度入学者から適用し、令和２年度以前の入学者については、なお従前の例による。

revision shall apply to students admitted in AY2021, and the provisions then in force shall remain applicable to students admitted in AY 2020 or earlier.

2022 千葉大学附属図書館松戸分館

新型コロナウイルス感染症対策に伴い、各種サービス内容に変更がある場合があります。
最新情報は、附属図書館 Web ページでご確認ください。

利用案内

- 松戸分館はF棟の2階・3階にあります。
- 2階エントランス、もしくは1階からエレベーターで3階入館ゲートへお越しください。
- 3階入館ゲートを通る際と、資料の貸出には学生証が必要です。

▶ 開館時間

	授業期間	休業期間
平日	9:00-21:00	9:00-16:50
土・日・祝日	10:30-18:00	休館

- ・臨時の休館・開館時間変更を行うことがあります。
- ・最新情報は附属図書館 Web ページ、Twitter などでご確認ください。

▶ 資料貸出

	上限冊数	貸出期間
学部学生（1～3年次）、科目等履修生など	5冊	2週間
学部学生（4年次）、大学院生、研究生など	10冊	3週間

- ・My Library（次ページ参照）で、貸出状況の確認や延長が行えます。
- ・閉館時は学生ホール前の図書返却ポストにご返却ください。
- ・返却期限を過ぎると、過ぎた日数に応じて図書が借りられなくなります。

▶ 附属図書館Webページ

<https://www.LL.chiba-u.jp/>



図書館の資料を探すには

千葉大学附属図書館蔵書検索（OPAC）で、学内の資料を検索できます。

紙の資料に加えて、電子ブックも検索できます。

https://opac.LL.chiba-u.jp/opac/opac_search/



また、千葉大学では、電子ジャーナルで利用できる学術雑誌も多くあります。

電子ジャーナルは、OPACの「電子ジャーナルAtoZ」タブから検索することができます。

2022

Chiba University Libraries

Matsudo Library

Because of the COVID-19, there is a possibility that library may be closed or change service hour. For the latest information, please refer to Chiba University Libraries website.

User guide

- Matsudo Library consists of 2nd the 3rd floor of Building F.
- When you use the library, please bring your student ID.

► Opening Hours

	Terms 1,2,4 & 5	Terms 3 & 6
Monday - Friday	9:00-21:00	9:00-16:50
Sat, Sun & Holidays	10:30-18:00	休館

- ・ Opening hours may change in short notice
- ・ Information will appear on our website or SNS

► Borrowing

	Up to	Period
Undergraduate (Year 1 - 3) , Part time students	5 books	2 weeks
Undergraduate (Year 4) , Graduate & Research students	10 books	3 weeks

- ・ You can renew your due dates of items you are currently borrowing through MyLibrary. (see the next page).
- ・ When you have an overdue item, you will get overdue penalty for the same period of overdue after returning.
- ・ When Matsudo Library is closed, please return books to the Book Drop in front of the Building E.

► Chiba University Libraries website

<https://www.LL.chiba-u.jp/english/index.html>



MyLibrary

MyLibrary から、「貸出期間の延長」・「図書の予約取寄せ」・「貸出・予約状況照会」・「学外の文献複写・貸借申込み」等が行えます。MyLibrary は、OPAC からでもログインできます。

https://opac.LL.chiba-u.jp/opac/opac_search/?loginMode=disp&lang=0



■ アカデミック・リンク松戸でできること

松戸分館では、「アカデミック・リンク」のコンセプトに基づいた、空間・サポート・コンテンツを展開しています。学習スタイルにあわせて活用してください。

① 自由に学べる空間

2階 アクティブラーニングスペース・グループ学習室

- 会話可能な空間です。
- ホワイトボード壁、可動式のイスやテーブル、無線 LAN があります。

3階 静寂フロア

- すべての席が窓に面しており、西・南側に緑豊かな景色が広がります。
- 個人学習席、デスクライト、電源、無線 LAN があります。

② 学びと研究の人的サポート

学習相談デスク（領域別学習相談）

2階にある学習相談デスクで、園芸学研究科の大学院生が、みなさんの「学習・研究に関する相談」に応じます。学習や研究を進める上で分からないことを、気軽に相談してください。

＊2022年1月現在、オンライン(一部対面)で実施中

学びを触発し、研究をサポートする各種のイベント

西千葉キャンパスで開催する「1210 あかりんアワー」や、研究をサポートするための各種セミナーを、2階アクティブラーニングスペースに中継します。

③ 学びや研究に使えるコンテンツ

研究資料ナビゲータ

園芸学研究科の先生方が、「これから研究をはじめめる人に読んでもらいたい!」と選びぬいた研究入門書や論文を、領域・分野ごとに書棚にまとめました。

「研究とは?」「どんな研究テーマがあるの?」「どうやって研究を進めればよいの?」等、みなさんの疑問へのヒントが得られる資料を集めています。

開架図書・集密書架

3階には、松戸分館が持つ資料の大半が置かれています。電動の書架には、約8万冊の資料が収められています。館内にある資料を複写したい場合は、3階カウンター横にあるコピー機を利用できます（掲示されている利用方法、条件を守って複写してください）

Looking for library materials

Using OPAC, you can search through the books and journals that Chiba University Libraries hold. In addition to booklet data, you can also search e-books.

https://opac.LL.chiba-u.jp/opac/opac_search/?lang=1



Many electronic journals are available at Chiba University. To search for electronic journals, please select the tab “e- Journal AtoZ” on the page of OPAC,

MyLibrary

MyLibrary is your personal portal for library services. On the main page of OPAC, there is a link to the MyLibrary log-on page.

Available services.

- Application for book reservation
- Checking status of loan/reservation
- Extension of loan period
- Application for book delivery requests, or copies

https://opac.LL.chiba-u.jp/opac/opac_search/?loginMode=disp&lang=1



■ Academic Link Matsudo

Based on the concept of “Academic Link”, learning environment integrated with “Place”, “Human support” and “Content” are provided. Please make use of them according to your learning style.

① Place

2nd Floor: Active Learning Space / Group Study Room

- Discussion area.
- Whiteboard wall, movable tables and chairs, and Wireless LAN are available.

3rd Floor: Quiet Study Space

- All desks are facing the window.
- Individual study desk, desk lights, power supply and Wireless LAN are available.

② Human Support

Learning Support Desk

Graduate students provide advice for any problem on research and learning.

*As of January 2022, this has been held mainly online. Please refer to the following link

<https://alc.chiba-u.jp/eyr/2020/06/22/01alsals>
(Japanese Only)



電子ジャーナル・電子ブック

千葉大学の無線 LAN に接続した PC などから、約 20,000 タイトルの電子ジャーナルや 32,000 タイトル以上の電子ブックにアクセスできます。園芸学部のシラバス掲載図書の一部も含まれますので、ご利用ください。一部のタイトルは、一定の条件のもと、自宅など学外からも利用することができます。

アカデミック・リンク・センター／附属図書館では、みなさんの学びを応援するために、オンラインでの学習支援を行っています。

- ▶ オンライン学習支援ポータル EYeL! (<https://alc.chiba-u.jp/eyr/online.html>)
みなさんが授業を受けるとき、助けとなる情報を中心に集めたポータルです。オンラインで実施しているサポートについての詳細も、こちらに掲載されます。



- ▶ 学習相談デスク（領域別学習相談）

松戸分館 2 階で行っていた領域別学習相談を、オンライン（一部対面）で実施しています（2022 年 1 月現在）。園芸学研究科の大学院生が、みなさんの「学習・研究に関する相談」に応じます。利用法や時間割は、上記 EYeL! のページなどで確認できます。授業や研究についてよく知る先輩に、相談してみませんか？

時間割、相談方法はこちら↓

<https://alc.chiba-u.jp/eyr/2020/06/22/01alsals>



- ▶ ノートパソコンの貸出（館内）

松戸分館 3 階カウンターにてノートパソコンの貸出を行っています。貸出期間は当日、松戸分館 2 階・3 階でご利用いただけます。図書館外への持ち出しはできません。貸出には学生証が必要です。

問合せ先

○附属図書館松戸分館

TEL: 047-308-8717（受付：平日 9 時～17 時）

E-mail: fbh8716@office.chiba-u.jp

○アカデミック・リンク・センター

E-mail: alc-info@chiba-u.jp

Seminar Sessions for Academic Skills

Lunch time short session “1210 Akarin Hour” and seminar sessions will enhance your research and learning skills. These programs are held at Active Learning Space on the 2nd floor.

③ Contents

Pathfinder shelves for research

Subject resources, including review articles and general books, are collected for each course. These materials recommended by several faculty staff are expected as a pathfinder for research programs of Faculty of Horticulture.

Printed Materials

At the 3rd floor, you can find mostly printed collection of our library.

About 80,000 books and periodicals are on the movable shelves.

Copy machine are at the 3rd floor. (Application required)

Online Resources

Approximately 20,000 titles of online journals and over 32,000 e-books, including course materials, are available via campus network.

Some titles are approved to access from outside of campus under the certain condition. For more details, contact your librarians.

Laptops for loan

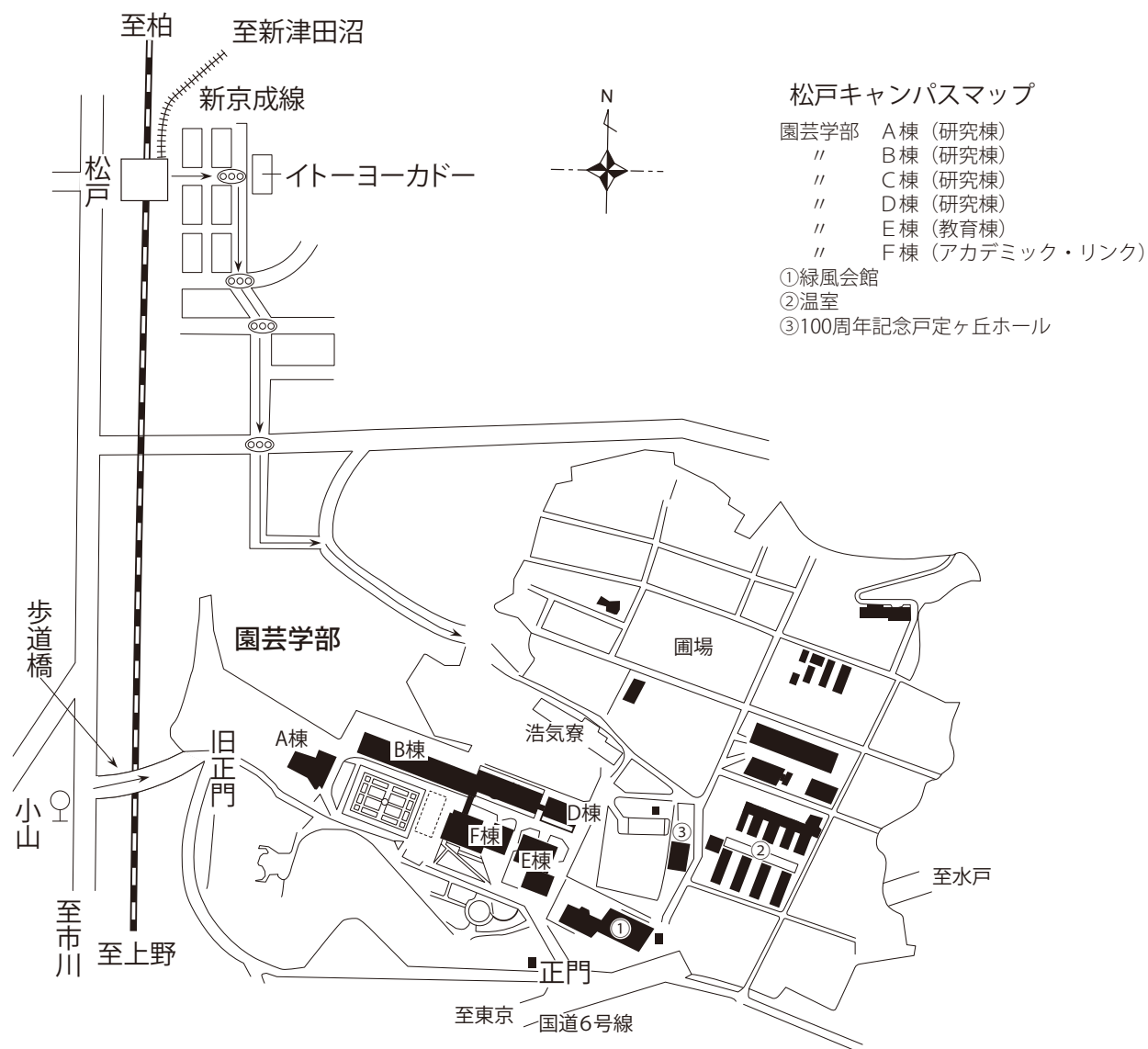
To borrow a laptop, you will need your student ID. The laptop is for use within the library only, must be returned before closing on the same day.

Contact Us

○Matsudo Library
Phone: 047-308-8717 (Mon.-Fri. 9:00-17:00)
E-mail: fbh8716@office.chiba-u.jp

○Academic Link Center
E-mail: alc-info@chiba-u.jp

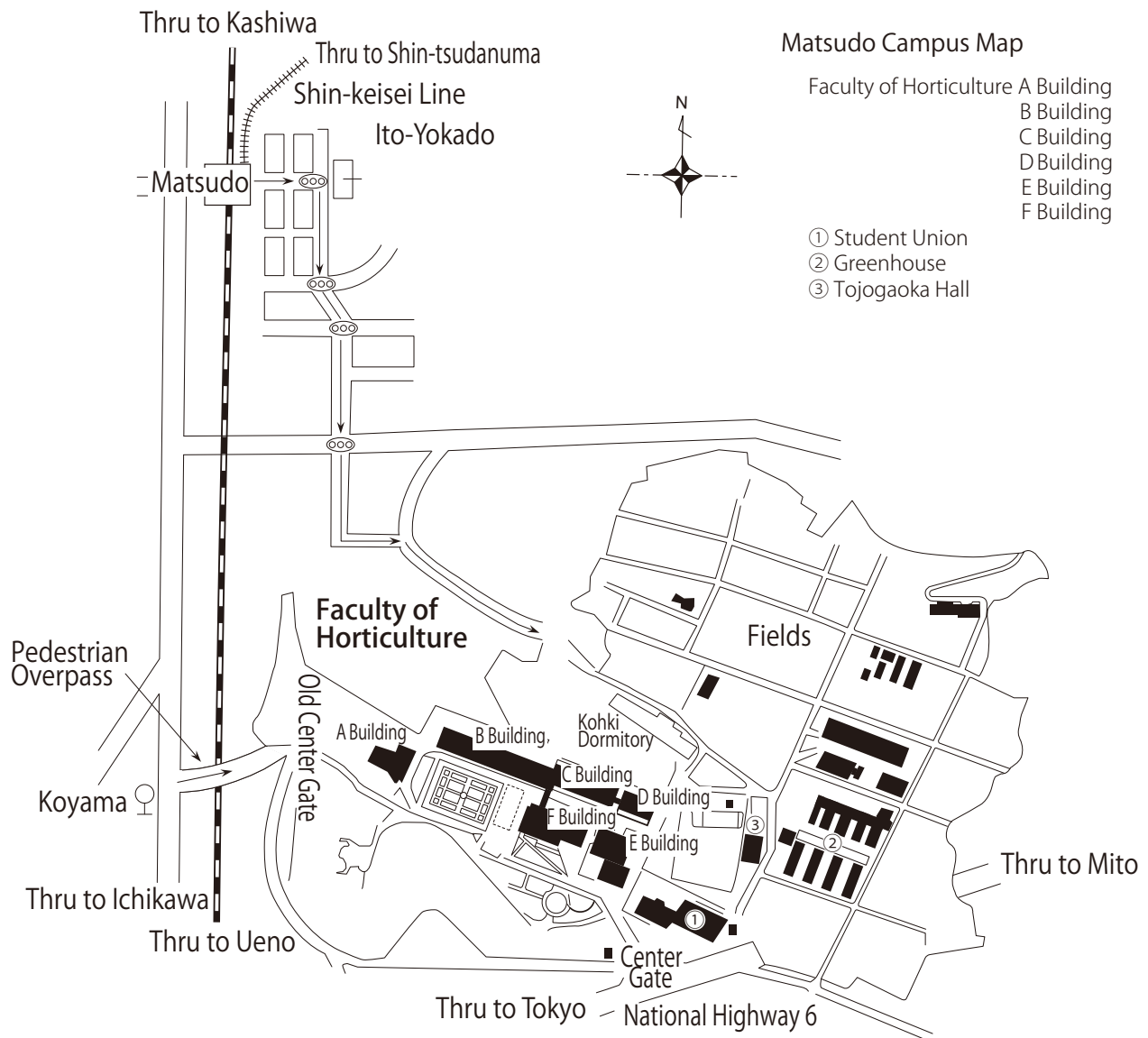
所在地及び配置図



<道 順>

- ・ JR常磐線上野駅からJR常磐線松戸駅まで約20分
- ・ JR常磐線（地下鉄千代田線）又は新京成線松戸駅下車，東口から徒歩約15分
- ・ JR総武線市川駅から京成バス松戸駅行又は松戸車庫行（国府台経由）を利用約35分，小山下車徒歩約5分

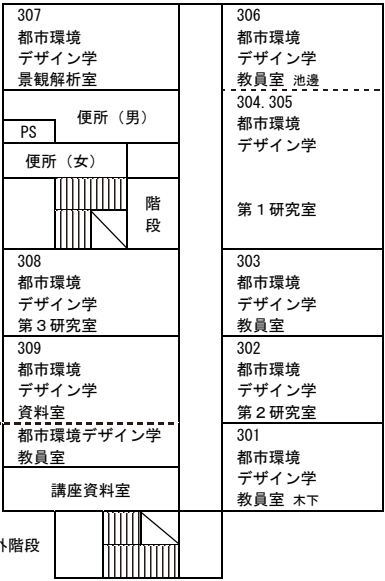
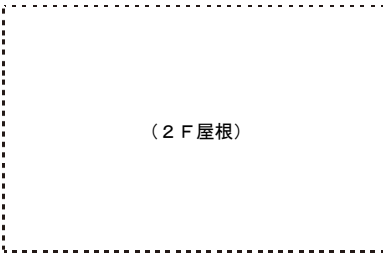
Campus Map



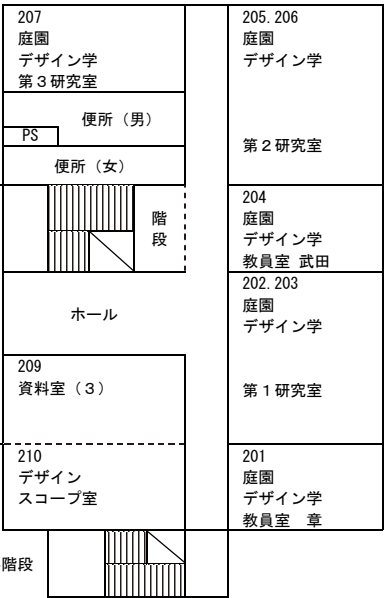
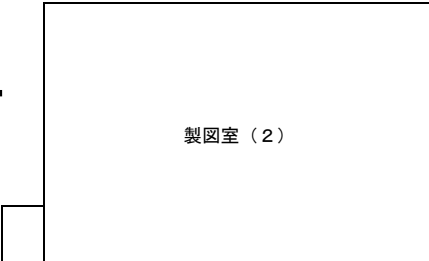
- 15 min. walk from the East Exit of Matsudo Station (JR Joban Line or Shin-keisei Line).
 - ◆ 20 min. ride from JR Ueno Station (JR Joban Line) to Matsudo Station.
 - ◆ 50 min. ride from Keisei-tsudanuma Station (Shin-keisei Line) to Matsudo Station.
- 5 min. walk from Koyama bus stop.
 - ◆ 35 min. ride by bus from JR Ichikawa Station (JR Sobu Line) to Matsudo Station or Matsudo Shako, get off at Koyama bus stop.

園芸学部 A 棟

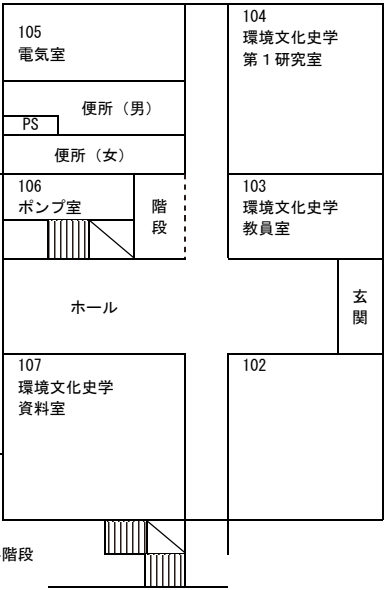
3 F



2 F



1 F



園芸学部B棟

LM

[illegible]

301	風景計画学 第1研究室	302	風景計画学 教員室	303	風景計画学 第2研究室	304	地域計画 教員室	305	地域計画 第1研究室	306	地域計画 教員室	307	地域計画 第2研究室	308	リフレック シユナー	309	緑地環境工学 研究室	310	緑地環境工学 教授室	311	経済学科 教員室	312	経済学科 研究室	313	経済学科 教員室	314	経済学科 研究室	315	経済学科 教員室	316・317	食料資源経済学科共通 研究室	318	経済学科 教員室	319	経済学科 研究室
-----	----------------	-----	--------------	-----	----------------	-----	-------------	-----	---------------	-----	-------------	-----	---------------	-----	---------------	-----	---------------	-----	---------------	-----	-------------	-----	-------------	-----	-------------	-----	-------------	-----	-------------	---------	-------------------	-----	-------------	-----	-------------

LN

[illegible]

201	遺伝育種	遺伝育種	植物細胞工学	205	植物細胞工学 教員室	中村郁	207	応用動物昆虫学 第1研究室	長	208	応虫昆 教員室	野村	209	応虫昆 教員室	210	植物病学 教員室	211	植物病学 教員室	宇佐見	212	植物病学 第3研究室	213	植物病学 第1研究室	214		215	微生物工学 第3研究室	216	環境創節工学 第1研究室	217	環境創節工学 教員室	後藤	218	環境創節工学 第3研究室	教員室	彦坂	219	環境創節工学 教員室	吉田(英)
-----	------	------	--------	-----	---------------	-----	-----	------------------	---	-----	------------	----	-----	------------	-----	-------------	-----	-------------	-----	-----	---------------	-----	---------------	-----	--	-----	----------------	-----	-----------------	-----	---------------	----	-----	-----------------	-----	----	-----	---------------	-------

LE

[illegible]

101	植物栄養学 教員室	102	植物栄養学 第2研究室 坂本 第1研究室	103	植物栄養学 教員室	104	植物栄養学 教員室	105	植物生理学 教員室	106	臨牀植物学 教員室	107	土壌学 教員室	108	土壌学 教員室	109	土壌学 第1研究室	110	リフレッ シュコー ナ一	111	生物資源 利用学 第3研究室	112	生物資源 利用学 第4研究室	113	生物資源 利用学	114	生物資源 教員室	115	生物資源利用学 第1研究室	116	生物資源利用学 第2研究室	117	生物植物学 教員室	118	分子生体 機能学 教員室	119	分子生体 機能学 第3研究室
-----	--------------	-----	----------------------------	-----	--------------	-----	--------------	-----	--------------	-----	--------------	-----	------------	-----	------------	-----	--------------	-----	--------------------	-----	----------------------	-----	----------------------	-----	-------------	-----	-------------	-----	------------------	-----	------------------	-----	--------------	-----	--------------------	-----	----------------------

園芸学部 C棟

4 F

[illegible]

3 F

[illegible]

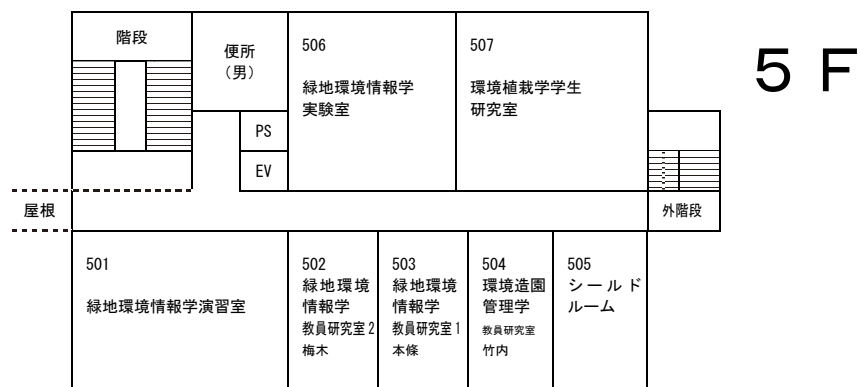
2 F

		男 子 便 所	女 子 便 所	210 講座共通 試料 保存室	211 花卉園芸学 第2研究室	212 花卉園芸学 機器 分析室	213 園芸植物科学 培養室	214 蔬菜園芸学 機器分析室	215 蔬菜園芸学 化学分析室	216 果樹園芸学 第2研究室		
				201 花卉園芸学 第1研究室	202 花卉園芸学 教員室 出口	203 花卉園芸学 教官室 三吉	204 蔬菜園芸学 教員室	205 蔬菜園芸学 生物実験室	206 蔬菜園芸学 教員室 淨閑	207 果樹園芸学 教員室 小原	208 果樹園芸学 第1研究室	209 果樹園芸学 教員室
エレベーター												

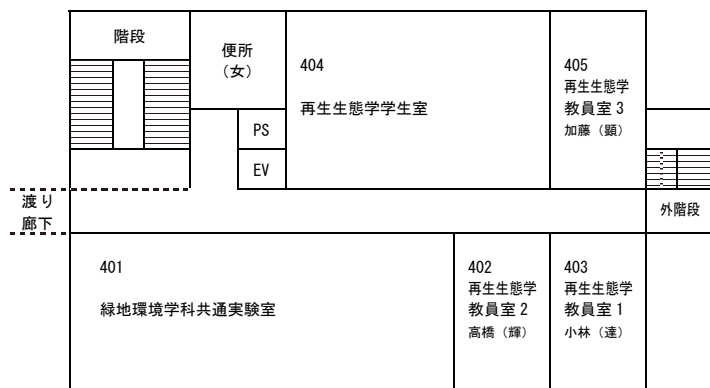
1 F

エレベーター	男子便所	女子便所	107 食品栄養学 第3研究室	108 食品栄養学 第2研究室	109 食品栄養学 教員室 平井	110 共同研究・実験室 化学系実験室(2)	
	101 分子生体機能学 第1研究室 相馬		102 食品栄養学 第1研究室	103 食品栄養学 教員室 江頭	104 テニユアトラック研究室	105 化学生態学 第1研究室	106 化学生態学 教員室

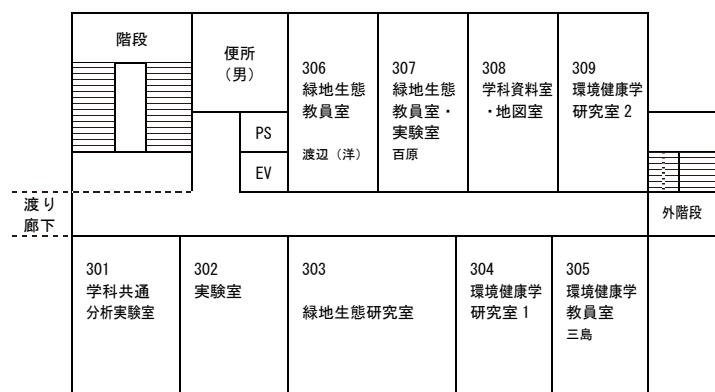
園芸学部D棟



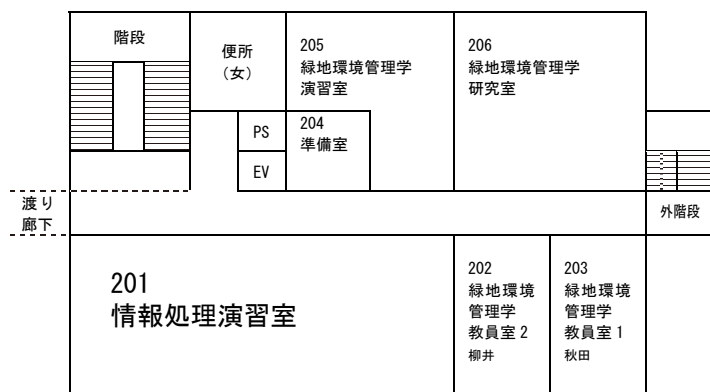
4 F



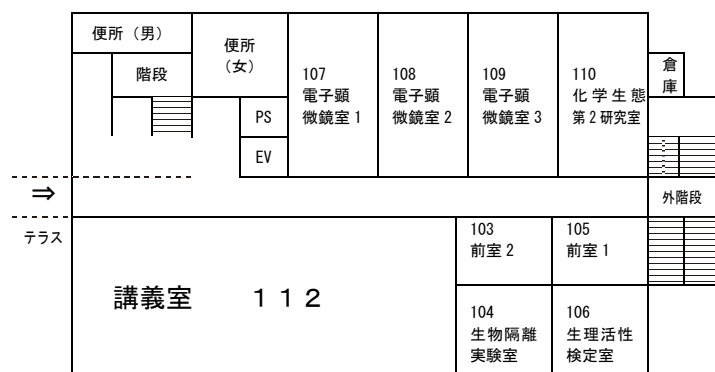
3 F



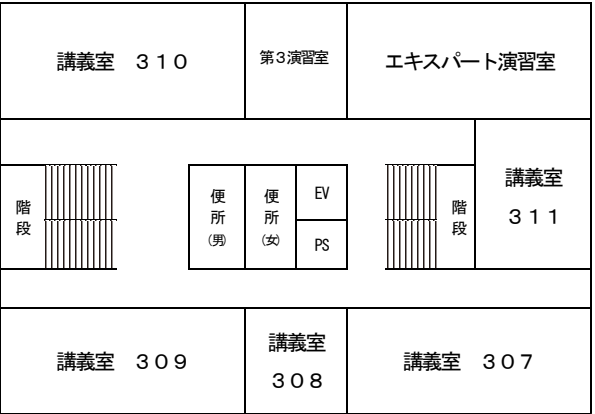
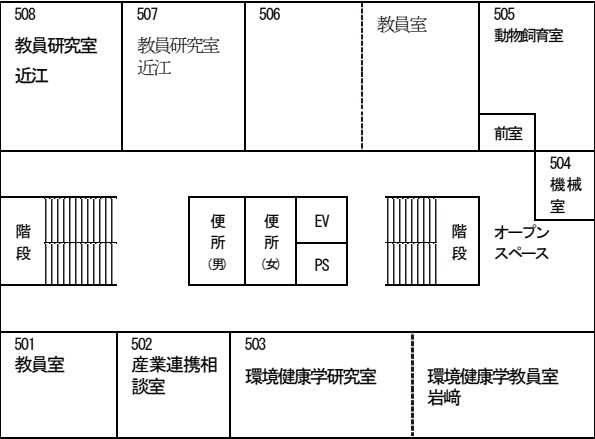
2 F



1 F

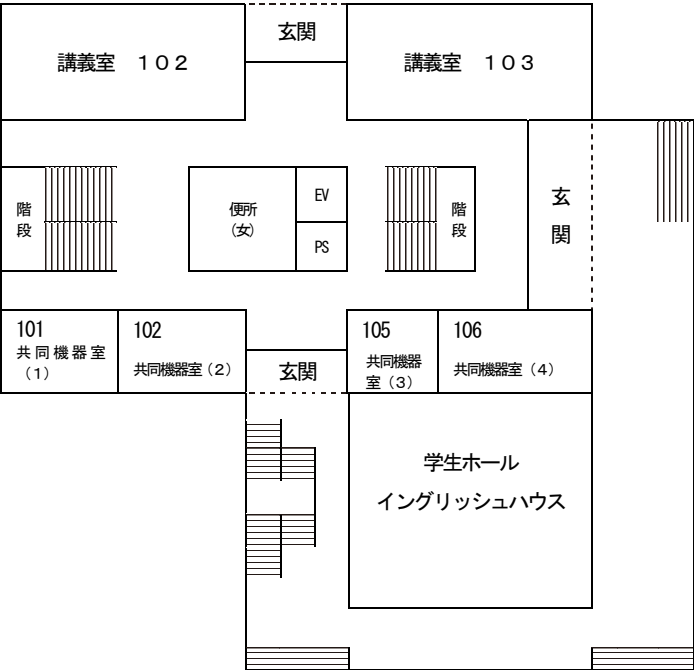


園芸学部E棟



3 F

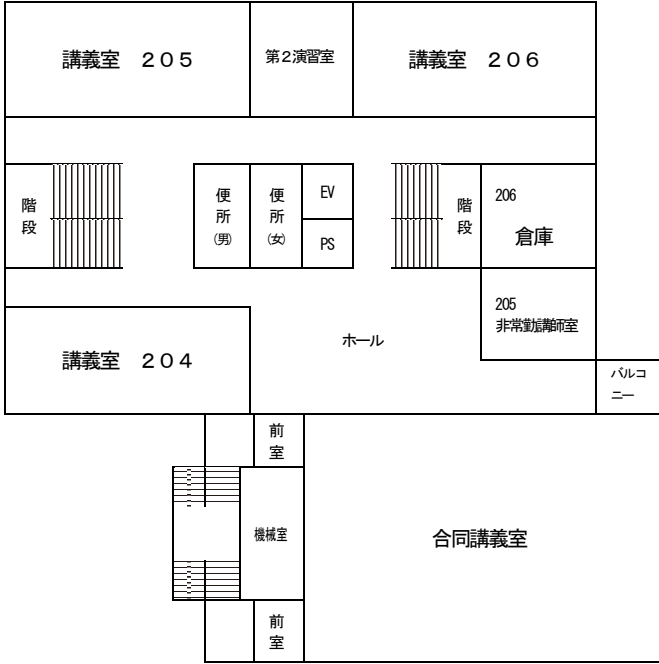
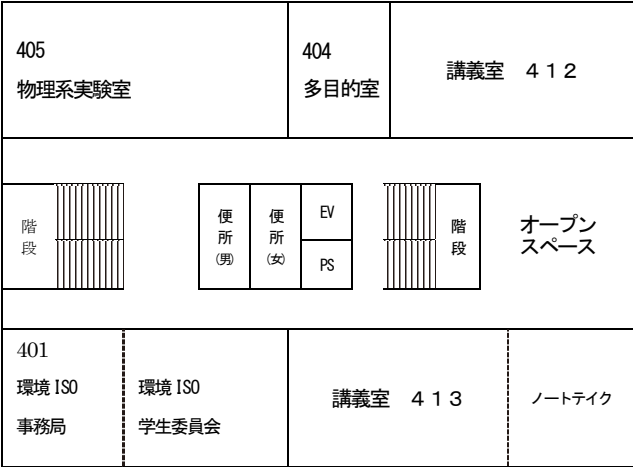
2 F屋根



1 F

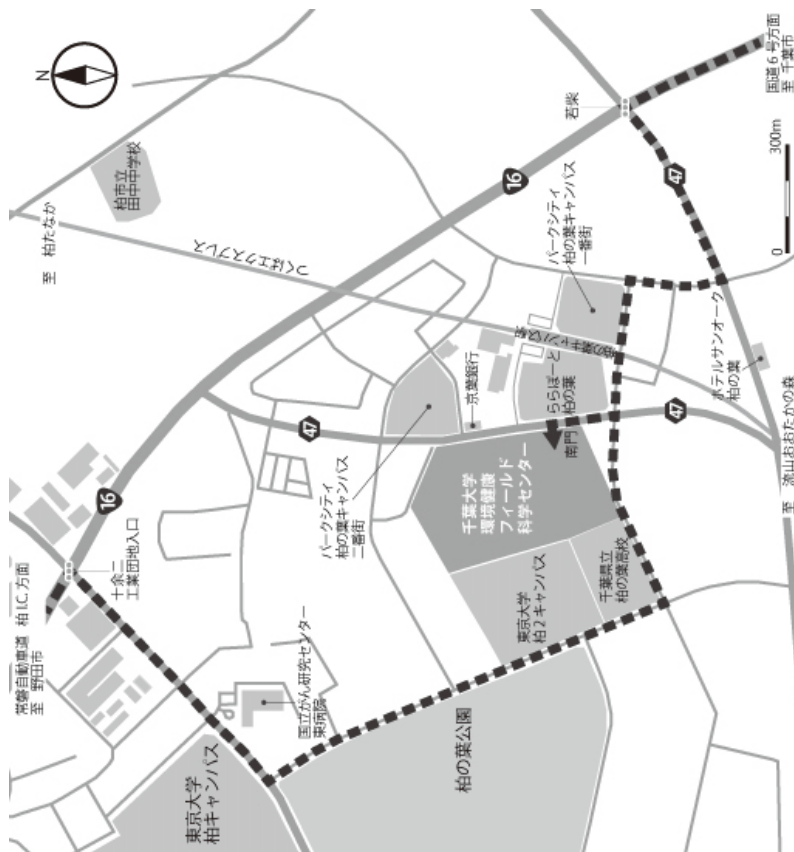
5 F

4 F

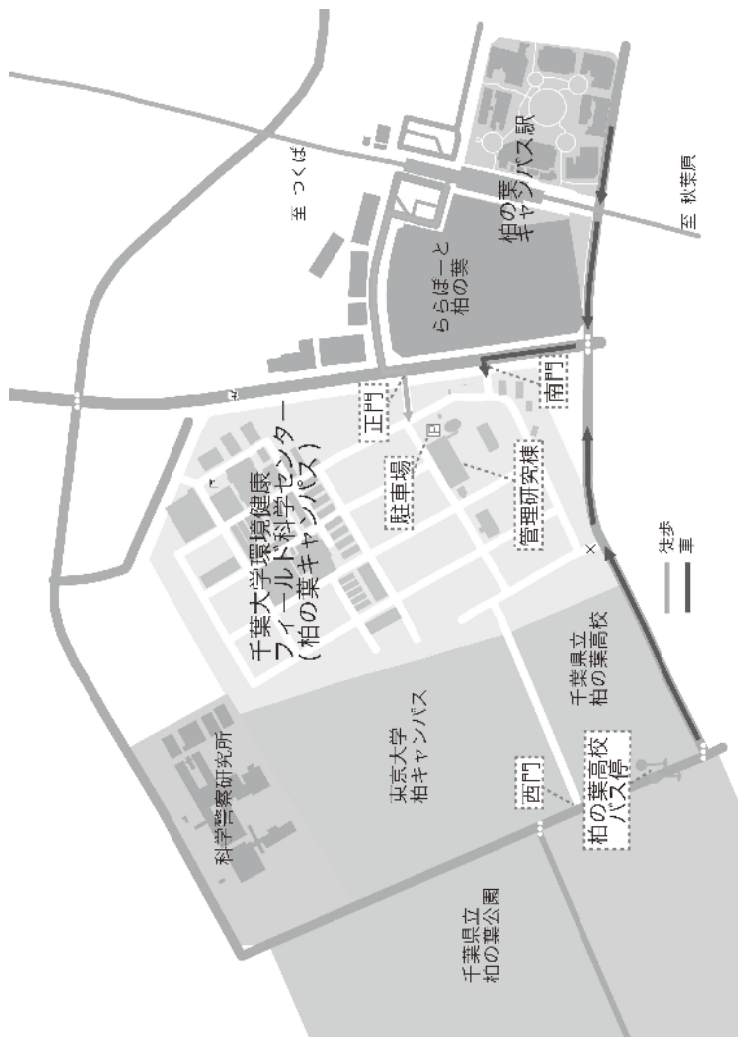


2 F

環境健康フイールド科学センター (都市環境園芸農場) 周辺図



環境健康フイールド科学センター (都市環境園芸農場) 配置図



交通

つくばエクスプレス「柏の葉キャンパス」駅下車、徒歩5分

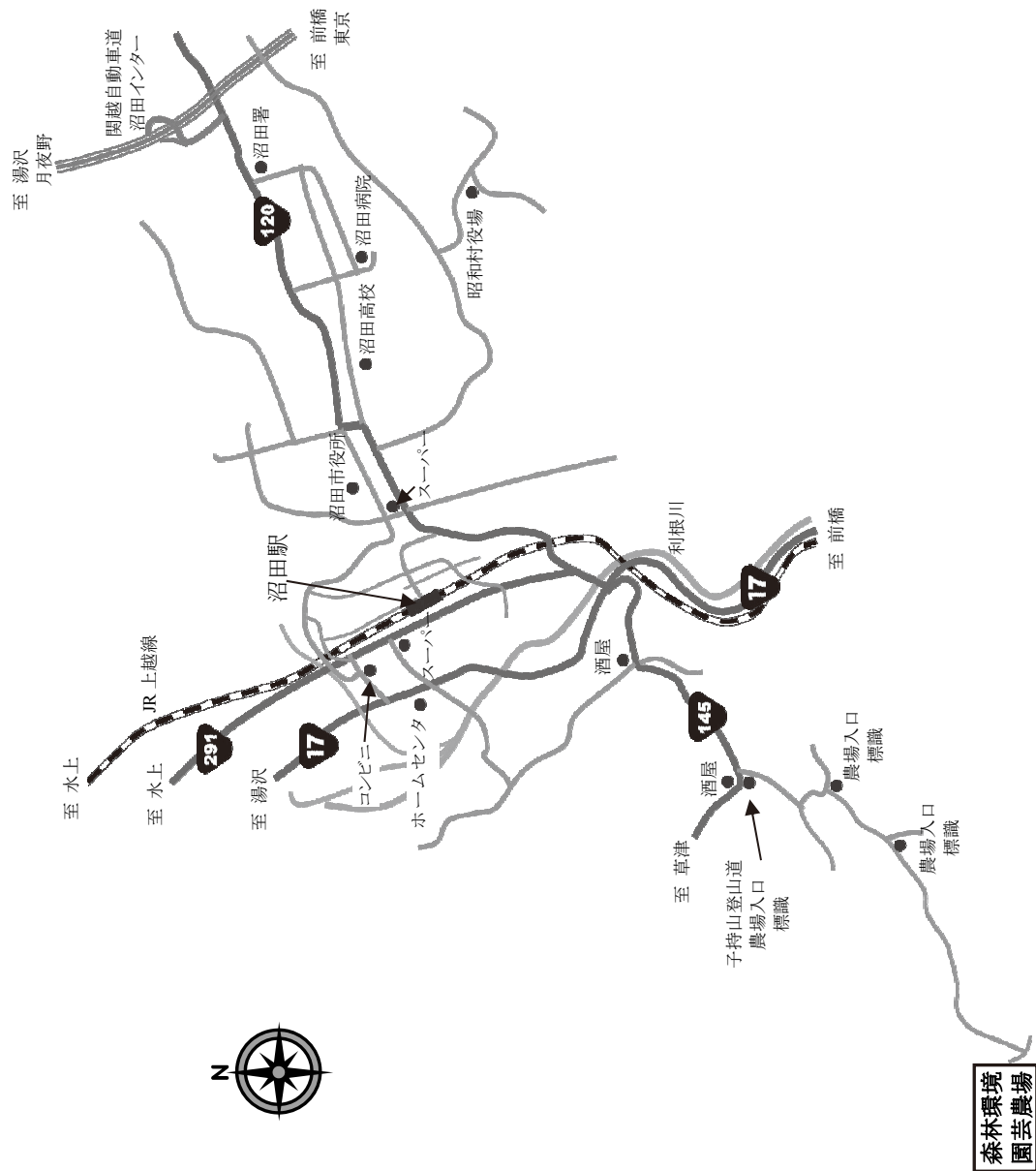
東武バスイースト柏駅西口2番乗り場より「国立がんセンター行き」(柏44系, 西柏01系)を利用,

柏の葉高校前(乗車約20分)で下車、徒歩8分

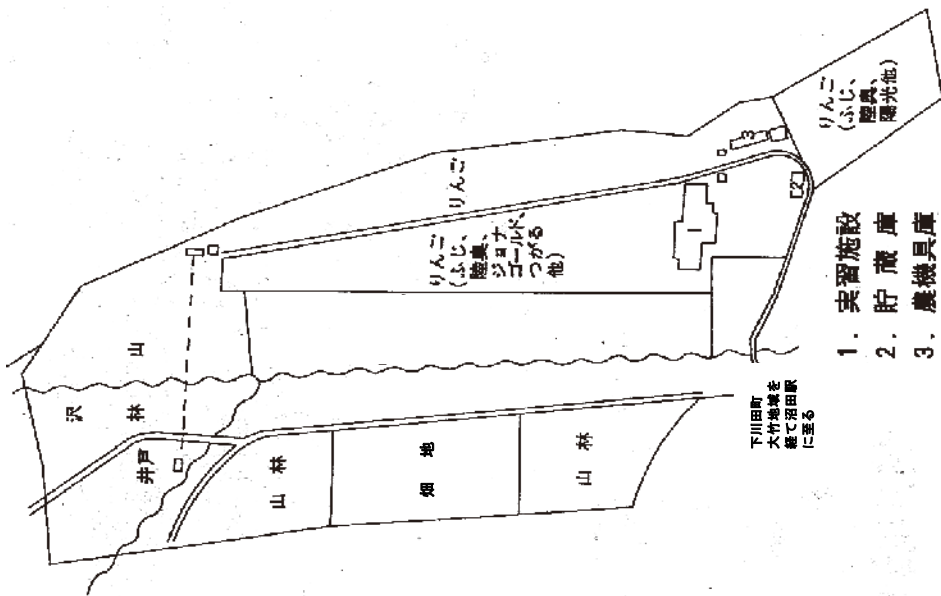
車, バイクの場合には、指定された場所に駐車すること

非常時の連絡先 フィールドセンター総務係 04-7137-8000 (原則として雨天決行)
更衣室はコインロッカー式. 使用には100円が必要(解錠時に返却されます).

環境健康フィールド科学センター (森林環境園芸農場) 周辺図

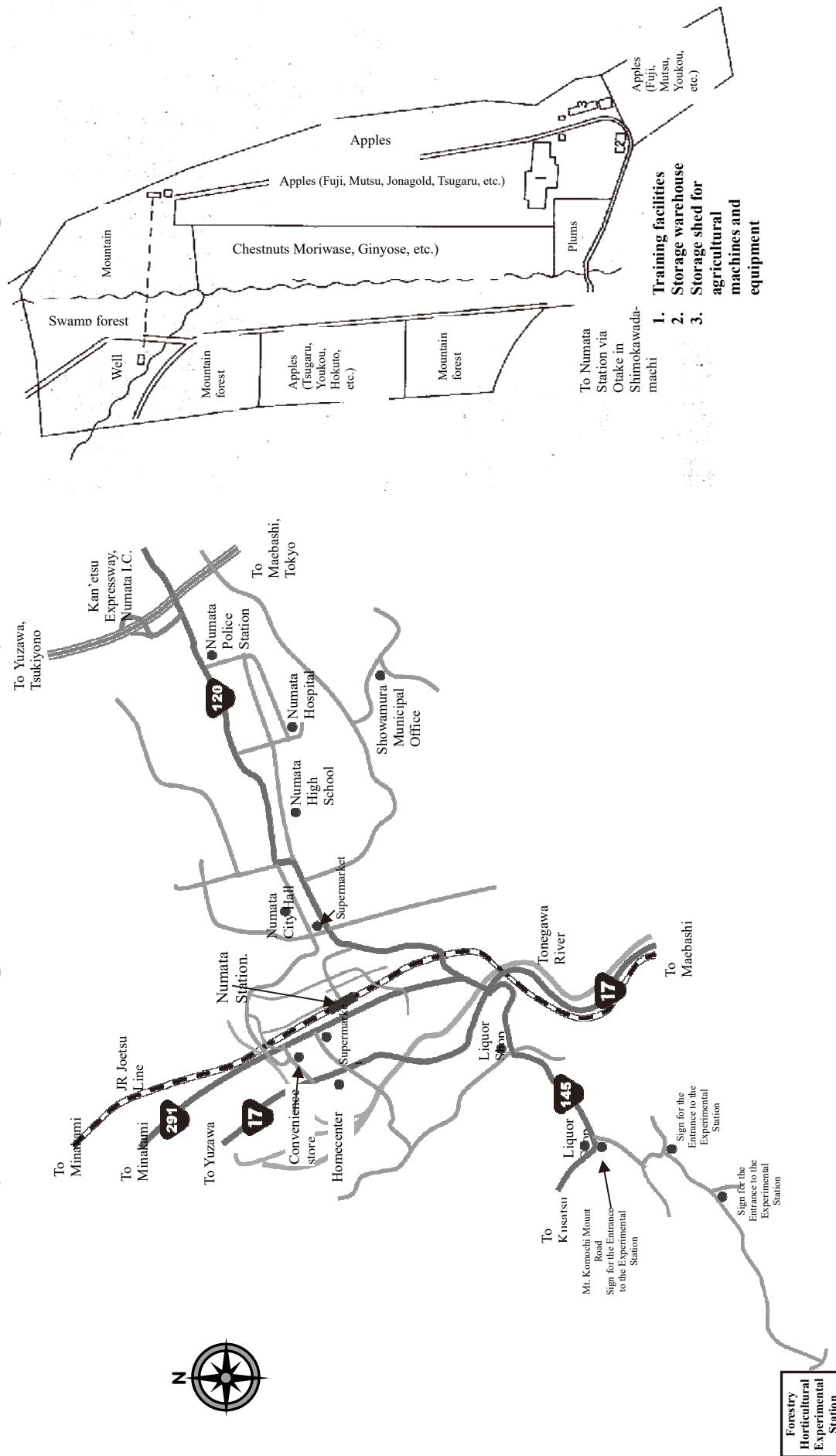


環境健康フィールド科学センター (森林環境園芸農場) 配置図



Center for Environment, Health and Field Sciences Area around the Forestry Horticultural Experimental Station

Center for Environment, Health and Field Sciences Layout of the Forestry Horticultural Experimental Station



千葉大学大学院園芸学研究科
Graduate School of Horticulture
Chiba University

〒271-8510 千葉県松戸市松戸 648
648 Matsudo, Matsudo-shi, Chiba, 271-8510

園芸学研究科ホームページ Graduate School of Horticulture website
<http://www.h.chiba-u.jp/>

千葉大学園芸学部学務係 Student Affairs Unit
電話 Phone : 047-308-8714
メール E-mail : engei-daigakuin@office.chiba-u.jp